

シラバス（授業計画）

（ 夜 間 部 ）

2 0 2 6



名古屋文化学園保育専門学校

目 次

【夜間部】

社会学	1	教育原理（夜間）	32	乳児保育Ⅰ（午後）	63
日本語表現	2	教職概論（午後）	33	乳児保育Ⅰ（夜間）	64
自然科学概論（午後）	3	教職概論（夜間）	34	乳児保育Ⅱ	65
自然科学概論（夜間）	4	教育心理学（午後）	35	子どもの健康と安全	66
海外フィールドワーク	5	教育心理学（夜間）	36	障がい児保育	67
日本国憲法	6	幼児の特別支援教育（午後）	37	社会的養護Ⅱ	68
情報機器演習（午後）	7	幼児の特別支援教育（夜間）	38	児童文化	69
情報機器演習（夜間）	8	教育課程総論	39	子育て支援	70
一般英語	9	教育方法論（午後）	40	音楽基礎	71
体育講義	10	教育方法論（夜間）	41	ピアノ実技Ⅰ	72
体育実技	11	教育相談（午後）	42	ピアノ実技Ⅱ	73
野外活動	12	教育相談（夜間）	43	基礎造形	74
こどもと健康（午後）	13	教育実習Ⅰ	44	あそびと造形	75
こどもと健康（夜間）	14	教育実習事前事後指導Ⅰ	45	あそびと運動Ⅰ（午後）	76
こどもと人間関係	15	教育実習Ⅱ	46	あそびと運動Ⅰ（夜間）	77
こどもと環境（午後）	16	教育実習事前事後指導Ⅱ	47	あそびと運動Ⅱ（午後）	78
こどもと環境（夜間）	17	教職実践演習	48	あそびと運動Ⅱ（夜間）	79
こどもと言葉（午後）	18	保育原理Ⅰ	49	こどもと音楽Ⅰ	80
こどもと言葉（夜間）	19	保育原理Ⅱ	50	こどもと音楽Ⅱ	81
こどもと表現	20	子ども家庭福祉	51	こどもと音楽Ⅲ	82
保育指導法総論	21	社会福祉（午後）	52	こどもと音楽Ⅳ	83
健康指導法	22	社会福祉（夜間）	53	表現技術演習（身体）（午後）	84
人間関係指導法（午後）	23	子ども家庭支援論（午後）	54	表現技術演習（身体）（夜間）	85
人間関係指導法（夜間）	24	子ども家庭支援論（夜間）	55	保育実習Ⅰ（児童福祉施設等）	86
環境指導法（午後）	25	社会的養護Ⅰ	56	保育実習指導Ⅰ（児童福祉施設等）（午後）	87
環境指導法（夜間）	26	子ども家庭支援の心理学Ⅰ（午後）	57	保育実習指導Ⅰ（児童福祉施設等）（夜間）	88
言葉指導法	27	子ども家庭支援の心理学Ⅰ（夜間）	58	保育実習Ⅰ（保育所）	89
表現（音楽）指導法	28	子ども家庭支援の心理学Ⅱ（午後）	59	保育実習指導Ⅰ（保育所）	90
表現（造形）指導法（午後）	29	子ども家庭支援の心理学Ⅱ（夜間）	60	保育実習Ⅱ	91
表現（造形）指導法（夜間）	30	子どもの保健	61	保育実習指導Ⅱ	92
教育原理（午後）	31	子どもの食と栄養	62	保育実践演習	93

保 育 科

夜 間 部

シラバス(授業計画)

部	夜間部	学期	半期	授業形態	講義	単位数	2単位
科目名	社会学			担当教員	岩崎 郁人		
全体目標	世の中で起きている社会問題や事象の背景を明らかにし、各人が各々の視点を持てるようにする。						
一般目標	事例を通じて、社会問題等をよりよく理解する。そのために必要な理論や学説に関する知識のインプットもおこなう。						
到達目標	身の回りで起きている社会的な出来事に対する洞察力や観察力を養う。						
授業のながれ	回数	[授業内容]			課外学習		
	① 意味と相互主観性				事前学習	テキストの該当ページを読んでおく。	
					事後学習	講義内容の復習。	
	② アイデンティティ				事前学習	テキストの該当ページを読んでおく。	
					事後学習	講義内容の復習。	
	③ ステイグマ				事前学習	テキストの該当ページを読んでおく。	
					事後学習	講義内容の復習。	
	④ 正常と異常				事前学習	テキストの該当ページを読んでおく。	
					事後学習	講義内容の復習。	
	⑤ 予言の自己成就				事前学習	テキストの該当ページを読んでおく。	
					事後学習	講義内容の復習。	
	⑥ 社会構築主義				事前学習	テキストの該当ページを読んでおく。	
					事後学習	講義内容の復習。	
	⑦ ジェンダー				事前学習	テキストの該当ページを読んでおく。	
					事後学習	講義内容の復習。	
	⑧ 規範と制度				事前学習	テキストの該当ページを読んでおく。	
				事後学習	講義内容の復習。		
⑨ コミュニケーションの自己準拠				事前学習	テキストの該当ページを読んでおく。		
				事後学習	講義内容の復習。		
⑩ 社会の中の権力				事前学習	テキストの該当ページを読んでおく。		
				事後学習	講義内容の復習。		
⑪ 不平等と正義				事前学習	テキストの該当ページを読んでおく。		
				事後学習	講義内容の復習。		
⑫ 共同体				事前学習	テキストの該当ページを読んでおく。		
				事後学習	講義内容の復習。		
⑬ 国家と市民社会				事前学習	テキストの該当ページを読んでおく。		
				事後学習	講義内容の復習。		
⑭ 移民と移民国家、グローバル化				事前学習	テキストの該当ページを読んでおく。		
				事後学習	講義内容の復習。		
⑮ 試験。まとめ。				事前学習	テキストの該当ページを読んでおく。		
				事後学習	講義内容の復習。		
学習上の留意点	抽象的な内容や語句の暗記にとどめるのではなく、自分自身との関連を発見し、それをアウトプットできるように主体的な学習を目指す。						
成績評価の方法	授業出欠状況および受講態度 (受講態度には学生の状況に応じて課す レポートや発表なども含める) 50% 筆記試験 50%			教科書	社会学のエッセンス 新版補訂版		
				参考資料	必要に応じて、プリントの配布		

シラバス(授業計画)

部	夜間部	学期	半期	授業形態	講義	単位数	2単位
科目名	日本語表現			担当教員	矢野 桂子 倉兼 清子	小中学校教員(国語)として 実務経験有	
全体目標	幼児がことばを学び、ことばで考え、表現する力をつける重要な環境の一部としての自覚を持ち、「聞く、話す、読む、書く」力の大切さを再認識するとともに、豊かな日本語表現ができる力をつける。						
一般目標	日本語の基礎的・基本的事項についての知識・理解をいっそう深める。言語表現の実践的な諸能力を高める。						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> 自己紹介・スピーチ・朗読・小論文発表などを通して、考えを伝え合う力をつける。 四季の変化の中での暮らし・文化に培われてきた豊かな日本語にふれ、日本語表現に活かす意欲を持つ。 自分の幼時の言葉に関するエピソードを知るとともに、幼児の言語生活に関心を持つ。 						
授 業 の な が れ	回数	[授 業 内 容]			課外学習		
	①	授業計画	学習上の留意事項	スピーチの目的と方法を知る	事前学習	シラバスから学習内容を知る	
			教科書活用・資料の整理について	自己紹介	事後学習	教科書を概観する	
	②	小論文を書く	(1) 共通テーマ「幼児の育ちと言葉」	幼児の言葉について話し合う	事前学習	幼児の言葉のエピソードを聞く	
					事後学習	教科書「小論文の書き方」予習	
	③	小論文を書く	(2) 各自のテーマを発表する	構成メモを作る	事前学習	各自のテーマを考える	
					事後学習	資料を検討する	
	④	小論文を書く	(3) 構成メモをもとに記述する	読み合い校正する	事前学習	当て字・差別用語など調べる	
					事後学習	諸記録等に段落を意識して書く	
	⑤	文字を正しく書く	字源を知る[漢字・平仮名・片仮名]	漢語・和語・外来語の表記を理解する	事前学習	自分の姓名の由来を調べる	
					事後学習	興味を持った文字を調べる	
	⑥	豊かな会話表現	(1) 四季に関することばを会話に生かす	二十四節気・七十二候・5節句を知る	事前学習	季節感あることばを探す	
					事後学習	季節感と表現に関心を持つ	
	⑦	豊かな会話表現	(2) 敬語を使う時・場・相手に応じた言葉遣いを考える	具体例で演習	事前学習	敬語に関して迷うことを振り返る	
					事後学習	相手意識を持って話す	
⑧	豊かな会話表現	(3) 敬語に関する疑問を話し合う	敬語の練習問題を解く	事前学習	敬語を意識した会話に留意する		
				事後学習	敬語を使った会話を心掛ける		
⑨	豊かな会話表現	(4) 成語の成り立ちと意味・活用を考える	成語を使って短文を作り発表し合う	事前学習	好きな成語を見つける		
				事後学習	会話に成語を活かす		
⑩	文章表現	(1) 手紙(礼状)はがきの書き方を知る	用件が伝わる表現を考える	事前学習	手紙を出す相手の住所を調べる		
				事後学習	実習の礼状の下書きをする		
⑪	文章表現	(2) 実習の礼状の下書きを添削しあう	封書・返信はがきなどのマナーを知る	事前学習	季節にあった時候の挨拶を考える		
				事後学習	機会を捉え学習したことを実践		
⑫	文章表現	(3) 子どもの詩・子どもについての論評等から	子どもの表現と心について考える	事前学習	幼児の「つぶやき」に留意する		
				事後学習	幼児のことばから心にふれる		
⑬	スピーチ	(1) テーマ「自分を見つめて」原稿を書く	成長と展望	事前学習	自分の内面を見つめる		
				事後学習	原稿の校正をする		
⑭	スピーチ	(2) スピーチ	既習事項について質疑	事前学習	スピーチ練習		
				事後学習	学習内容の確認・復習		
⑮	試験	(筆記・意見文) 講評		事前学習	総合演習		
				事後学習	資料整理		
学習上の留意点	<p>学びあう時間を充実させ、幼児の育ちに関わる自信と誇りが持てるように、ことばで表現する力を磨こう。 ・よく聴き、よく考え、はっきり話す。 ・資料をしっかりと読む。 ・文字を丁寧に書く。 ・質問する。</p>						
成績評価の方法	筆記試験 60% 受講態度 20%			教科書	保育者になるための国語表現 田上貞一郎著 萌文書林		
	作品(小論文・スピーチ原稿) 20%				参考資料	「言葉の知識百科」三省堂 「子どもの感性を育む」NHK	

シラバス(授業計画)

部	夜間部 午後コース	学期	半期	授業形態	講義	単位数	2単位
科目名	自然科学概論			担当教員	才賀 美奈	自然体験活動インストラクターとして 実務経験有	
全体目標	乳幼児期における自然とのかかわりが、豊かな感性を育み、好奇心、探究心、思考力、表現力等の『人間力』の土台を形成する大きな要素であることをふまえて、子どもたちが自然の中で主体的に自由に遊び込み、自然をよく知り、生活と自然がよくつながり、子どもたちも保育者も自然と共に育っていくことができることを目標とする。						
一般目標	<ul style="list-style-type: none"> ・保育者自身が普段から自然の変化に意識を向け、楽しんだり不思議に思ったりする「感性を研ぎ澄ませておくこと」ができるようになる。 ・保育者として、人々の生活と様々な身近な自然(動植物、環境、現象、生命)とのつながりの重要性をとらえ、乳幼児期にある子どもたちが自然の中で遊び込める環境を作れるようになる。または自然と子どもの介在者となり、相互に良い働きかけができる。 ・乳幼児期のあらゆる発達段階において保育に自然を活用することの有効性をよく理解し、行動に移せる知識を身につける。 						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児がふれることができる身近な自然物(動植物・自然現象)について、保育者自身が主体的に興味を持ち、乳幼児と共にその世界を楽しむことができるようになる。 ・身近な植物の名前や特性を知り、乳幼児の遊びに取り入れる方法を知る。 ・「乳幼児期の発達段階」に応じた継続的な野外体験(野外活動)を、安全に配慮して企画・実施できるようになる。 						
授 業 の な が れ	回数	[授 業 内 容]			課外学習		
	① 「自然に出会う」①五感を使って自然を体感する(身近な自然探し)	授業ガイダンス・[稲の栽培]種の話(初)			事前学習	「小さい頃に遊んだ自然」を思い出す	
					事後学習	遊びの考察・ジャーナルを書く	
	② 「自然に出会う」② ～植物編～	春の植物の特性にフォーカスを当てて遊ぶ。・[稲の栽培]初撒き			事前学習	この季節にどんな植物があるか観察しておく	
					事後学習	遊びの考察・ジャーナルを書く	
	③ 「自然に出会う」③ ～小さな生きもの編～	春に出会う虫などの小さな生きものを探し、観察を行う。			事前学習	幼児期の生きものとの思い出集め	
					事後学習	遊びの考察・ジャーナルを書く	
	④ 「自然に出会う」④ ～土と水編～	土や水を使って遊ぶ(泥団子づくり)。			事前学習	幼児期の泥遊びの思い出集め	
					事後学習	遊びの考察・ジャーナルを書く	
	⑤ 「自然に出会う」⑤ ～木編～	木にふれて遊ぶ。・[稲の栽培]田植え			事前学習	幼児期に木で遊んだ思い出集め	
					事後学習	遊びの考察・ジャーナルを書く	
	⑥ 「自然と暮らしをつなぐ」① ～泥染め編～	泥を染色に活用できることを知る(ベンガラ泥染めを楽しむ)。			事前学習	布染めの模様をリサーチしておく	
					事後学習	遊びの考察・ジャーナルを書く	
	⑦ 「自然と共に子どもが育まれること」	乳幼児期の子どもの発達における自然の役割について考える。			事前学習	自分が行いたい保育をイメージしてくる	
					事後学習	ジャーナルを書く	
⑧ 「様々な自然の形態と全国で行われる自然保育」	自然を活用した保育の実践事例を知り、その特徴や効果について考える。			事前学習	自分の「自然観」を考えてみる		
				事後学習	遊びの考察・ジャーナルを書く		
⑨ 「保育現場よる自然環境の違いと取り組み」	季節・保育環境・保育のねらい等による「自然との付き合い」の違いを考える。			事前学習	自分の身の回りの自然を観察してくる		
				事後学習	遊びの考察・ジャーナルを書く		
⑩ 「自然とリスクマネジメント」① ～保育における自然とリスク～	野外保育活動をするときの危険予知トレーニングを学ぶ。			事前学習	これまでのヒヤリハットを思い出しておく		
				事後学習	遊びの考察・ジャーナルを書く		
⑪ 「自然とリスクマネジメント」② ～注意を要する生物と対処～	自然界で過ごす際に注意したいハチ・ヘビ・有毒昆虫など生物のことをよく知る。			事前学習	危険がある生物について調べてくる		
				事後学習	遊びの考察・ジャーナルを書く		
⑫ 「自然とリスクマネジメント」③ ～注意を要する植物と対処～	自然界で過ごす際に注意したい有毒な植物のことをよく知る。			事前学習	危険がある生物について調べてくる		
				事後学習	リスクマネジメントのまとめ・ジャーナルを書く		
⑬ 「自然と暮らしをつなぐ」② ～草木染め編～	四季折々の植物が染色に活用できることを知る(草木染めを楽しむ)。			事前学習	染める布の下準備をする		
				事後学習	染めた布のアイロンがけをする		
⑭ 「様々な季節の自然遊び」	自然遊びを企画しクラス内で実践、意見交換を行う。[稲の栽培]稲刈り※生長による			事前学習	四季折々の自然遊びを整理する		
				事後学習	遊びの考察・ジャーナルを書く		
⑮ 試験、まとめ	ジャーナルのまとめ・稲の成長観察のまとめ			事前学習	前期授業を自身のジャーナルからふりかえる		
				事後学習	保育でやってみたいことを具現化する		
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・原則、毎回の授業では近くの自然探し(主に市政資料館の庭)に出かけます。服装には留意してください。 ・フィールドワークを重んじるため、必要に応じて授業内容を変更、または入れ替えを行うことがあります。 ・本授業は、「ワーク(遊び)・学び・ジャーナル(振り返りと分析)」の3つの柱によって構成します。 ・4月～9月にかけて育つ稲の生長を、補助し記録することを授業の一部とみなします。 ・自然を「感じることを大切に、学生の皆さんの興味関心そして遊び心があふれることを期待します。 						
成績評価の方法	①提出物(授業ごとのジャーナル)30%			教科書	『自然保育の素』		
	自然科学を学びながら自らの中に生まれた感情をとらえ表現する				森のようちえん全国ネットワーク連盟		
	②稲の栽培(栽培と生長日記レポート)30%			参考資料	ミツイパブリッシング		
	コンテナを使った稲作を通して「植物の生長」を観察・記録・考察する				『センス・オブ・ワンダー』		
	③定期試験(レポート)40%				レイチェルカーゾン著 上遠恵子訳 新潮社		
	自己の気づき・学びを自ら評価表現する				『子どもと自然』		
	その他 授業参加状況や受講態度を考慮して評価				編著者 大豆生田啓友 著者 出原大 小西貴士 Gakken		

シラバス(授業計画)

部	夜間部 夜間コース	学期	半期	授業形態	講義	単位数	2単位
科目名	自然科学概論			担当教員	加藤 佳奈	幼稚園教諭・保育士として 実務経験有	
全体目標	自然科学の視点を通して、身の周りの自然物から、世界にあふれる様々な事象に対して、興味関心を持つ豊かな感性と、探求心の伴った行動力を養う。						
一般目標	講義や実践を通して、自然と子どもの関係性を学び、身近な自然物への興味関心を自ら深め、幼児教育、保育現場で活かす方法を身に着ける。						
到達目標	身近な自然物に触れる面白さを知り、なぜ？不思議？といった探求心を培う。 なぜ子どもに自然体験が必要かを学び、具体的な自然と子どもをつなげる技術、方法を学び、保育、幼児教育の現場で活かせるようになる。						
授 業 の な が れ	回数	[授 業 内 容]			課外学習		
	①	オリエンテーション・自己紹介			事前学習	教科書や参考資料を読む	
					事後学習	講義内容の現場での活かし方を考える	
	②	子どもにはなぜ自然が必要か 森のようちえんとは			事前学習	教科書や参考資料を読む	
					事後学習	講義内容の現場での活かし方を考える	
	③	春の野草料理			事前学習	教科書や参考資料を読む	
					事後学習	講義内容の現場での活かし方を考える	
	④	春の草花を観察・リスクマネジメント			事前学習	教科書や参考資料を読む	
					事後学習	講義内容の現場での活かし方を考える	
	⑤	風を感じる・紙飛行機			事前学習	教科書や参考資料を読む	
					事後学習	講義内容の現場での活かし方を考える	
	⑥	羊毛遊び 物の成り立ちを知る			事前学習	教科書や参考資料を読む	
					事後学習	講義内容の現場での活かし方を考える	
	⑦	夏野菜の育て方 保育活動への生かし方			事前学習	教科書や参考資料を読む	
					事後学習	講義内容の現場での活かし方を考える	
	⑧	草木染・玉ねぎ染め			事前学習	教科書や参考資料を読む	
				事後学習	講義内容の現場での活かし方を考える		
⑨	染め紙遊び 色と光のまじりあうプロセスを感じる			事前学習	教科書や参考資料を読む		
				事後学習	講義内容の現場での活かし方を考える		
⑩	木や木の実を使って製作			事前学習	教科書や参考資料を読む		
				事後学習	講義内容の現場での活かし方を考える		
⑪	秋の木の実を知ろう			事前学習	教科書や参考資料を読む		
				事後学習	講義内容の現場での活かし方を考える		
⑫	虫の観察			事前学習	教科書や参考資料を読む		
				事後学習	講義内容の現場での活かし方を考える		
⑬	蜂について、ミツロウキャンドル			事前学習	教科書や参考資料を読む		
				事後学習	講義内容の現場での活かし方を考える		
⑭	夏の野外実習の振り返り・まとめ			事前学習	教科書や参考資料を読む		
				事後学習	講義内容の現場での活かし方を考える		
⑮	試験・まとめ			事前学習	教科書や参考資料を読む		
				事後学習	講義内容の現場での活かし方を考える		
学習上の留意点	季節や天候により講義内容を変更することもあります。 子どもの姿を思い浮かべて積極的に講義や実践に参加し、現場での活かし方を考えていく						
成績評価の方法	授業参加状況・受講態度		60%	教科書	◆お母ちゃん革命◆森のわらべ手仕事帖 出版・一般社団法人MORIWARA		
	筆記試験		40%		参考資料	◆北欧の森のようちえん 出版・イザラ書房 ◆センスオブワンダー 出版・新潮社	

シラバス(授業計画)

部	夜間部	学期	集中	授業形態	演習	単位数	4単位
科目名	海外フィールドワーク			担当教員	小野 克志		
全体目標	「オーストラリア語学研修・保育実習プログラム」に参加し、オーストラリア、日本両国の幼児教育・保育の違いを肌で感じながら、多文化、多様性に対応できるグローバルな視点を持つ保育者を目指す						
一般目標	海外の幼児教育・保育を現地で学び、専門性、語学力、コミュニケーション能力、異文化理解力などを獲得することを目標としている。						
到達目標	多様な価値が混在する社会で、保育者としての立場を意識しながら、自分と異なった背景、考え方、生活スタイルを持つ他者との共存、理解を進めていけるよう学ぶ。						
授 業 の な が れ	[授業内容]						
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修期間 8月、約2週間実施 ・ 研修内容 オーストラリア保育実習プログラムでは、原則、1クラス実習生1名にて園児、教員、保護者との交流する。オーストラリアの保育現場を直接体験することで、日本との保育観、教育観の違い、英語のコミュニケーションの楽しさ、異文化環境における自己管理、協働性などを学ぶ。 ・ 事前指導 附属園教員によるオンラインのワークショップを実施し、オーストラリアの保育事情、生活情報などを学ぶ機会を設ける。合わせて、異文化理解、危機管理、生活マナーなどについても学ぶ機会を設ける。保育現場で使う基本英会話を事前学習し、簡単な手遊び、絵本読み聞かせの準備も行う。 ・ 事後指導(帰国後) <ul style="list-style-type: none"> ・ 個人研修レポートの提出・総括 ・ 保育実習報告会(グループ発表・写真共有) 						
学習上の留意点	日頃から新聞やニュースの報道に触れて、世界で起こっていること、海外の文化などを知り、自らの興味や視野を広げておくこと。						
成績評価の方法	事前事後の指導を含め、保育実習の取り組み、プレゼンテーションなどを総合的な学びとして評価する。また、海外保育実習での経験から感じたこと、反省点、そして今後の目標などを客観的にまとめたレポートを提出する。			教科書	なし (必要に応じて、プリントを配布する)		
				参考資料	『なぜ世界の幼児教育・保育を学ぶのか』 ミネルヴァ書房		

シラバス(授業計画)

部	夜間部	学期	半期	授業形態	講義	単位数	2単位
科目名	日本国憲法			担当教員	岩崎 郁人		
全体目標	日本国憲法の成り立ちを知り、現在の日本国への理解を憲法的な視点で高める。						
一般目標	日本国憲法の条文の趣旨、大日本帝国憲法との違いなどを理解する。						
到達目標	自身の生活とのつながりも踏まえ、日本国憲法を身近なものとしてとらえる。						
授業のながれ	回数	[授 業 内 容]			課外学習		
	① ガイダンス、日本国憲法の目的				事前学習	テキストの該当ページを読んでおく。	
					事後学習	講義内容の復習。	
	② 日本国憲法の三大原則				事前学習	テキストの該当ページを読んでおく。	
					事後学習	講義内容の復習。	
	③ 基本的人権の尊重				事前学習	テキストの該当ページを読んでおく。	
					事後学習	講義内容の復習。	
	④ 身体・精神の自由				事前学習	テキストの該当ページを読んでおく。	
					事後学習	講義内容の復習。	
	⑤ 経済活動の自由など				事前学習	テキストの該当ページを読んでおく。	
					事後学習	講義内容の復習。	
	⑥ 平等権				事前学習	テキストの該当ページを読んでおく。	
					事後学習	講義内容の復習。	
	⑦ 社会権				事前学習	テキストの該当ページを読んでおく。	
					事後学習	講義内容の復習。	
	⑧ 請求権				事前学習	テキストの該当ページを読んでおく。	
				事後学習	講義内容の復習。		
⑨ 平和主義				事前学習	テキストの該当ページを読んでおく。		
				事後学習	講義内容の復習。		
⑩ 国会				事前学習	テキストの該当ページを読んでおく。		
				事後学習	講義内容の復習。		
⑪ 内閣				事前学習	テキストの該当ページを読んでおく。		
				事後学習	講義内容の復習。		
⑫ 司法				事前学習	テキストの該当ページを読んでおく。		
				事後学習	講義内容の復習。		
⑬ 地方自治				事前学習	テキストの該当ページを読んでおく。		
				事後学習	講義内容の復習。		
⑭ 憲法改正				事前学習	テキストの該当ページを読んでおく。		
				事後学習	講義内容の復習。		
⑮ 試験。まとめ。				事前学習	テキストの該当ページを読んでおく。		
				事後学習	講義内容の復習。		
学習上の留意点	抽象的な内容や語句の暗記にとどめるのではなく、自分自身との関連を発見し、それをアウトプットできるように主体的な学習を目指す。						
成績評価の方法	授業参加状況および受講態度 (受講態度には学生の状況に応じて課す レポートや発表なども含める) 50% 筆記試験 50%			教科書	「図解による憲法のしくみ第2版」 (自由国民社) 神田 将著		
				参考資料	必要に応じて、プリントの配布		

シラバス(授業計画)

部	夜間部 午後コース	学期	半期	授業形態	演習		単位数	2単位
科目名	情報機器演習			担当教員	中村 優月			
全体目標	情報技術 (ICT) を活用した保育を展開できる保育者となることを目標とする。							
一般目標	情報機器への理解を深め、機器の利用方法を学ぶ。 様々なアプリケーションへの理解を深める。							
到達目標	情報機器の基礎的な知識や操作方法、情報機器を用いて何ができるのかを学ぶ。 文章や図表の作成、表計算、プレゼンテーション資料の作成を習得する。							
授業 の な が れ	回数	[授 業 内 容]			課外学習			
	①	受講ガイダンス、情報機器の操作説明 Windowsの基本操作とフォルダ作成			事前学習	授業資料の確認		
					事後学習	授業資料の復習・課題		
	②	文章作成① グラフィック要素			事前学習	授業資料の確認		
					事後学習	授業資料の復習・課題		
	③	文章作成② 書式設定			事前学習	授業資料の確認		
					事後学習	授業資料の復習・課題		
	④	文章作成③ 表の作成			事前学習	授業資料の確認		
					事後学習	授業資料の復習・課題		
	⑤	文章作成④ グラフィック要素			事前学習	授業資料の確認		
					事後学習	授業資料の復習・課題		
	⑥	プレゼンテーション① 入力操作の基本			事前学習	授業資料の確認		
					事後学習	授業資料の復習・課題		
	⑦	プレゼンテーション② 素材の利用			事前学習	授業資料の確認		
					事後学習	授業資料の復習・課題		
⑧	プレゼンテーション③ メディアの利用とアニメーション効果			事前学習	授業資料の確認			
				事後学習	授業資料の復習・課題			
⑨	表作成① 入力操作の基本			事前学習	授業資料の確認			
				事後学習	授業資料の復習・課題			
⑩	表作成② 表の作成と編集、数式と参照			事前学習	授業資料の確認			
				事後学習	授業資料の復習・課題			
⑪	表作成③ グラフ機能と素材の挿入			事前学習	授業資料の確認			
				事後学習	授業資料の復習・課題			
⑫	表作成④ 関数			事前学習	授業資料の確認			
				事後学習	授業資料の復習・課題			
⑬	課題の説明と評価方法			事前学習	授業資料の確認			
				事後学習	授業資料の復習・課題			
⑭	Officeを利用した課題の作成			事前学習	授業資料の確認			
				事後学習	授業資料の復習・課題			
⑮	試験、まとめ			事前学習	試験対策			
				事後学習	授業の総復習			
学習上の留意点	課題提出があるため、欠席しないこと パソコンの操作に自信がない場合は、授業資料の予習を行うこと 不明な点は教員に積極的に質問すること							
成績評価の方法	課題…30%			教科書	「学生のためのかんたんWord Excel PowerPoint入門」 技術評論社			
	小テスト…30%				参考資料			
	最終試験…40%							

シラバス(授業計画)

部	夜間部 夜間コース	学期	半期	授業形態	演習	単位数	2単位
科目名	情報機器演習			担当教員	宇佐見 夏希		
全体目標	情報技術 (ICT) を活用した保育を展開できる保育者となることを目標とする。						
一般目標	情報機器への理解を深め、機器の利用方法を学ぶ。 様々なアプリケーションへの理解を深める。						
到達目標	情報機器への理解を深め、機器の利用方法を学ぶ。 様々なアプリケーションへの理解を深める。						
授 業 の な が れ	回数	[授 業 内 容]			課外学習		
	① 受講ガイダンス、情報機器の操作説明 Windowsの基本操作とフォルダ作成	事前学習	授業資料の確認	事後学習	授業資料の復習・課題		
	② プレゼンテーション① 入力操作の基本	事前学習	授業資料の確認	事後学習	授業資料の復習・課題		
	③ プレゼンテーション② 素材の利用	事前学習	授業資料の確認	事後学習	授業資料の復習・課題		
	④ プレゼンテーション③ メディアの利用とアニメーション効果	事前学習	授業資料の確認	事後学習	授業資料の復習・課題		
	⑤ 文章作成① グラフィック要素	事前学習	授業資料の確認	事後学習	授業資料の復習・課題		
	⑥ 文章作成② 書式設定	事前学習	授業資料の確認	事後学習	授業資料の復習・課題		
	⑦ 文章作成③ 表の作成	事前学習	授業資料の確認	事後学習	授業資料の復習・課題		
	⑧ 文章作成④ グラフィック要素	事前学習	授業資料の確認	事後学習	授業資料の復習・課題		
	⑨ 表作成① 入力操作の基本	事前学習	授業資料の確認	事後学習	授業資料の復習・課題		
	⑩ 表作成② 表の作成と編集、数式と参照	事前学習	授業資料の確認	事後学習	授業資料の復習・課題		
	⑪ 表作成③ グラフ機能と素材の挿入	事前学習	授業資料の確認	事後学習	授業資料の復習・課題		
	⑫ 表作成④ 関数	事前学習	授業資料の確認	事後学習	授業資料の復習・課題		
	⑬ 課題の説明と評価方法	事前学習	授業資料の確認	事後学習	授業資料の復習・課題		
	⑭ Officeを利用した課題の作成	事前学習	授業資料の確認	事後学習	授業資料の復習・課題		
	⑮ 試験、まとめ	事前学習	試験対策	事後学習	授業の総復習		
学習上の留意点	課題提出があるため、欠席しないこと パソコンの操作に自信がない場合は、授業資料の予習を行うこと 不明な点は教員に積極的に質問すること						
成績評価の方法	授業毎の小テスト…30% 課題の提出…30% 最終試験…40%			教科書	「学生のためのかんたんWord Excel PowerPoint入門」 技術評論社		
				参考資料			

シラバス(授業計画)

部	夜間部	学期	半期	授業形態	演習	単位数	2単位
科目名	一般英語			担当教員	米田 充		
全体目標	映画「ハリーポッター」を題材に、基本的な表現、イギリス英語とアメリカ英語の違いを知る。原書を読むための基本的な和訳法を身につける。						
一般目標	各セクションの重要表現を聞き取り、復唱、書き取りをすることで表現に慣れ親しむ。英文の構造を段階を追って学び、和訳法へ適用させる。						
到達目標	テキストのヒントを参考に、ピックアップされた表現を繰り返し聞いてなんとか真似をして復唱する。英文の構造を解析する練習を繰り返し、和訳の準備を整えてから、和訳を実践していく。原書を辞書を引きながら読み進められる自信をつける。						
授業のながれ	回数	[授 業 内 容]			課外学習		
	①	併行する学習の方法と目標の説明。 Section1のリスニング hope/thinkの違いなど			事前学習	シラバスを読んでおく	
					事後学習	重要表現の復唱練習	
	②	動詞の発見とその周辺の語句			事前学習	テキストの要点の先読み	
					事後学習	練習問題で実践練習	
	③	Section2のリスニング get up/wake upの違い、命令文、数の尋ね方など			事前学習	word listのチェック	
					事後学習	重要表現の復唱練習	
	④	主語の発見、主語の前の余分な語句について			事前学習	テキストの要点の先読み	
					事後学習	練習問題で実践練習	
	⑤	Section3のリスニング Why/Becauseの呼応, too/eitherの使い方			事前学習	word listのチェック	
					事後学習	重要表現の復唱練習	
	⑥	語句のまとめ 修飾語＋名詞、前置詞＋名詞			事前学習	テキストの要点の先読み	
					事後学習	練習問題で実践練習	
	⑦	Section4,5のリスニング Excuse me, but、疑問詞＋不定詞の用法			事前学習	word listのチェック	
					事後学習	重要表現の復唱練習	
	⑧	和訳の順序 基礎和訳と調整和訳の仕方			事前学習	テキストの要点の先読み	
				事後学習	練習問題で実践練習		
⑨	Section6,7のリスニング 大きな数字の読み方、What's＋場所、Here we are			事前学習	word listのチェック		
				事後学習	重要表現の復唱練習		
⑩	2つ以上の文、つながりの理解 等位接続詞と従位接続詞			事前学習	テキストの要点の先読み		
				事後学習	練習問題で実践練習		
⑪	Section8,9のリスニング 発音練習、Can you/Could youの違いなど			事前学習	word listのチェック		
				事後学習	重要表現の復唱練習		
⑫	つながりの理解2 間接疑問文と関係代名詞			事前学習	テキストの要点の先読み		
				事後学習	練習問題で実践練習		
⑬	Section10のリスニング Do you mind..に対する答え方			事前学習	word listのチェック		
				事後学習	重要表現の復唱練習		
⑭	和訳の実践もしくは園での場面英会話 原書からの英文にもチャレンジ			事前学習	要点の復習		
				事後学習	練習問題で実践練習		
⑮	試験、まとめ			事前学習	教材の見直し		
				事後学習	まとめの理解		
学習上の留意点	リスニングの授業は概ね英語で行いますが、細かなことにとらわれることなく、感覚で理解に努めるように。書き取りの際、スペルチェックできるように、辞書を用意しておくといでしょう。和訳法の授業は日本語で行います。テキストへの書き込みは必ずしてください。その都度提出を求めます。						
成績評価の方法	平常授業での提出プリントの完成度 60% プリント提出できない場合は-5点 プリント書き込みが不十分な場合は-3点 期末定期試験 40% プリントと試験の合計点で最終評価する			教科書	オリジナル教材		
				参考資料			

シラバス(授業計画)

部	夜間部	学期	半期	授業形態	講義	単位数	1単位
科目名	体育講義			担当教員	山内 隆治	幼児体操教室講師として実務経験有	
全体目標	からだの仕組みを知り、より効果的にトレーニングできる知識を学ぶ。						
一般目標	幼児体育における知識を学び、後期の実技へと繋げる。						
到達目標	幼児体育種目に現場で対応できる知識を習得する。						
授業のながれ	回数	[授 業 内 容]			課外学習		
	①	オリエンテーション (今後の授業の進め方)			事前学習	シラバス下読み	
					事後学習	授業内容の把握	
	②	幼児体育と学校体育カリキュラム (幼児体育カリキュラム内容)			事前学習	幼児体育種目の確認	
					事後学習	カリキュラム内容の把握	
	③	運動あそび (運動あそびの種類)			事前学習	運動あそびの種類確認	
					事後学習	運動あそびの内容把握	
	④	運動発達と運動あそび (あそびとしての運動の重要性)			事前学習	運動の重要性を確認	
					事後学習	運動発達の環境について把握	
	⑤	運動発達と運動あそび (運動発達の時代変化)			事前学習	運動発達の時代変化を確認	
					事後学習	運動発達の時代変化を把握	
	⑥	運動発達、体力の分類、成就率 (運動発達の段階と年齢区分)			事前学習	運動発達のしくみ確認	
					事後学習	体力の分類の構図を把握	
	⑦	器械体操段階指導 (マット後転、跳び箱開脚跳び、鉄棒逆上がり)			事前学習	器械体操の段階指導法確認	
					事後学習	器械体操の段階指導法把握	
	⑧	リーグ戦、トーナメント戦の表の作成 (表の作成方法)			事前学習	リーグ戦、トーナメント戦の違い確認	
				事後学習	表の作成方法の把握		
⑨	器械体操補助法 (マット、跳び箱、鉄棒)			事前学習	器械体操の補助法確認		
				事後学習	器械体操の補助法把握		
⑩	水あそび、プールあそび (注意ポイント、あそびの種類)			事前学習	注意ポイントなどの確認		
				事後学習	学年別のあそび方把握		
⑪	ボール運動 (0～3歳までのボール運動)			事前学習	ボールの運動形態確認		
				事後学習	3歳までのボール運動把握		
⑫	ボール運動、縄運動 (3歳からのボール運動)			事前学習	ボールと縄の運動形態確認		
				事後学習	ボールと縄の段階指導把握		
⑬	運動神経、コーディネーショントレーニング (コーディネーショントレーニングとは)			事前学習	運動の基本を確認		
				事後学習	コーディネーショントレーニングとは		
⑭	運動会種目 (組体操、バルーンの種目)			事前学習	運動会種目の確認		
				事後学習	組体操、バルーンの動き把握		
⑮	定期試験まとめ			事前学習	試験範囲の確認		
				事後学習	評価内容の把握		
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・プリント教材が中心となります。 ・幼児体育という未知の内容に興味をもって臨みましょう。 						
成績評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・定期試験 80% ・平常点(授業態度、授業参加状況) 20% 			教科書	なし		
				参考資料	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児期における運動発達と運動遊びの指導 ・0歳からのボール遊び運動 ・幼児体育指導経験による幼児体育種目 		

シラバス(授業計画)

部	夜間部	学期	半期	授業形態	実技		単位数	1単位
科目名	体育実技			担当教員	山内 隆治		幼児体操教室講師として実務経験有	
全体目標	からだの仕組みを知り、より効果的にトレーニングできる知識を学ぶ。							
一般目標	柔軟性を養うと共に、自らの体力の向上を図る。							
到達目標	正しいストレッチ体操を習得して、留意点に注意して行う。							
授業 の な が れ	回数	[授 業 内 容]			課外学習			
	①	バレーボール (オーバー・アンダーパス、ゲーム)			事前学習	シラバス下読み		
					事後学習	オーバー・アンダーパス習得		
	②	バレーボール (サーブ、ゲーム)			事前学習	ゲームのルール確認		
					事後学習	サーブの打ち方習得		
	③	バレーボール (サーブレシーブ、ゲーム)			事前学習	ゲームのルール確認		
					事後学習	サーブレシーブ習得		
	④	器械体操補助法 ★講義 (マット、鉄棒)			事前学習	器械体操の補助法確認		
					事後学習	マット・鉄棒の補助法習得		
	⑤	器械体操補助法 (マット、鉄棒)			事前学習	マット・鉄棒の補助法再確認		
					事後学習	マット・鉄棒の補助法習得		
	⑥	器械体操補助法 (実技テスト)			事前学習	マット・鉄棒の補助法再確認		
					事後学習	マット・鉄棒の補助法習得		
	⑦	運動発達、体力の分類、成就率 ★講義 (運動発達の段階と年齢区分)			事前学習	運動発達のしくみ確認		
					事後学習	体力の分類の構図を確認		
⑧	ドッジビー (スローイング・ゲーム)			事前学習	ドッジビーのルール確認			
				事後学習	スローイングの習得			
⑨	ドッジビー (パスゲーム)			事前学習	スローイングの確認			
				事後学習	ゲームのルール確認			
⑩	幼児体育と学校体育カリキュラム ★講義 (幼児体育カリキュラム内容)			事前学習	幼児体育種目の確認			
				事後学習	カリキュラム内容の把握			
⑪	ポートボール (ドリブル、ゲーム)			事前学習	ゲームのルール確認			
				事後学習	ゲーム内容の確認			
⑫	ポートボール (パス、ゲーム)			事前学習	ゲームのルール確認			
				事後学習	ゲーム内容の確認			
⑬	体力テスト (反復横跳び、立幅跳び)			事前学習	ストレッチ体操内容確認			
				事後学習	各個人の体力年齢の把握			
⑭	リーグ戦・トーナメント戦の表作成、器械体操段階指導法 ★講義 (表の作成方法、マット・跳び箱・鉄棒の段階指導法)			事前学習	表の作成方法確認			
				事後学習	器械体操の段階指導法把握			
⑮	定期試験まとめ			事前学習	試験範囲の確認			
				事後学習	評価内容の把握			
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・運動の出来る服装で出席すること。 ・体育館シューズを用意すること。 ・装飾品は、はずして出席すること。 ・講義についてはプリント教材で行う。 							
成績評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・実技 (50点) ・定期試験 (50点) ・平常点(授業態度、授業参加状況) 			教科書	なし			
				参考資料	・幼児体育指導経験に基づく実技内容			

シラバス(授業計画)

部	夜間部	学期	集中	授業形態	演習	単位数	1単位
科目名	野外活動			担当教員	浦田 一	幼稚園教諭・保育教諭として実務経験有	
全体目標	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児が自然と遊ぶことで育つ感性を、自らの体験を通して学ぶ。 ・保育者としてそれぞれの体験を効果的に幼児に支援する具体的方法を学ぶ。 ・自己のコミュニケーション方法を仲間との共同生活、自然を通じた活動から考え直す。 						
一般目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ありのままの自然(水、光、暑さ、涼しさ等)を体験する楽しさや苦しさ、達成感を味わう。 ・食事、クラフトなど自然を利用することで得られる感謝の念や工夫の楽しさを知る。 ・活動を通じ協力することの具体的な意味を理解する。 						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自然活動を通して自己の体力や気持ちをコントロールする必要性を学ぶ。 ・集団生活を通して協力して生活することの大切さを感じる。 ・幼児の具体的活動方法と援助技術を学ぶ。 						
授業のながれ	回数	[授 業 内 容]			課外学習		
	①	野外教育について【講義】 社会環境の変化、自然への理解について学習する			事前学習	シラバスの考察	
					事後学習	授業内容の理解	
	②	オリエンテーション【講義】 環境、意義、方法や服装などの準備物について			事前学習	しおり、プリント学習	
					事後学習	授業内容の理解	
	③	環境理解【演習】 *開校式 お泊まり保育の意義、環境の変化や注意事項について			事前学習	しおり、プリント学習	
					事後学習	実践内容の理解	
	④	自然探索【演習】 *ウォークラリー 山中を楽しく歩くことで達成感、協力、幼児指導法を学ぶ			事前学習	しおり、プリント学習	
					事後学習	実践内容の理解	
	⑤	自然と共生【演習】 *クラフト 工夫することの楽しさ、創意工夫のすばらしさを知る			事前学習	しおり、プリント学習	
					事後学習	実践内容の理解	
	⑥	自然と食【演習】 *飯盒炊飯 協力することで得られる食の楽しさややりがいを感じる			事前学習	しおり、プリント学習	
					事後学習	実践内容の理解	
	⑦	自然と明暗と暖かさ【演習】 *キャンプファイヤー 明りの大切さ、仲間、有限な自然を利用することを学ぶ			事前学習	しおり、プリント学習	
					事後学習	実践内容の理解	
⑧	自然と衛生管理【演習】 *入浴 入浴を通して、衛生管理の配慮事項等について学習する			事前学習	しおり、プリント学習		
				事後学習	実践内容の理解		
⑨	自然と健康管理【演習】 *就寝 自然の中で寝泊まりする自己の心の変化を知る			事前学習	しおり、プリント学習		
				事後学習	実践内容の理解		
⑩	自然と目覚め【演習】 *朝の体操 爽快感と心と身体を目覚めさせる方法を学ぶ			事前学習	しおり、プリント学習		
				事後学習	実践内容の理解		
⑪	仲間と対話【演習】 *朝食 食事の時間の重要性を感じる			事前学習	しおり、プリント学習		
				事後学習	実践内容の理解		
⑫	環境整備【演習】 *清掃 自然や環境、物を大事にする大切さを知る			事前学習	しおり、プリント学習		
				事後学習	実践内容の理解		
⑬	自然を探す【演習】 *野外ゲーム 活動環境と幼児の遊び方、危険、導き方を学ぶ			事前学習	しおり、プリント学習		
				事後学習	実践内容の理解		
⑭	振り返り①【講義】 *グループ・ディスカッション 感得したものや学習成果について話し合う			事前学習	実践の振り返り		
				事後学習	自己評価		
⑮	振り返り② *レポート提出 自然への認識、理解の深まりについてなどレポート提出			事前学習	実践の振り返り		
				事後学習	自己評価		
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・事前に配布されたプリントやしおりを熟読しておく。 ・慣れない生活に備え自己の健康管理に留意する。 ・自然を理解するように努め、積極的に活動に参加する。 ・集団生活の規律を厳守する。 						
成績評価の方法	授業参加状況	30%	教科書	「配布プリント」			
	授業への取り組み姿勢	40%		「山のくらししおり」			
	事後レポート作成内容	30%	参考資料	「園外保育・山のくらし」			
				「キャンプの図鑑」			
				「親子で楽しむキャンプ術」			
				「はじめてのキャンプ」			

シラバス(授業計画)

部	夜間部 午後コース	学期	半期	授業形態	演習	単位数	1単位
科目名	こどもと健康			担当教員	大主 香	幼稚園教諭として 実務経験有	
全体目標	領域「健康」の指導に関する幼児期の身体の発育、及びそれに伴う運動機能の発達などの専門的事項についての知識を身につける。						
一般目標	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児期の健康課題と健康の発達の意味を理解する。 ・幼児期の運動発達の特徴と意義を理解する。 						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・健康の定義と乳幼児期の健康の意義を説明できる。 ・乳幼児期の体の発達の特徴を説明できる。 ・幼児期において多様な動きを獲得することの意義を理解している。 						
授 業 の な が れ	回数	[授 業 内 容]			課外学習		
	① 領域「健康」とは「ねらい」及び「内容」				事前学習	領域「健康」のねらい及び内容を読む	
					事後学習	授業内容を振り返る	
	② 乳幼児の身体の発達の特徴				事前学習	乳幼児の身体の発達について調べる	
					事後学習	授業内容を振り返る	
	③ 乳幼児期の生活習慣の形成				事前学習	生活習慣の形成について考える	
					事後学習	授業内容を振り返る	
	④ 幼児の安全教育				事前学習	幼児を取り巻く危険について考える	
					事後学習	授業内容を振り返る	
⑤ 幼児期の怪我や事故の特徴と応急処置・病気の予防				事前学習	幼児の事故、病気について調べる		
				事後学習	授業内容を振り返る		
⑥ 幼児期の運動発達				事前学習	多様な動きについて調べる		
				事後学習	授業内容を振り返る		
⑦ 日常生活における運動				事前学習	日常生活で獲得する動きを考える		
				事後学習	授業内容を振り返る		
⑧ 試験、まとめ				事前学習	総復習		
				事後学習	試験内容について振り返り		
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・ 幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説や配付資料を読み、知識を習得し、理解する。 ・ 事前学習及び事後学習に主体的に取り組む。 ・ 積極的に授業に参加する。 						
成績評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・定期試験 70% ・授業参加状況や受講態度 16% ・課題提出 14% 			教科書	「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」		
				参考資料	「幼稚園教育要領」「幼稚園教育要領解説」 「保育所保育指針」「保育所保育指針解説」 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」		

シラバス(授業計画)

部	夜間部 夜間コース	学期	半期	授業形態	演習	単位数	1単位
科目名	こどもと健康			担当教員	河村 哲昌	保育士として 実務経験有	
全体目標	領域「健康」の指導に関する幼児期の身体の発育、及びそれに伴う運動機能の発達などの専門的事項についての知識を身に付ける。						
一般目標	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児期の健康課題と健康の発達の意味を理解する。 ・幼児期の運動発達の特徴と意義を理解する。 						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・健康の定義と乳幼児期の健康の意義を説明できる。 ・乳幼児期の体の発達の特徴を説明できる ・乳幼児期において多様な動きを獲得することの意義を理解している。 						
授業 の な が れ	回数	[授 業 内 容]			課外学習		
	①	オリエンテーション 1. 健康とは？ (1)健康の定義 (2)健康の捉え方	事前学習 事後学習	“健康”とは何か考える 授業内容を振り返る			
	②	2. 乳幼児の身体発育 (1)発育・発達とは？ (2)生理的早産説 (3)“子宮外胎児期”の意味	事前学習 事後学習	「発育」「発達」とは何か考える 授業内容を振り返る			
	③	3. 乳幼児の身体計測及び発育状態 (1)身体計測 (2)乳幼児の発育栄養状態をみる方法	事前学習 事後学習	身体計測の方法を調べる 授業内容を振り返る			
	④	4. 乳幼児の器官の発育 (1)骨格系の発育 (2)骨の働き (3)頭蓋、脊柱について (4)歯について	事前学習 事後学習	人間の骨格の種類、虫歯のプロセスについて調べる 授業内容を振り返る			
	⑤	5. 乳幼児の筋肉の発育 (1)筋肉の発育 (2)筋肉の種類 (3)筋肉の働き (4)ミルキングアクション作用	事前学習 事後学習	筋肉の働きについて調べる 授業内容を振り返る			
	⑥	6. 健康及び安全について (1)健康支援 (2)食育の推進 (3)環境及び衛生管理並びに安全管理 (4)災害への備え	事前学習 事後学習	保育所保育指針 第3章 健康及び安全 授業内容を振り返る			
	⑦	5. 乳幼児の運動機能の発達 (1)運動の発生 (2)運動のメカニズム	事前学習 事後学習	運動のメカニズムについて調べる 授業内容を振り返る			
	⑧	試験、まとめ	事前学習 事後学習	これまでの学びをまとめる 学びの応用のついて考える			
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> * 授業は必ず筆記用具を準備して臨む。 * わからないことは、そのままにせず積極的に質問する。 * 必要に応じて資料配布する。当日欠席した者は必ず取りに来る。 						
成績評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・定期試験 80% ・授業参加状況 受講態度 20% 			教科書			
				参考資料	「幼稚園教育要領」(平成29年3月告示 文部科学省) 「保育所保育指針」(平成29年3月告示 厚生労働省) 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」(平成29年3月告示 内閣府・文部科学省・厚生労働省)		

シラバス(授業計画)

部	夜間部	学期	半期	授業形態	演習	単位数	1単位
科目名	こどもと人間関係			担当教員	森 里美 瀬木 ゆかり	幼稚園教諭・保育士として 実務経験有	
全体目標	子どもが身近な人に関わる意義、そして重要性について理解する。						
一般目標	子どもの心身の発達と身近な人的環境との関係性について理解を深める。						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> 子どもが身近な人に関わる重要性について説明することができる。 子どもを取り巻く環境の変化とその課題について、人間関係の視点から自らの考えを発言や文章によって示すことができる。 						
授業 の な が れ	回数	[授 業 内 容]			課外学習		
	① オリエンテーション	子どもを取り巻く人間関係			事前学習	現代の幼児教育の課題について調査しておく。	
					事後学習	授業内容の振り返り	
	② 領域「人間関係」とは「ねらい」及び「内容」				事前学習	教科書の該当箇所を熟読しておく。	
					事後学習	授業内容の振り返り	
	③ 乳児期の人間関係子どもの人間関係と社会・道徳性				事前学習	教科書の該当箇所を熟読しておく。	
					事後学習	授業内容の振り返り	
	④ 3歳以上児の人間関係(1) 保育体験「はじめの一步(子どもを知る)」				事前学習	教科書の該当箇所を熟読しておく。	
					事後学習	授業内容の振り返り	
⑤ 3歳以上児の人間関係(2) 保育体験「はじめの一步(園生活を知る)」				事前学習	教科書の該当箇所を熟読しておく。		
				事後学習	授業内容の振り返り		
⑥ 子どもの人間関係と社会・道徳性 家庭や地域との連携				事前学習	教科書の該当箇所を熟読しておく。		
				事後学習	授業内容の振り返り		
⑦ 保育者が紡ぐ『人間関係』				事前学習	教科書の該当箇所を熟読しておく。		
				事後学習	授業内容の振り返り		
⑧ 試験及びまとめ				事前学習	授業内容全体の理解を深めておく。		
				事後学習	授業内容全体を振り返り、自分自身の考えをまとめる。		
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> 授業は必ず筆記用具を準備して臨む。 わからないことはそのままにせず積極的に質問する。 必要に応じて資料を配布する。当日欠席した者は必ず取りに来る。 						
成績評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> 定期試験 50% 提出物、受講態度 50% 			教科書	ワークで学ぶ保育内容「人間関係」(株)みらい		
				参考資料	幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領及び解説書		

シラバス(授業計画)

部	夜間部 午後コース	学期	半期	授業形態	演習	単位数	1単位
科目名	こどもと環境			担当教員	森 里美	保育士として 実務経験有	
全体目標	<ul style="list-style-type: none"> 子どもが「環境と関わる」ことの意味と意義について学ぶ 「環境を通して行う教育」を保育の基本として、子どもの環境について考える 						
一般目標	<ul style="list-style-type: none"> 幼児を取り巻く環境と幼児の発達について理解する。 乳幼児にとっての学びの素材としての「環境」の意義について理解する。 						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> 乳幼児を取り巻く環境(物的環境・人的環境・社会的環境・自然環境等)について理解する 						
授 業 の な が れ	回数	[授 業 内 容]			課外学習		
	①	オリエンテーション 領域「環境」のねらいと内容			事前学習	授業の該当箇所を予習する	
					事後学習	資料を読み復習する。	
	②	環境を通しての保育・教育			事前学習	授業の該当箇所を予習する	
					事後学習	資料を読み復習する。	
	③	子どもの発達と環境、0歳児の発達と「環境」			事前学習	授業の該当箇所を予習する	
					事後学習	資料を読み復習する。	
	④	1歳以上3歳未満児の発達と「環境」			事前学習	授業の該当箇所を予習する	
					事後学習	資料を読み復習する。	
⑤	3歳以上児の発達と「環境」			事前学習	授業の該当箇所を予習する		
				事後学習	資料を読み復習する。		
⑥	自然、植物、生き物に触れたり、物や道具にかかわる保育			事前学習	授業の該当箇所を予習する		
				事後学習	資料を読み復習する。		
⑦	遊びや生活の情報に興味をもち、文化・行事を知る			事前学習	授業の該当箇所を予習する		
				事後学習	資料を読み復習する。		
⑧	試験・まとめ			事前学習	これまでの学びをまとめる。		
				事後学習	保育における「環境」について復習する。		
学習上の留意点	<p>授業を欠席した場合には、配布した資料を取りに来るようにする。 授業内容のまとめを作成し、振り返りをするようにする。 日頃からこどもの姿を思い浮かべどのように環境に働きかけるかを考えていく。</p>						
成績評価の方法	試験 60% 授業態度(発表・受講姿勢) 20% 課題提出 20%			教科書	事例と演習でよくわかる保育内容「環境」 駒井美智子・横山文樹 編著		
				参考資料	事例で学ぶ保育内容「領域 環境」無藤隆 監修 「幼稚園教育要領」(平成29年3月告示 文部科学省) 「保育所保育指針」(平成29年3月告示 厚生労働省) 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」 (平成29年3月告示 内閣府文部科学省・厚生労働省)		

シラバス(授業計画)

部	夜間部 夜間コース	学期	半期	授業形態	演習		単位数	1単位
科目名	こどもと環境			担当教員	河村 哲昌		保育士として 実務経験有	
全体目標	幼児を取り巻く環境や、幼児と環境との関わりについての専門的事項における感性を養い、知識・技能を身に付ける。							
一般目標	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児を取り巻く環境と、幼児の発達にとっての意義を理解する。 ・幼児期の思考・科学的概念の発達を理解する。 							
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児を取り巻く環境の諸側面(物的環境、人的環境、社会的環境、自然環境等)と、幼児の発達におけるそれらの重要性について説明できる。 ・乳幼児の認知的発達の特徴と道筋を説明できる。 ・乳幼児の物理的、数量・図形との関わり的事象に対する興味・関心、理解の発達を説明できる。 							
授 業 の な が れ	回数	[授 業 内 容]			課外学習			
	①	○オリエンテーション 1. 領域「環境」とは	事前学習	教科書 P8～11を熟読し、「環境」について考える				
			事後学習	授業内容を振り返る				
	②	2. 領域「環境」のねらいと内容	事前学習	教科書 P12～23を熟読し、環境の「ねらいと内容」について考える				
			事後学習	授業内容を振り返る				
	③	3. 子どもの育ちを支える人的環境 (1)乳児期 DVD赤ちゃんが笑わない	事前学習	乳児期の人との関わりについて考える				
			事後学習	授業内容を振り返る				
	④	(2)幼児期	事前学習	幼児期の人とのかかわりについて考える				
			事後学習	授業内容を振り返る				
⑤	4. 子どもの認知発達 (1)感受性の発達	事前学習	感受性とは何か考える					
		事後学習	授業内容を振り返る					
⑥	(2)思考の発達 ①子どもの思考と行動 ②ひとり遊びの意味 ③言葉と思考の関係	事前学習	子どもの思考について考える					
		事後学習	授業内容を振り返る					
⑦	(3)体験の重要性 ①言葉と体験 ②繰り返しの意味	事前学習	様々な環境に関わることの意味について考える					
		事後学習	授業内容を振り返る					
⑧	試験、まとめ	事前学習	これまでの学びをまとめる					
		事後学習	学びの応用のついて考える					
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> * 授業は必ず筆記用具を準備して臨む。 * わからないことは、そのままにせず積極的に質問する。 * 必要に応じて資料配布する。当日欠席した者は必ず取りに来る。 							
成績評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・定期試験 80% ・授業参加状況 受講態度 20% 			教科書	実践例から学びを深める 保育内容・環境 環境指導法 わかば社			
				参考資料	「幼稚園教育要領」(平成29年3月告示 文部科学省) 「保育所保育指針」(平成29年3月告示 厚生労働省) 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」(平成29年3月告示 内閣府・文部科学省・厚生労働省)			

シラバス(授業計画)

部	夜間部 午後コース	学期	半期	授業形態	演習	単位数	1単位	
科目名	こどもと言葉			担当教員	大主 香	幼稚園教諭として 実務経験有		
全体目標	領域「言葉」の指導の基盤となる、幼児が豊かな言葉や表現を身に付け、想像する楽しさを広げるために必要な専門的事項に関する知識を身に付ける。							
一般目標	<ul style="list-style-type: none"> ・人間にとって言葉の意義や機能を理解する。 ・乳幼児の言葉の発達の過程について理解する。 ・言葉に対する感覚を豊かにする保育実践について理解する。 							
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・領域「言葉」のねらい及び内容について、発達の過程を踏まえたうえで説明することができる。 ・豊かな言葉を育む言葉遊び ・児童文化財等の意義や必要性が説明できる。 							
授業 の な が れ	回数	[授 業 内 容]			課外学習			
	① 言葉とは何か	事前学習	シラバスを読む。			事後学習		配付資料を読み返す。
		事後学習						
	② 「領域 言葉」のねらい及び内容	事前学習	領域「言葉」のねらい及び内容を読む。			事後学習		配付資料を読み返す。
		事後学習						
	③ 言葉の発達①乳児期から3歳児の前期ごろまで	事前学習	教育・保育要領の乳児期及び満1歳以上満3歳未満児の基本的事項を読む。			事後学習		配付資料を読み返す。
		事後学習						
	④ 言葉の発達②3歳児後半から就学前まで	事前学習	要領、教育・保育要領の満3歳以上の園児の基本的事項を読む。			事後学習		配付資料を読み返す。
		事後学習						
⑤ 保育の中の言葉(話すことと聞くこと、集団の中で使う言葉)	事前学習	美しい言葉(話し言葉、書き言葉)を見付ける。			事後学習		配付資料を読み返す。	
	事後学習							
⑥ 言葉に対する感覚を豊かにする実践(言葉遊びなど)	事前学習	言葉遊びを見付ける。			事後学習		配付資料を読み返す。	
	事後学習							
⑦ 豊かな言葉を育む児童文化財(絵本・物語・紙芝居など)	事前学習	絵本及び紙芝居を探す。			事後学習		授業で取り上げた絵本・児童書及び紙芝居を読む。	
	事後学習							
⑧ 試験、まとめ	事前学習	総復習			事後学習		試験内容について振り返り	
	事後学習							
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・ 幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説や配付資料を読み、知識を習得し、理解する。 ・ 多くの絵本や言葉を豊かにする遊びに触れ、積極的に授業に参加する。 ・ 事前学習及び事後学習に主体的に取り組む。 							
成績評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・定期試験 70% ・授業参加状況や受講態度 16% ・課題提出 14% 			教科書	「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」			
				参考資料	「幼稚園教育要領」「幼稚園教育要領解説」 「保育所保育指針」「保育所保育指針解説」 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」			

シラバス(授業計画)

部	夜間部 夜間コース	学期	半期	授業形態	演習	単位数	1単位
科目名	こどもと言葉			担当教員	和田 直子	幼稚園教諭として 実務経験有	
全体目標	領域「言葉」の指導の基盤となる、幼児が豊かな言葉や表現を身に付け、想像する楽しさを広げるために必要な専門的事項に関する知識を身に付ける。						
一般目標	<ul style="list-style-type: none"> ・人間にとって言葉の意義や機能を理解する。 ・乳幼児の言葉の発達の過程について理解する。 ・言葉に対する感覚を豊かにする保育実践について理解する。 						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・領域「言葉」のねらい及び内容について、発達の過程を踏まえたうえで説明することができる。 ・豊かな言葉を育む様々な遊びを理解し、いくつかの遊びを習得する。 ・児童文化財等の意義や必要性が説明できる。 						
授 業 の な が れ	回数	[授 業 内 容]			課外学習		
	①	言葉とは何か			事前学習	シラバスを読む。	
					事後学習	配付資料読み返す。	
	②	「領域 言葉」のねらい及び内容			事前学習	領域「言葉」のねらい及び内容を読む。	
					事後学習	配付資料を読み返す。	
	③	言葉の発達①乳児期から3歳児の前期ごろまで			事前学習	教育・保育要領の乳児期及び満1歳以上満3歳未満児の基本的事項を読む。	
					事後学習	配付資料を読み返す。	
	④	言葉の発達②3歳児後半から修学前まで			事前学習	要領、教育・保育要領の満3歳以上の園児の基本的事項を読む。	
					事後学習	配付資料を読み返す。	
⑤	保育の中の言葉(話すことと聞くこと、集団の中で使う言葉)			事前学習	美しい言葉(話し言葉、書き言葉)を見付ける。		
				事後学習	配付資料を読み返す。		
⑥	言葉に対する感覚を豊かにする実践(言葉遊びなど)			事前学習	言葉遊びを見付ける。		
				事後学習	配付資料を読み返す。		
⑦	豊かな言葉を育む児童文化財(絵本・物語・紙芝居など)			事前学習	絵本及び紙芝居を探す。		
				事後学習	授業で取り上げた絵本・児童書及び紙芝居を読む。		
⑧	試験、まとめ			事前学習	総復習		
				事後学習	試験内容について振り返り		
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・ 幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説を読む。 ・ 多くの絵本や言葉を豊かにする遊びに触れ、積極的に授業に参加する。 ・ 事前学習及び事後学習に主体的に取り組む。 						
成績評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・定期試験 70% ・課題提出物等 30% 			教科書	「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」		
				参考資料	「幼稚園教育要領解説」「保育所保育指針解説」		

シラバス(授業計画)

部	夜間部	学期	半期	授業形態	演習		単位数	1単位
科目名	こどもと表現				担当教員	堀田彩乃・浦田一	幼稚園教諭、保育教諭として実務経験有	
全体目標	領域「表現」の指導に関する、幼児の表現の姿やその発達及びそれを促す要因、幼児の感性や創造性を豊かにする様々な表現遊びや環境の構成などの専門的事項についての知識・技能、表現力を身に付ける。							
一般目標	幼児の表現の姿や、その発達を支援する。 身体・造形・音楽表現などの様々な表現の基礎的な知識・技能を学ぶことを通し、幼児の表現を支えるための感性を豊かにする。							
到達目標	幼児の遊びや生活における領域「表現」について理解する。 様々な表現を感じる・みる・聴く・楽しむことを通してイメージを豊かにし、幼児の表現活動に活用する。							
授業のながれ	回数	[授業内容]			課外学習			
	①	幼児期の表現の特性やそれを受け止めることの重要性について(担当:堀田)			事前学習	シラバス確認、領域「表現」について要領を読む		
					事後学習	授業内容を振り返る		
	②	遊びや生活の中の表現、手遊び(担当:堀田) ・他者や環境との関わりについて			事前学習	好きな手遊びができるように準備しておく		
					事後学習	授業内容を振り返る		
	③	表現遊び、模倣遊び、なりきりの表現(担当:堀田) ・イメージを表現したり演じたりして遊ぶ楽しさ			事前学習	イメージや感性を豊かにする		
					事後学習	授業内容を振り返る		
	④	表現「造形」における教材例(担当:堀田) ・幼児の創造性と描画能力の発達について			事前学習	必要な道具を準備しておく		
					事後学習	授業内容を振り返る		
	⑤	遊びと創造性(担当:浦田) ・遊びから生まれる表現とは			事前学習	幼児期に好んでいた「遊び」を整理する		
					事後学習	授業内容を振り返る		
	⑥	ごっこ遊び、模倣遊び(担当:浦田) ・遊びの理論と幼児の表現			事前学習	自分が経験したごっこ遊びについて整理する		
					事後学習	授業内容を振り返る		
	⑦	絵本と表現(担当:堀田) ・発達、経験に合った絵本、イメージの共有について			事前学習	好きな絵本を選び準備しておく		
					事後学習	授業内容を振り返る		
⑧	お話ごっこの制作①(担当:堀田) ・内容、製作物、動きの表現について			事前学習	必要な道具を準備しておく			
				事後学習	授業内容を振り返る			
⑨	お話ごっこの制作②(担当:堀田) ・動き、音、声色などを工夫し、演じたり表現したりする			事前学習	必要な道具を準備しておく			
				事後学習	授業内容を振り返る			
⑩	お話ごっこの制作③(担当:堀田) ・リハーサル			事前学習	必要な道具を準備しておく			
				事後学習	授業内容を振り返る			
⑪	お話ごっこの発表(担当:堀田)			事前学習	必要な道具を準備しておく			
				事後学習	授業内容を振り返る			
⑫	歌唱表現・音探し・楽器の表現(担当:堀田) ・季節、行事、生活の歌、身近な音の表現について			事前学習	生活の中で聴こえる音を意識して聴いておく			
				事後学習	授業内容を振り返る			
⑬	音楽遊び、廃材を使った簡易楽器作り(担当:堀田) ・廃材を使い楽器を製作し、音を自由に表現する			事前学習	必要な道具を準備しておく			
				事後学習	これまでの授業の内容をまとめる			
⑭	幼児の表現活動を考える(担当:堀田) ・主体的な表現を支える援助について、まとめ			事前学習	これまでの授業の内容をまとめる			
				事後学習	これまでに学んだことや課題を確認する			
⑮	試験、まとめ(担当:堀田)			事前学習	これまでに学んだことや課題をまとめる			
				事後学習	領域「表現」について理解し、幼児の表現活動に活用する			
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・筆記用具、ファイルを準備して授業に臨むこと ・授業内容に応じて事前に連絡する準備物を用意すること ・課題や授業内では積極的に自分の意見を述べ、表現豊かに取り組むこと ・領域「表現」について幼児との表現活動をイメージしながら参加すること 							
成績評価の方法	授業参加・取り組み	15%			教科書	幼稚園教育要領(平成29年3月告示 文部科学省)／幼保連携型認定こども園教育・保育要領(平成29年3月告示 内閣府・文部科学省・厚生労働省)／保育所保育指針(平成29年3月告示 厚生労働省)／幼児のうたとあそび(株式会社みらい)		
	グループワーク・発表等	20%						
	課題・提出物	15%			参考資料	幼稚園教育要領解説 幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説 保育所保育指針解説		
	試験	50%						

シラバス(授業計画)

部	夜間部	学期	半期	授業形態	演習	単位数	2単位
科目名	保育指導法総論			担当教員	林 美春		
全体目標	幼稚園教育及び保育所保育等は園生活全体を通して総合的に指導するという考え方を理解し、乳幼児教育・保育の環境を構成し実践するために必要な知識を身につける。特に、具体的な乳幼児の姿と関連づけながら遊びの中でどのような経験をしているのかについて学び、5領域のねらい及び内容とのつながりを確認し、遊びを通して育つことを理解する。						
一般目標	<ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児教育・保育の基本を踏まえた幼稚園・保育所・認定こども園における指導の考え方を理解する。 ・指導計画の考え方を理解し、乳幼児の発達の過程を見通した指導計画を作成する。 ・乳幼児の興味や関心や発達の実情などに応じた具体的な指導の在り方を理解する。 						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児期の教育における見方・考え方や遊びを通しての総合的な指導の意義と保育者の役割を理解し説明できる。 ・具体的な乳幼児の姿を関連づけながら環境を構成し、実践するために必要な知識や技能を身につける。 ・模擬保育を通して、ねらい及び内容に沿って総合的に指導する力をつける。 						
授業のながれ	回数	[授 業 内 容]			課外学習		
	①	オリエンテーション 「保育内容」をどう捉えるか			事前学習	教科書を読んでおく(P1～6)	
					事後学習	授業内容を振り返り整理する	
	②	保育内容の歴史の変遷 「領域」をどう捉えるか			事前学習	教科書を読んでおく(P7～17)	
					事後学習	授業内容を振り返り整理する	
	③	幼稚園・保育所・認定こども園について 現代に求められる保育の基本と保育内容			事前学習	教科書を読んでおく(P18～41)	
					事後学習	授業内容を振り返り整理する	
	④	乳児の遊びと保育環境			事前学習	教科書を読んでおく(P49)	
					事後学習	授業内容を振り返り整理する	
	⑤	3歳未満児の遊びの捉え方と保育環境			事前学習	教科書を読んでおく(P50～51)	
					事後学習	授業内容を振り返り整理する	
	⑥	3歳以上児の遊びの捉え方と保育環境			事前学習	教科書を読んでおく(P51～52)	
					事後学習	授業内容を振り返り整理する	
	⑦	子ども理解に基づく評価について さまざまな配慮を必要とする子どもの保育			事前学習	教科書を読んでおく(P72～83)	
					事後学習	授業内容を振り返り整理する	
⑧	「保育内容」小テスト			事前学習	これまで学んだことを整理する		
				事後学習	授業内容を振り返り整理する		
⑨	保育内容の計画(指導計画の考え方)			事前学習	これまで学んだことを整理する		
				事後学習	授業内容を振り返り整理する		
⑩	保育内容の計画(指導計画の実践)			事前学習	これまで学んだことを整理する		
				事後学習	授業内容を振り返り整理する		
⑪	小学校との接続・連携をふまえた保育 家庭や地域との連携と保育内容			事前学習	教科書を読んでおく(P84～98)		
				事後学習	授業内容を振り返り整理する		
⑫	模擬保育(保育内容の実践)前半			事前学習	模擬保育にむけて準備する		
				事後学習	授業内容を振り返り整理する		
⑬	模擬保育(保育内容の実践)後半			事前学習	模擬保育にむけて準備する		
				事後学習	授業内容を振り返り整理する		
⑭	保育の多様な展開について			事前学習	教科書を読んでおく(P99～113)		
				事後学習	指導計画を立案する		
⑮	試験・まとめ			事前学習	これまで学んだことを振り返る		
				事後学習	自分自身の課題を明確にする		
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・保育者を目指す者としての意識を持ち、意欲的・積極的に授業に臨む。 ・グループワークやグループ活動においては、活発に意見交換し、学び合いの精神を持って取り組む。 ・シラバスの内容は変更することがあります。 						
成績評価の方法	定期試験	50%	教科書	子ども中心の実践に学ぶ 保育内容総論 (建帛社)			
	授業参加状況や受講態度	20%		参考資料	幼稚園教育要領解説 保育所保育指針解説 幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説		
	提出物(授業のプリント内容、課題等)	30%	その他適宜授業で紹介する				

シラバス(授業計画)

部	夜間部	学期	半期	授業形態	演習	単位数	1単位
科目名	健康指導法			担当教員	丹羽 加奈子	保育士として実務経験有	
全体目標	領域「健康」に示されたねらい及び内容について、関連する専門領域と含め理解し、幼児の発達に即して、主体的・対話的に学び、実際の保育場面を想定し、保育を構想する方法を身につける。						
一般目標	<ul style="list-style-type: none"> ・領域「健康」のねらいと内容を理解する。 ・幼児の発達や学びの過程を理解し、領域「健康」に関わる具体的な指導場面を想定した保育方法を身につける。 						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・領域「健康」のねらい及び内容、並びに全体構造を理解している。 ・領域「健康」に示されたねらい及び内容を踏まえ、幼児が経験し身につけていく内容と指導上の留意点を理解している。 ・様々な計画があることを知り、領域「健康」をふまえた上で、より子どもにふさわしい計画を考えられるようになる。 						
授 業 の な が れ	回数	[授 業 内 容]			課外学習		
	①	領域「健康」とは 保育における子どもの健康・発達 保育内容の領域「健康」			事前学習	幼稚園教育要領「健康」の所を読んでおく	
					事後学習	授業内容を振り返る	
	②	領域「健康」の展開 乳児保育における3つの視点と展開 領域「健康」の展開			事前学習	保育所保育指針を読んでおく	
					事後学習	授業内容を振り返る	
	③	保育の過程 保育の計画 指導計画の作成 保育の実践			事前学習	教科書P44～51を読んでおく	
					事後学習	授業内容を振り返る	
	④	大人とのかかわりの実践 アタッチメントの形成の重要性 乳児の成長に寄り添うかかわり			事前学習	教科書P54～60を読んでおく	
					事後学習	授業内容を振り返る	
	⑤	身体とのかかわりの実践 安心・安全な生活の中で形成される生活リズム			事前学習	教科書P62～68を読んでおく	
					事後学習	授業内容を振り返る	
	⑥	基本的な生活習慣を身につける実践 子ども自らが気づけるような保育者のかかわり			事前学習	教科書P70～77を読んでおく	
					事後学習	授業内容を振り返る	
	⑦	さまざまな遊びの実践 グループワーク 子どもの運動遊びの重要性			事前学習	教科書P80～95を読んでおく	
					事後学習	授業内容を振り返る	
	⑧	さまざまな遊びの計画 グループワーク 子ども達にふさわしい遊びを計画する			事前学習	計画の内容を考えておく	
				事後学習	授業内容を振り返る		
⑨	環境とかかわりながら遊ぶとは 環境とかかわって遊ぶことの重要性			事前学習	教科書P98～109を読んでおく		
				事後学習	授業内容を振り返る		
⑩	食べることを楽しむかかわり 食育基本法と食育ピストグラム 食育における保育者のかかわり			事前学習	教科書P112～116を読んでおく		
				事後学習	授業内容を振り返る		
⑪	健康や安全教育 子ども自身が健康の大切さに気づく			事前学習	教科書P120～125を読んでおく		
				事後学習	授業内容を振り返る		
⑫	遊びを通した総合的な指導の展開 主体的・対話的で深い学びにつながる活動実践			事前学習	教科書P130～139を読んでおく		
				事後学習	授業内容を振り返る		
⑬	小学校との連携・接続 接続カリキュラムとその実践			事前学習	教科書P140～144を読んでおく		
				事後学習	授業内容を振り返る		
⑭	領域「健康」にかかわる現代的課題 現代の子どもの生きる社会の実態			事前学習	教科書P146～154を読んでおく		
				事後学習	授業内容を振り返る		
⑮	試験・まとめ これまでの振り返りをする			事前学習	学んだことを復習する		
				事後学習	授業内容が実践につながるように復習する		
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・授業には必ず筆記用具を準備し積極的に取り組み、分からないことはそのままにせず質問すること ・子どもや幼児教育に関心を持って、保育者を目指すものとして自覚をもって学ぶこと ・日頃から「幼稚園教育要領」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」を見る習慣にすること ・必要に応じて資料配布する。当日欠席した場合は、必ず取りに来ること 						
成績評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・定期試験 60% ・授業参加状況・課題 40% (授業での取り組み・グループワーク・レポート作成 等)			教科書	実践例から学びを深める保育内容・領域 健康指導法 わかば社 「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」		
	以上を総合的に評価する			参考資料	保育内容 健康 榎沢良彦・入江礼子 編著 建帛社 領域 健康 無藤隆 監修 萌文書林		

シラバス(授業計画)

部	夜間部 午後コース	学期	半期	授業形態	演習	単位数	1単位
科目名	人間関係指導法			担当教員	森 里美	保育士として 実務経験有	
全体目標	教育要領、保育指針、教育・保育要領に示された領域「人間関係」のねらい及び内容について、乳幼児の姿と保育実践を関連させて理解を深める。その上で乳幼児の発達にふさわしい保育を学び、具体的な実践の方法を身につける。						
一般目標	<ul style="list-style-type: none"> ・領域「人間関係」のねらい及び内容を理解している。 ・乳幼児の自立心を育て、人と関わる力を養うために必要な指導上の留意点を理解している。 ・発達理解を深め、必要な援助と留意点を理解している。 						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・領域「人間関係」を広い視野から学ぶことにより、現代課題や保育実践の動向を知り、保育の改善、内容の向上に取り込むことができる。 ・領域「人間関係」のねらい・内容を理解し、具体的な保育方法を考え、指導計画を立案や実践方法を身につける。 						
授 業 の な が れ	回数	[授 業 内 容]			課外学習		
	①	オリエンテーション 領域「人間関係」が目指す子どもの育ち・保育者の視点			事前学習	教科書の該当箇所を予習する	
					事後学習	授業の振り返りをする	
	②	子どもの生活の中で育まれる人間関係 生活体験 生活環境の工夫			事前学習	教科書の該当箇所を予習する	
					事後学習	授業の振り返りをする	
	③	子どもの遊びの中で育まれる人間関係 遊び体験 遊び環境の工夫			事前学習	教科書の該当箇所を予習する	
					事後学習	授業の振り返りをする	
	④	保育の展開と指導計画			事前学習	教科書の該当箇所を予習する	
					事後学習	授業の振り返りをする	
	⑤	指導計画作成の留意点			事前学習	教科書の該当箇所を予習する	
					事後学習	授業の振り返りをする	
	⑥	指導計画作成の検討と実践 グループ編成			事前学習	教科書の該当箇所を予習する	
					事後学習	授業の振り返りをする	
	⑦	幼児クラスでの保育の展開・体験 グループワーク①幼稚園生活の理解			事前学習	教科書の該当箇所を予習する	
					事後学習	授業の振り返りをする	
⑧	幼児クラスでの保育の展開・体験 グループワーク②保育教材の準備と実際			事前学習	教科書の該当箇所を予習する		
				事後学習	授業の振り返りをする		
⑨	幼児クラスでの保育の展開・体験 グループワーク③発達段階の理解			事前学習	個性的な子どもについて調べる		
				事後学習	授業の振り返りをする		
⑩	幼児クラスでの保育の展開・体験 グループワーク④子どもと保育者の人間関係			事前学習	教科書の該当箇所を予習する		
				事後学習	授業の振り返りをする		
⑪	保育体験の振り返りと共有			事前学習	自分の身近な保護者関係を調べる		
				事後学習	授業の振り返りをする		
⑫	多様な配慮と保育構想			事前学習	自分の身近な保育者関係を調べる		
				事後学習	授業の振り返りをする		
⑬	小学校生活への接続と地域の連携			事前学習	教科書の該当箇所を予習する		
				事後学習	授業の振り返りをする		
⑭	0～5歳児の発達の特徴と関わり方について(まとめ)			事前学習	教科書の該当箇所を予習する		
				事後学習	授業の振り返りをする		
⑮	試験・まとめ			事前学習	授業内容全体の理解を深めておく		
				事後学習	講評の内容を把握する		
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・日々の授業や生活の中で、子どもの姿をイメージし、実際の場面で生かすことができるように取り組む。 ・授業には、意欲的に臨み、提出物は丁寧に記述し、期限を守る。 						
成績評価の方法	定期試験 60%			教科書	・「ワークで学ぶ 保育内容 人間関係」(株)みらい		
	提出物や受講態度 40%				参考資料	<ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領及び各解説書 ・必要に応じて適宜配布する。 	

シラバス(授業計画)

部	夜間部 夜間コース	学期	半期	授業形態	演習	単位数	1単位
科目名	人間関係指導法			担当教員	瀬木 ゆかり	幼稚園教諭・保育士として実務経験有	
全体目標	教育要領、保育指針、教育・保育要領に示された領域「人間関係」のねらい及び内容について、乳幼児の姿と保育実践を関連させて理解を深める。その上で乳幼児の発達にふさわしい保育を学び、具体的な実践の方法を身につける。						
一般目標	<ul style="list-style-type: none"> ・領域「人間関係」のねらい及び内容を理解している。 ・乳幼児の自立心を育て、人と関わる力を養うために必要な指導上の留意点を理解している。 ・発達理解を深め、必要な援助と留意点を理解している。 						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・領域「人間関係」を広い視野から学ぶことにより、現代課題や保育実践の動向を知り、保育の改善、内容の向上に取り込むことができる。 ・領域「人間関係」の特性及び幼児の体験との関連を考慮した情報機器及び教材の活用法を理解し、保育構想に活用できるようになる。 						
授 業 の な が れ	回数	[授 業 内 容]			課外学習		
	①	オリエンテーション 領域「人間関係」の構造			事前学習	教科書の該当箇所を予習する	
					事後学習	授業の振り返りをする	
	②	保育者の視点 領域「人間関係」が目指す子どもの育ち			事前学習	教科書の該当箇所を予習する	
					事後学習	授業の振り返りをする	
	③	領域「人間関係」の保育実践 人と関わる力			事前学習	教科書の該当箇所を予習する	
					事後学習	授業の振り返りをする	
	④	子どもの生活の中で育まれる人間関係 生活体験 生活環境の工夫			事前学習	教科書の該当箇所を予習する	
					事後学習	授業の振り返りをする	
	⑤	子どもの遊びの中で育まれる人間関係 遊び体験 遊び環境の工夫			事前学習	教科書の該当箇所を予習する	
					事後学習	授業の振り返りをする	
	⑥	保育の展開と指導計画 保育の構想を考える			事前学習	教科書の該当箇所を予習する	
					事後学習	授業の振り返りをする	
	⑦	指導計画作成の留意点 実践内容を計画作成に生かす			事前学習	教科書の該当箇所を予習する	
					事後学習	授業の振り返りをする	
⑧	指導計画作成の検討と実践 人間関係を育む保育の立案			事前学習	教科書の該当箇所を予習する		
				事後学習	授業の振り返りをする		
⑨	指導計画作成の検討と実践 立案に必要な保育理論			事前学習	個性的な子どもについて調べる		
				事後学習	授業の振り返りをする		
⑩	指導計画作成の検討と実践 実践と検討			事前学習	教科書の該当箇所を予習する		
				事後学習	授業の振り返りをする		
⑪	指導計画作成の検討と実践 保育実践の評価			事前学習	自分の身近な保護者関係を調べる		
				事後学習	授業の振り返りをする		
⑫	多様な配慮と保育構想 個別の配慮			事前学習	自分の身近な保育者関係を調べる		
				事後学習	授業の振り返りをする		
⑬	小学校生活への接続と地域の連携 幼児期の終わりの姿 多様な交流			事前学習	教科書の該当箇所を予習する		
				事後学習	授業の振り返りをする		
⑭	保育者が紡ぐ人間関係 保育の質の向上を目指して			事前学習	教科書の該当箇所を予習する		
				事後学習	授業の振り返りをする		
⑮	試験・まとめ			事前学習	授業内容全体の理解を深めておく		
				事後学習	講評の内容を把握する		
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・日々の授業や生活の中で、子どもの姿をイメージし、実際の場面で生かすことができるように取り組む。 ・授業には、意欲的に臨み、提出物は丁寧に記述し、期限を守る。 						
成績評価の方法	定期試験 50% 提出物・受講態度 50%			教科書	・「ワークで学ぶ 保育内容 人間関係」(株)みらい		
				参考資料	<ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領及び各解説書 ・必要に応じて適宜配布する。 		

シラバス(授業計画)

部	夜間部 午後コース	学期	半期	授業形態	演習	単位数	1単位
科目名	環境指導法			担当教員	森 里美	保育士として 実務経験有	
全体目標	領域「環境」と「環境を通して行う教育」の関係について学び、自然を生かした保育や人的環境、物的環境などから保育を実践する方法を学ぶ。						
一般目標	子どもが周囲の様々な環境に好奇心や探究心を持って関わり、それらを生活に取り入れていこうとする力をどのように育てていくかを学ぶ。						
到達目標	領域「環境」に関する指導法を知る。 領域「環境」のねらい・内容を理解し、具体的な保育方法を考え、指導計画などの考え方を身につける。						
授 業 の な が れ	回数	[授 業 内 容]			課外学習		
	①	領域「環境」のねらい・内容について(復習)			事前学習	教科書の該当箇所を予習する	
					事後学習	授業の内容を振り返る	
	②	植物にかかわる保育			事前学習	教科書の該当箇所を予習する	
					事後学習	授業の内容を振り返る	
	③	身近な素材にかかわる保育			事前学習	教科書の該当箇所を予習する	
					事後学習	授業の内容を振り返る	
	④	道具・用具の操作、安全指導			事前学習	教科書の該当箇所を予習する	
					事後学習	授業の内容を振り返る	
	⑤	遊び体験と遊び環境の工夫			事前学習	教科書の該当箇所を予習する	
					事後学習	授業の内容を振り返る	
	⑥	保育の展開と指導計画			事前学習	教科書の該当箇所を予習する	
					事後学習	授業の内容を振り返る	
	⑦	指導計画の作成と留意点			事前学習	教科書の該当箇所を予習する	
					事後学習	授業の内容を振り返る	
	⑧	指導計画作成の検討と実践			事前学習	教科書の該当箇所を予習する	
				事後学習	授業の内容を振り返る		
⑨	保育の展開(グループワーク)			事前学習	教科書の該当箇所を予習する		
				事後学習	授業の内容を振り返る		
⑩	保育の実践の振り返り、評価			事前学習	教科書の該当箇所を予習する		
				事後学習	授業の内容を振り返る		
⑪	数量・図形・文字にかかわる保育			事前学習	教科書の該当箇所を予習する		
				事後学習	授業の内容を振り返る		
⑫	行事とのかかわり・伝統文化			事前学習	教科書の該当箇所を予習する		
				事後学習	授業の内容を振り返る		
⑬	社会・地域施設にかかわる保育、幼保小の連携・接続			事前学習	教科書の該当箇所を予習する		
				事後学習	授業の内容を振り返る		
⑭	子どもの安全保育			事前学習	教科書の該当箇所を予習する		
				事後学習	授業の内容を振り返る		
⑮	試験・まとめ			事前学習	これまでの学びを振り返る		
				事後学習	子どもを取り巻く環境と課題について考える		
学習上の留意点	授業を欠席した場合には、配布した資料を取りに来るようにする。 授業内容のまとめを作成し、振り返りをするようにする。 日頃から、子どもの姿を思い浮かべどのように環境に働きかけるかを考えていく。						
成績評価の方法	試験 60%			教科書	事例と演習でよくわかる保育内容「環境」 駒井美智子・横山文樹 編著		
	授業態度(発表・受講姿勢)20%				参考資料	「幼稚園教育要領」(平成29年3月告示 文部科学省) 「保育所保育指針」(平成29年3月告示 厚生労働省) 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」 (平成29年3月告示 内閣府文部科学省・厚生労働省) ・必要に応じて適宜配布する	
課題提出 20%							

シラバス(授業計画)

部	夜間部 夜間コース	学期	半期	授業形態	演習	単位数	1単位
科目名	環境指導法			担当教員	河村 哲昌	保育士として 実務経験有	
全体目標	領域「環境」に示されたねらい及び内容について、関連する専門領域と含め理解し、幼児の発達に即して、主体的・対話的で深い学びが実現する過程を踏まえて、保育を構想する方法を身につける。						
一般目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 幼稚園教育要領等に示された幼稚園教育の基本を踏まえ、領域「環境」のねらい及び内容を理解する。 ・ 幼児の発達や学びの過程を理解し、領域「環境」に関わる具体的な指導場面を想定した保育を構成する方法を身につける。 						
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 幼児期の教育の特性について説明することができる。 2. 領域「環境」の特性に応じた保育実践の動向を知り、保育構想の向上に取り組むことができる。 3. 領域「環境」の視点から、現代社会における子どもの育ちに関する課題を説明することができる。 						
授 業 の な が れ	回数	[授 業 内 容]			課外学習		
	①	1. 領域「環境」のねらいと内容【おさらい】	事前学習	教科書P12～23を熟読し、環境の「ねらいと内容」について考える	事後学習	授業内容を振り返る	
	②	2. 子どもの育ちに関わる現代の社会環境とその課題 (1) 少子化と早期教育への理解	事前学習	少子化の現状を調べておく	事後学習	授業内容を振り返る	
	③	(2) 少子化と早期教育への理解 (映像視聴・レポート)	事前学習	早期教育とは何かを調べておく	事後学習	授業内容を振り返る	
	④	3. 保育の展開と指導方法 (1) ものとのかかわり	事前学習	教科書P48～58を熟読し、「ものとのかかわり」について考える	事後学習	授業内容を振り返る	
	⑤	(2) 自然とのかかわり	事前学習	教科書P60～80を熟読し、「自然とのかかわり」について考える	事後学習	授業内容を振り返る	
	⑥	演習「自然物を利用した製作遊び」	事前学習	教科書P60～80を熟読し、「自然とのかかわり」について考える	事後学習	授業内容を振り返る	
	⑦	(3) 数量・図形とのかかわり (4) 標識・文字とのかかわり	事前学習	教科書P82～102を熟読し、「数量・図形とのかかわり」「標識・文字とのかかわり」について考える	事後学習	授業内容を振り返る	
	⑧	(5) 伝統行事・季節の行事とのかかわり ① 一年を通した行事の理解	事前学習	教科書P122～132を熟読し、「行事とのかかわり」について考える	事後学習	授業内容を振り返る	
	⑨	② 行事レポート作成	事前学習	教科書P122～132を熟読し、「行事とのかかわり」について考える	事後学習	授業内容を振り返る	
	⑩	4. 環境設定の体験	事前学習	環境設定の大切さについて調べておく	事後学習	授業内容を振り返る	
	⑪	5. 環境からの学ぶ子どもの姿(映像視聴・グループワーク) (1) 子どもの姿からの読み取り	事前学習	子どもを知るための方法について考える	事後学習	授業内容を振り返る	
	⑫	(2) 保育者の援助について (3) 繋がる保育をするために	事前学習	保育者のするべき対応や次への展開について考える	事後学習	授業内容を振り返る	
	⑬	6. 伝承遊びの体験(お正月あそび)	事前学習	伝承遊びについて調べておく	事後学習	授業内容を振り返る	
	⑭	7. 保育の過程	事前学習	教科書P38～46を熟読し、「保育の過程」について考える	事後学習	授業内容を振り返る	
⑮	試験、まとめ	事前学習	これまでの学びをまとめる	事後学習	学びの応用のついて考える		
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> * 授業は必ず筆記用具を準備して臨む。 * わからないことは、そのままにせず積極的に質問する。 * 必要に応じて資料配布する。当日欠席した者は必ず取りに来る。 						
成績評価の方法	定期試験	50%	教科書 参考資料	実践例から学びを深める 保育内容・環境 環境指導法 わかば社			
	提出物	30%		「幼稚園教育要領」(平成29年3月告示 文部科学省) 「保育所保育指針」(平成29年3月告示 厚生労働省) 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」(平成29年3月告示 内閣府・文部科学省・厚生労働省)			
	授業参加状況	受講態度	20%				

シラバス(授業計画)

部	夜間部	学期	半期	授業形態	演習	単位数	1単位
科目名	言葉指導法			担当教員	荒木 弘子		
全体目標	乳幼児の言葉の発達について理解できるようになる。また、領域「言葉」とその他の領域との関係を理解した上で、ケーススタディを通して指導方法を工夫できるようになる。さらに、乳幼児期に用いる児童文化財(絵本や紙芝居等)の意義について理解し、教材を保育の場で効果的に活用できるようになる。						
一般目標	<ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児の言葉の発達過程を理解し、領域「言葉」に関する指導についての基盤を養う。 ・言葉に対する総合的理解を深める。 						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・保育に関する領域「言葉」の意義・ねらい・内容を理解する。 ・乳幼児の生活を豊かにするための児童文化財の活用及び作成の技術を習得する。 ・乳幼児の発達や学びの過程を理解し、具体的な保育を想定した指導案を作成することができる。 						
授 業 の な が れ	回数	[授業内容]			課外学習		
	①	オリエンテーション 領域の考え方と言葉の育ち			事前学習	シラバスの概要を読む。	
					事後学習	授業内容の振り返りをする。	
	②	領域「言葉」 領域「言葉」のねらいと内容			事前学習	教科書pp.152-157を読む。	
					事後学習	授業内容の振り返りをする。	
	③	子どもの発達と言葉 乳児の発達と言葉			事前学習	教科書pp.160-169を読む。	
					事後学習	授業内容の振り返りをする。	
	④	子どもの発達と言葉 幼児の発達と言葉			事前学習	教科書pp.169-179を読む。	
					事後学習	授業内容の振り返りをする。	
	⑤	前言語期のコミュニケーションと保育 言語獲得前のコミュニケーション			事前学習	教科書pp.182-191を読む。	
					事後学習	授業内容の振り返りをする。	
	⑥	前言語期のコミュニケーションと保育 コミュニケーションを育むための働きかけ			事前学習	教科書pp.191-199を読む。	
					事後学習	授業内容の振り返りをする。	
	⑦	話し言葉の機能と発達 「話す」ということ			事前学習	教科書pp.202-211を読む。	
					事後学習	授業内容の振り返りをする。	
⑧	話し言葉の機能と発達 園生活で話す力を育てる			事前学習	教科書pp.211-216を読む。		
				事後学習	授業内容の振り返りをする。		
⑨	書き言葉の発達と保育 文字の読み書きと保育			事前学習	教科書pp.220-227を読む。		
				事後学習	授業内容の振り返りをする。		
⑩	書き言葉の発達と保育 文字の読み書きを支援する方法			事前学習	教科書pp.228-234を読む。		
				事後学習	授業内容の振り返りをする。		
⑪	言葉に関する諸問題 言葉に関する課題/小テスト⑤			事前学習	教科書pp.238-246を読む。		
				事後学習	授業内容の振り返りをする。		
⑫	言葉に関する諸問題 母語が日本語ではない子ども			事前学習	教科書pp.246-253を読む。		
				事後学習	授業内容の振り返りをする。		
⑬	言葉の発達と児童文化財・言葉遊び 児童文化財の概要と意味			事前学習	課題の絵本ノートを振り返る。		
				事後学習	授業内容の振り返りをする。		
⑭	言葉の発達と児童文化財・言葉遊び 児童文化財と言葉の発達			事前学習	絵本の読み聞かせの復習をする。		
				事後学習	授業内容の振り返りをする。		
⑮	試験・まとめ			事前学習	教科書および配布資料を見直す。		
				事後学習	学修内容を整理し保育の場で活用できるよう見直しておく。		
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・毎回授業の中で手遊びや絵本の読み聞かせを行う。今後の保育や実習に生かせるよう、手遊びは復習し、絵本も授業で紹介するブックリストを参考に積極的に読むこと。 ・グループでの話し合いには積極的に参加し他者の意見を参考に自分の保育の振り返りができるよう取り組むこと。 						
成績評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・授業参加状況や受講態度 20% ・小テスト(全5回) 25% ・提出物(絵本ノート) 15% ・定期試験 40% 以上を総合的に評価する。			教科書	馬見塚昭久・小倉直子『保育学生のための「幼児と言葉」「言葉指導法」』 ミネルヴァ書房 2022		
				参考資料	『保育所保育指針解説』 フレーベル館 2019 『幼保連携型認定こども園教育・保育要領』 フレーベル館 2019 『保育内容・言葉』 太田光洋編 同文書院 2018		

シラバス(授業計画)

部	夜間部	学期	半期	授業形態	演習	単位数	1単位
科目名	表現(音楽)指導法			担当教員	藤田 桂子		
全体目標	領域「表現」のねらい及び内容を、乳幼児の育ちと関連付けて具体的に理解する。様々な音楽表現について学習し、保育における実践能力を養う。						
一般目標	子どもの育ちと音楽との関わりについて理解し、年齢や発達に沿った音楽表現の素材を選択する。幼児の表現の芽生えを受け止めて、幼児が生活の中で幼児らしい様々な表現を楽しむことができるようになるための、伸びやかで創造的な音楽表現の援助をおこなうことができる。						
到達目標	自然の中のさまざまな音や季節の移り変わりなどを感じ、表現活動につなげる。様々な音楽教育について知り、指導案を作成して模擬保育をおこなう。総合的な音楽表現指導の一例として「オペレッタ」を制作する。						
授業のながれ	回数	[授 業 内 容]			課外学習		
	①	領域「表現」のねらいと内容について乳幼児の育ちと関連付けて理解する。乳児の音楽的表現活動について理解を深める。			事前学習 事後学習	教科書の該当部分を読み込む 学習ポートフォリオによる振り返り	
	②	乳幼児の具体的な姿を事例と映像から理解し、その表現活動について考える。ユニバーサルデザインの音楽表現の実践を学習する。			事前学習 事後学習	教科書の該当部分を読み込む 学習ポートフォリオによる振り返り	
	③	幼児の音楽的表現活動における心情や認識、思考について学び、幼児の表現に対する援助、指導の方法とその留意点を学習する。			事前学習 事後学習	教科書の該当部分を読み込む 学習ポートフォリオによる振り返り	
	④	「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」と小学校教育への関連性について考える。インクルーシブな保育を反映した実践を学習する。			事前学習 事後学習	教科書の該当部分を読み込む 学習ポートフォリオによる振り返り	
	⑤	世界の音楽教育とリズムの力について学び、その中からリミックスを取り上げて理論を理解する。			事前学習 事後学習	教科書の該当部分を読み込む 教材研究	
	⑥	リミックスのねらいと内容について理解し、実践の力を養う。			事前学習 事後学習	教科書の該当部分を読み込む 学習ポートフォリオによる振り返り	
	⑦	「オペレッタの制作1」オペレッタとは何か、保育における実践方法について学習する。			事前学習 事後学習	オペレッタについての調べ学習 個人練習	
	⑧	「オペレッタの制作2」グループ分け、譜読み、道具製作準備			事前学習 事後学習	個人練習	
	⑨	「オペレッタの制作3」グループワーク 譜読み、道具製作開始			事前学習 事後学習	個人練習	
	⑩	「オペレッタの制作4」グループワーク 暗譜稽古、道具製作			事前学習 事後学習	個人練習	
	⑪	「オペレッタの制作5」グループワーク 通し稽古、直し、道具製作終了。			事前学習 事後学習	個人練習	
	⑫	「オペレッタの制作6」グループワーク リハーサルを行い、振り返りをして直す。			事前学習 事後学習	個人練習 発表準備	
	⑬	「オペレッタの制作7」発表 グループごとに発表し、振り返りをおこなう。			事前学習 事後学習	発表準備 学習ポートフォリオによる振り返り	
	⑭	年間の指導案の枠組みを理解したうえで、細案(音楽)の作成方法を学習し、教材研究をおこなう。			事前学習 事後学習	教材研究	
⑮	教材研究を生かし、音楽の細案を作成する。作成した指導案に基づきグループワークによる模擬保育をおこなう。 授業のまとめ			事前学習 事後学習	細案の完成 学習ポートフォリオによる振り返り		
学習上の留意点	グループ活動を多くおこなうため、他の学生に迷惑になることを考え、授業を欠席しないこと。授業に必要な楽譜等の資料準備等は、授業時間外でおこなうこと。						
成績評価の方法	受講態度30% グループワークにおける貢献度20% 提出物20% 発表30% 以上の総合評価とする			教科書	幼稚園教育要領(最新版)、保育所保育指針(最新版)、幼保連携型認定こども園教育・保育要領(最新版) 一人一人を大切にユニバーサルデザインの音楽表現/萌文書林 幼児のうたとあそび/ふくろう出版		
				参考資料	「幼稚園教育要領解説」 「保育所保育指針解説」 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」		

シラバス(授業計画)

部	夜間部 午後コース	学期	半期	授業形態	演習	単位数	1単位
科目名	表現(造形)指導法			担当教員	永井 弘人	特別支援学校教諭(美術)として実務経験有	
全体目標	「感じたことや考えたことを自分なりに表現することを通して、豊かな感性や表現する力を養い、創造性を豊かにすることを旨とする「表現」について、その内容と背景となる専門領域と関連させた理解を深める。 また、幼児の発達に即して主体的・対話的で深い学びが実現する過程を踏まえた指導場面を想定した知識・技能・表現力を身に付ける。						
一般目標	幼稚園教育要領等に示された幼児教育の基本を踏まえ、領域「表現」のねらい及び内容を理解する。 幼児の発達や学びの過程を理解し、領域「表現」に関わる具体的な指導場面を想定した保育を構想し、幼児の表現を支えるための感性を豊かにする。						
到達目標	幼稚園教育要領等における幼児教育の基本、領域「表現」のねらい及び内容並びに全体構造を理解している。 指導案の構造を理解し、具体的な保育を想定した指導案を作成することができる。 様々な表現を感じる・みる・聴く・楽しむことを通してイメージを豊かにすることができる。						
授 業 の な が れ	回数	〔 授 業 内 容 〕			課外学習		
	①	幼稚園教育要領等に示された領域「表現」のねらい及び内容の理解と具体的指導の理解について 変遷と改定趣旨(絵画制作から表現へ)			事前学習	シラバスを確認し、幼稚園教育要領等に示された領域「表現」のねらい及び内容を読む。	
					事後学習	重要事項について復習し理解を深める。	
	②	紙で作るおもちゃ(厚紙)① 制作と指導における安全配慮と評価			事前学習	基礎的な知識を確認し、まとめる。	
					事後学習	重要事項について復習し理解を深める。	
	③	紙で作るおもちゃ(紙パック他)② 制作と指導における安全配慮と評価			事前学習	作品のアイデアをまとめる。	
					事後学習	重要事項について復習し理解を深める。	
	④	様々な描画技法の演習 モダンテクニック①(マーブリング他)			事前学習	作品のアイデアをまとめる。	
					事後学習	製作について復習し理解を深める。	
	⑤	様々な描画技法の演習 モダンテクニック②(こすりだし他)			事前学習	作品のアイデアをスケッチする。	
					事後学習	製作について復習し理解を深める。	
	⑥	表現と発達段階 「頭足人」に見られる発達と表現の関係			事前学習	表現材料に関するテキストを読んでおく	
					事後学習	重要事項について復習し理解を深める。	
	⑦	表現材料(描画以外の表現) 表現と幼児の主体的な活動を促す言葉かけ			事前学習	教材活用のアイデアをまとめる。	
					事後学習	作品に対する感想や評価の言葉を考える。	
⑧	コラージュ等の技法修得と制作指導について 表現と幼児の主体的な活動を促す言葉かけ			事前学習	コラージュ等のアイデアをまとめる。		
				事後学習	作品に対する感想や評価の言葉を考える。		
⑨	半立体の製作と指導について 表現と幼児の主体的な活動を促す言葉かけ			事前学習	半立体作品のアイデアをまとめる。		
				事後学習	作品に対する感想や評価の言葉を考える。		
⑩	幼児の鑑賞(日本の絵画・彫刻) 幼児の興味関心を促す言葉かけ			事前学習	鑑賞教材のアイデアをまとめる。		
				事後学習	作品に対する感想や評価の言葉を考える。		
⑪	幼児の鑑賞(西洋の絵画・彫刻) 表現と幼児の興味関心を促す言葉かけ			事前学習	鑑賞教材のアイデアをまとめる		
				事後学習	作品に対する感想や評価の言葉を考える。		
⑫	模擬保育の構想と指導案の立て方や評価について 切り絵における指導案例			事前学習	指導案に関するテキストを読んでおく。		
				事後学習	模擬保育に関する指導案(略案)をたてる。		
⑬	造形に関する模擬保育(共同制作)Ⅰ実践と振り返り 季節(夏)を感じる題材による指導計画の立案と実践			事前学習	造形模擬保育の指導案の立案をする。		
				事後学習	課題と成果をまとめる。		
⑭	造形に関する模擬保育(壁面制作)Ⅱ実践と振り返り 季節(冬)を感じる題材による指導計画の立案と実践			事前学習	造形指導案の立案する。		
				事後学習	課題と成果をまとめる。		
⑮	試験・講評 領域「表現」に関するまとめ			事前学習	今までに学んだことや課題等をまとめておく。		
				事後学習	知識や技能の整理と確認する。		
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・表現(造形)に関する知識に基づく指導場面を意識しその理論的背景の認識を深める。 ・事前準備を入念に行った上で、積極的に事例検討やグループ討議を行なう。 ・課題や授業内で自分の考えを述べられるようにする。 ・制作に関する作品は、授業時間内に提出できるようにする。 						
成績評価の方法	授業参加状況や受講態度	20%		教科書	幼稚園教育要領(平成29年3月告示 文部科学省) 幼保連携型認定こども園教育・保育要領(平成29年3月告示 内閣府・文部科学省・厚生労働省) 保育所保育指針(平成29年3月告示 厚生労働省)		
	提出課題(制作物を含む)	40%			参考資料	「保育をひらく造形表現」 横 英子 「幼児造形の研究」 辻 泰秀 「幼稚園教育要領解説」「保育所保育指針解説」 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」	
	試験	40%					

シラバス(授業計画)

部	夜間部 夜間コース	学期	半期	授業形態	演習		単位数	1単位
科目名	表現(造形)指導法			担当教員	桑原 恒和		教諭(美術) として実務経験有	
全体目標	「表現」とは、「感じたことや考えたことを自分なりに表現することを通して、豊かな感性や表現する力を養い、創造性を豊かにする」ことを目指すものであり、受講する学生は幼児教育において育みたい資質や能力を理解し、幼稚園教育要領に示された領域「表現」の狙いと内容についてを、他の専門領域と関連させつつ理解を深め、幼児の発達に応じて主体的・対話的に深い学びを実現する指導方法を身につける。							
一般目標	幼児の発達や学びの過程を理解した上に、領域「表現(造形)」に関わる具体的な指導場面を想定した各技法を身につける。							
到達目標	幼児の発達の過程やそれに伴い成長していく絵や造形についての理解を深め、領域「表現」の特性に沿った、様々な保育場面を想定した指導上の留意点を理解する。							
授 業 の な が れ	回数	[授 業 内 容]			課外学習			
	① オリエンテーション				事前学習	シラバスの確認、クレヨン、水彩絵の具の用意		
					事後学習	技法、テーマについての留意点をノートにまとめる。		
	② はじき絵1回目(海の中の絵)				事前学習	シラバスの確認、クレヨン、水彩絵の具の用意		
					事後学習	技法、テーマについての留意点をノートにまとめる。		
	③ はじき絵2回目(地面の中の絵)				事前学習	シラバスの確認、クレヨン、水彩絵の具の用意		
					事後学習	技法、テーマについての留意点をノートにまとめる。		
	④ はじき絵3回目(空の中の絵)				事前学習	シラバスの確認、水彩絵の具の用意		
					事後学習	技法、テーマについての留意点をノートにまとめる。		
	⑤ 指絵1回目(動物の絵)				事前学習	シラバスの確認、水彩絵の具の用意		
					事後学習	技法、テーマについての留意点をノートにまとめる。		
	⑥ 指絵2回目(野菜の絵)				事前学習	シラバスの確認、水彩絵の具の用意		
					事後学習	技法、テーマについての留意点をノートにまとめる。		
	⑦ 指絵3回目(魚の絵)				事前学習	シラバスの確認、水彩絵の具の用意		
					事後学習	技法、テーマについての留意点をノートにまとめる。		
⑧ ストローを使った吹き絵(花、花火など)				事前学習	シラバスの確認、水彩絵の具の用意			
				事後学習	技法、テーマについての留意点をノートにまとめる。			
⑨ ローラー遊びとスタンピング				事前学習	シラバスの確認、水彩絵の具の用意			
				事後学習	技法、テーマについての留意点をノートにまとめる。			
⑩ スパッタリング(飛び散らし技法)				事前学習	シラバスの確認、モチーフ、水彩絵の具の用意			
				事後学習	技法、テーマについての留意点をノートにまとめる。			
⑪ ビー玉を転がして描く				事前学習	シラバスの確認、水彩絵の具の用意			
				事後学習	技法、テーマについての留意点をノートにまとめる。			
⑫ 季節の行事を題材にした作品				事前学習	シラバスの確認、テーマについての構想をまとめる			
				事後学習	技法、テーマについての留意点をノートにまとめる。			
⑬ デカルコマニー(合わせ絵)				事前学習	シラバスの確認、水彩絵の具の用意			
				事後学習	技法、テーマについての留意点をノートにまとめる。			
⑭ 今期で学んだ技法を用いて「こんな夢をみた」制作				事前学習	シラバスの確認、テーマについての構想をまとめる			
				事後学習	技法、テーマについての留意点をノートにまとめる。			
⑮ 定期試験として「こんな夢をみた」の仕上げ				事前学習	今期で学んだ内容の復習と応用を意識する			
				事後学習	技法、テーマについての留意点をノートにまとめる。			
学習上の留意点	美術が出来ない、苦手という思い込みやコンプレックスを乗り越え、自分は他人とどう違い、どんな個性を持っているのかを認識し、各制作を通して自信を付けて行く事を目指します。							
成績評価の方法	通常の各課題 70%			教科書	無し(必要に応じて資料を配布します。)			
	定期試験 20%				参考資料	「幼稚園教育要領」(平成29年3月告示 文部科学省)「幼稚園教育要領解説」 「保育所保育指針」(平成29年3月告示 厚生労働省)「保育所保育指針解説」 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」 「平成29年3月告示 内閣府・文部科学省・厚生労働省」 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」		
	授業参加状況や受講態度(提出期限の厳守、画材、モチーフ等を忘れない事も含む) 10%							

シラバス(授業計画)

部	夜間部 午後コース	学期	半期	授業形態	講義	単位数	2単位
科目名	教育原理 (教育に関する社会的、制度的又は経営的事項を含む)			担当教員	長岡 甫		
全体目標	(1)教育の基本的概念、意義、目的について、子ども家庭福祉との関わりの中で理解する。 (2)教育に関する歴史、思想、制度、実践について学び、現代における教育の役割、教育者・保育者としての自らのあり方を考える。						
一般目標	(1)教育の本質及び目標、教育を成り立たせる諸要因とそれらの相互関係について、子ども家庭福祉との関わりの中で理解する。 (2)教育や学校の変遷、その背後にある教育に関する様々な思想について理解する。 (3)社会の変化による教育への影響並びにそれに対応するための教育政策の動向や、教育機関、地域における具体的な取り組みを学ぶ。						
到達目標	(1)教育の基本的概念に関する代表的な考え方や、子ども・教師・家庭・学校・地域といった諸要因、教育と福祉の関連について理解する。 (2)西洋と日本における子ども観や教育の歴史と、代表的な教育家の思想について理解する。 (3)子どもをめぐる近年の状況変化について理解し、それに対応する教育政策の動向を理解する。特に、学校と家庭・地域との連携や生涯学習社会における教育者・保育者の役割やあり方について、具体的な事例をもとに学び、考える。						
授業のながれ	回数	[授 業 内 容]			課外学習		
	① ガイダンス				事前学習	学校体験の振り返り	
					事後学習	講義内容の復習	
	② 教育の意義・目的(1)教育の定義について考える				事前学習	配布資料に目を通す	
					事後学習	講義内容の確認	
	③ 教育意義・目的(2)教育の意義・目的、乳幼児期の教育				事前学習	配布資料に目を通す	
					事後学習	講義内容の確認	
	④ 教育と子ども家庭福祉(1)子どもの権利条約と教育				事前学習	配布資料に目を通す	
					事後学習	講義内容の確認	
	⑤ 教育と子ども家庭福祉(2)地域ぐるみの子育てと教育				事前学習	配布資料に目を通す	
					事後学習	講義内容の確認	
	⑥ 教育の思想と歴史(1) 諸外国の教育思想				事前学習	配布資料に目を通す	
					事後学習	講義内容の確認	
	⑦ 教育の思想と歴史(2) 諸外国の教育の歴史				事前学習	配布資料に目を通す	
					事後学習	講義内容の確認	
⑧ 教育の思想と歴史(3) 日本の教育思想と歴史				事前学習	これまでの学習内容の確認		
				事後学習	解答内容の振り返り		
⑨ 教育の制度(1) 近代教育制度の成立				事前学習	配布資料に目を通す		
				事後学習	講義内容の確認		
⑩ 教育の制度(2) 戦前日本の教育制度				事前学習	配布資料に目を通す		
				事後学習	講義内容の確認		
⑪ 教育の制度(3) 戦後日本の教育制度				事前学習	配布資料に目を通す		
				事後学習	講義内容の確認		
⑫ 生涯学習社会における教育(1)社会教育と生涯学習				事前学習	配布資料に目を通す		
				事後学習	講義内容の確認		
⑬ 生涯学習社会における教育(2) 社会課題と生涯学習				事前学習	配布資料に目を通す		
				事後学習	講義内容の確認		
⑭ 生涯学習社会における教育(3) 教育・保育者と生涯学習				事前学習	配布資料に目を通す		
				事後学習	講義内容の確認		
⑮ 試験・まとめ				事前学習	これまでの学習内容の確認		
				事後学習	回答内容の確認		
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> 講義の内容の理解のみに留まらず、それに対する積極的批判をもとに受講者各自が自身の教育・保育に対する見方を養うことを心がけること。 グループディスカッションなど発言を求める際には、受講者の主体的な参加を求める。 						
成績評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> 定期試験 60% 提出物・受講態度 40% 			教科書	なし		
				参考資料	『最新 保育士養成講座』総括編委員会(編)改訂1版 最新 保育士養成講座 第2巻 教育原理 社会福祉法人 全国社会福祉協議会、2024年 木村元・汐見稔幸(編)『アクティベート教育学① 教育原理』ミネルヴァ書房、2020年		

シラバス(授業計画)

部	夜間部 夜間コース	学期	半期	授業形態	講義	単位数	2単位
科目名	教育原理 (教育に関する社会的、制度的又は経営的事項を含む)			担当教員	溝脇 克弥		
全体目標	(1)教育の基本的概念や理念について、教育(学校)の歴史や思想を学ぶことで理解する。 (2)現代の学校教育に関する社会的事項について、基礎知識を身に付けるとともに、それらに関連する課題を理解する。						
一般目標	(1)教育の目的・意義と教育を成り立たせる制度・歴史・文化について、相互関係のうちに理解する。 (2)教育制度や実践の歴史の変遷と、その背後にある教育思想について理解する。 (3)社会変動による教育への影響、ならびにそれに対応するための政策動向や実践現場における具体的取り組みを学ぶ。						
到達目標	(1)教育の基本的概念に関する代表的な考え方や理念について学習する。 (2)西洋と日本における子ども観や教育制度の変遷、代表的な教育思想について学習する。 (3)教育をめぐる近年の状況変化について理解し、それに対応する日本の教育政策や実践の動向を学習する。						
授業のながれ	回数	[授 業 内 容]			課外学習		
	① ガイダンス				事前学習	これまでの学校経験の振り返り	
					事後学習	講義内容の復習	
	② 教育の目的と意義 人間の発達をめぐって				事前学習	事前配布プリントを読んでくる	
					事後学習	講義内容の復習	
	③ 教育の思想(1) 教育の萌芽と「子ども」の発見				事前学習	事前配布プリントを読んでくる	
					事後学習	講義内容の復習	
	④ 教育の思想(2) ルソーの教育思想				事前学習	事前配布プリントを読んでくる	
					事後学習	講義内容の復習	
	⑤ 教育の思想(3) 民衆教育と幼稚園				事前学習	事前配布プリントを読んでくる	
					事後学習	講義内容の復習	
	⑥ 教育の思想(4) 教育思想と実践のかかわり				事前学習	事前配布プリントを読んでくる	
					事後学習	講義内容の復習	
	⑦ 中間テスト				事前学習	これまでの学習内容の確認	
					事後学習	講義内容の復習	
⑧ 教育と学校の歴史(1) 公教育制度の成立				事前学習	事前配布プリントを読んでくる		
				事後学習	講義内容の復習		
⑨ 教育と学校の歴史(2) 戦前・戦後の日本の教育				事前学習	事前配布プリントを読んでくる		
				事後学習	講義内容の復習		
⑩ 教育と学校の歴史(3) 子どもの権利をめぐって				事前学習	事前配布プリントを読んでくる		
				事後学習	講義内容の復習		
⑪ 教育・保育の課題(1) 現代的課題を探る				事前学習	事前配布プリントを読んでくる		
				事後学習	グループ発表の準備		
⑫ 教育・保育の課題(2) 現代的課題を分析する				事前学習	グループ発表の準備		
				事後学習	グループ発表の準備		
⑬ 教育・保育の課題(3) 現代的課題を整理し、表現する				事前学習	グループ発表の準備		
				事後学習	グループ発表の準備		
⑭ 教育・保育の課題(4) これからの教育・保育を考える				事前学習	グループ発表の準備		
				事後学習	リフレクションシートの記入		
⑮ 試験・まとめ				事前学習	これまでの学習内容の確認		
				事後学習	解答内容の確認		
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> 講義では全体・一般・到達目標を意識しながら、その目標を達成するために必要な学修を実践してもらいたい。 この講義ではグループワークを行うため、受講者の積極的な参加を求める。 「授業のながれ」は受講者の関心に合わせながら順番を変更することがある。 						
成績評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> 定期試験 50% 中間テスト 30% 提出物/受講態度 20% (グループワークへの貢献度を含む)			教科書	なし		
				参考資料	汐見稔幸・伊藤敏・高田文子・東宏行・増田修治(編)『よくわかる教育原理』ミネルヴァ書房、2011年 木村元・汐見稔幸(編)『アクティベート教育学① 教育原理』ミネルヴァ書房、2020年 木村元・小玉重夫・船橋一男『教育学をつかむ【改訂版】』有斐閣、2019年 戸江茂博(編)『保育原理』ミネルヴァ書房、2019年 汐見稔幸・武藤隆・大豆生田啓友(編)『アクティベート保育学① 保育原理』ミネルヴァ書房、2019年		

シラバス(授業計画)

部	夜間部 午後コース	学期	半期	授業形態	講義	単位数	2単位
科目名	教職概論			担当教員	溝脇 克弥		
全体目標	教育や保育のニーズが複雑化している現代社会とのかかわりを意識しながら、教職(保育職)が有する役割・資質能力・職務内容について理解を深める。						
一般目標	(1) 日本における教職(保育職)の社会的意義や、求められる役割・資質能力について理解する。 (2) 教育や保育のニーズが複雑化するなかで、学校・園内外の専門家等が連携・協力する必要性を理解する。						
到達目標	(1) 教職(保育職)の意義や職業的特徴、教職に対する社会のまなざしの歴史の変遷について理解する。 (2) 教職(保育職)が担う職務内容に加え、学校・園の運営に関する基本的な事項について理解する。 (3) 社会との関わりのなかで、教職(保育職)の担うべき仕事について理解する。						
授業のながれ	回数	[授 業 内 容]			課外学習		
	① ガイダンス				事前学習	これまでの学校経験の振り返り	
					事後学習	講義内容の復習	
	② 教職・保育者の特徴(1) 社会的役割と職業文化				事前学習	事前配布プリントを読んでくる	
					事後学習	講義内容の復習	
	③ 教職・保育者の特徴(2) 求められる専門性と資質能力				事前学習	事前配布プリントを読んでくる	
					事後学習	講義内容の復習	
	④ 教職・保育者の特徴(3) サービスと権利				事前学習	事前配布プリントを読んでくる	
					事後学習	講義内容の復習	
	⑤ 教職・保育者へのまなざし(1) 教職・保育者への社会的期待				事前学習	事前配布プリントを読んでくる	
					事後学習	講義内容の復習	
	⑥ 教職・保育者へのまなざし(2) メディア作品を読み解く				事前学習	事前配布プリントを読んでくる	
					事後学習	講義内容の復習	
	⑦ 中間テスト				事前学習	これまでの学習内容の確認	
					事後学習	講義内容の復習	
⑧ 教職・保育者の働き方(1) 職務内容とその一日				事前学習	事前配布プリントを読んでくる		
				事後学習	講義内容の復習		
⑨ 教職・保育者の働き方(2) 労働環境と働き方改革				事前学習	事前配布プリントを読んでくる		
				事後学習	講義内容の復習		
⑩ 現代社会における教職・保育者(1) 幼児教育に対する現代的ニーズ				事前学習	事前配布プリントを読んでくる		
				事後学習	講義内容の復習		
⑪ 現代社会における教職・保育者(2) 幼児教育の現在と未来				事前学習	事前配布プリントを読んでくる		
				事後学習	講義内容の復習		
⑫ チームでの連携(1) 保護者・同僚・他職種との連携とICT				事前学習	事前配布プリントを読んでくる		
				事後学習	講義内容の復習		
⑬ チームでの連携(2) ジグソー学習の準備				事前学習	事前配布プリントを読んでくる		
				事後学習	ジグソー学習で与えられた課題の準備		
⑭ チームでの連携(3) ジグソー学習によるチーム実践				事前学習	ジグソー学習で与えられた課題の準備		
				事後学習	リフレクションシートを書いてくる		
⑮ 試験・まとめ				事前学習	これまでの学習内容の確認		
				事後学習	解答内容の確認		
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・講義では全体・一般・到達目標を意識しながら、その目標を達成するために必要な学修を実践してもらいたい。 ・この講義ではグループワークを行うため、受講者の積極的な参加を求める。 ・「授業のながれ」は受講者の関心に合わせながら順番を変更することがある。 						
成績評価の方法	定期試験	50%		教科書	なし		
	中間テスト	30%			参考資料	・油布佐和子『現代日本の教師—仕事と役割—』NHK出版、2015年 ・佐久間亜紀・佐伯胖(編)『アクティベート教育学② 現代の教師論』ミネルヴァ書房、2019年 ・大豆生田啓友・秋田喜代美・汐見稔幸(編)『アクティベート保育学② 保育者論』ミネルヴァ書房、2019年	
	提出物/受講態度 (グループワークへの貢献度を含む)	20%					

シラバス(授業計画)

部	夜間部 夜間コース	学期	半期	授業形態	講義	単位数	2単位
科目名	教職概論			担当教員	須田 昂宏		
全体目標	教職(教師)という仕事、保育者という仕事を多角的に理解する。						
一般目標	教師・保育者の意義と役割、仕事内容と専門性を理解するとともに、現代の教育状況についても理解する。						
到達目標	1. 教師・保育者の意義と役割を理解する。 2. 教師・保育者としての仕事内容を理解し、求められる専門性(資質・能力)を理解する。 3. 現代の教育状況を理解し、必要な態度を身につける。						
授 業 の な が れ	回数	[授 業 内 容]			課外学習		
	①	オリエンテーション			事前学習	本授業に期待することを考えてくる	
					事後学習	リアクションペーパーを書いてくる	
	②	教師・保育者の意義と役割			事前学習	事前配布プリントを読んでくる	
					事後学習	リアクションペーパーを書いてくる	
	③	教師・保育者の仕事内容			事前学習	事前配布プリントを読んでくる	
					事後学習	リアクションペーパーを書いてくる	
	④	教師・保育者の専門性(1) 求められる資質と能力			事前学習	事前配布プリントを読んでくる	
					事後学習	リアクションペーパーを書いてくる	
	⑤	教師・保育者の専門性(2) 資格との関係から			事前学習	事前配布プリントを読んでくる	
					事後学習	リアクションペーパーを書いてくる	
	⑥	教師・保育者の専門性(3) シラバスづくり			事前学習	事前配布プリントを読んでくる	
					事後学習	リアクションペーパーを書いてくる	
	⑦	教師・保育者の専門性(4) 教育技術と反省的実践家・チーム学校			事前学習	事前配布プリントを読んでくる	
					事後学習	リアクションペーパーを書いてくる	
⑧	教師・保育者の現状(1) 教師・保育者の現状と課題			事前学習	事前配布プリントを読んでくる		
				事後学習	リアクションペーパーを書いてくる		
⑨	教師・保育者の現状(2) 待機児童・賃金動向			事前学習	事前配布プリントを読んでくる		
				事後学習	リアクションペーパーを書いてくる		
⑩	教育の現状(1) 教育とカリキュラム			事前学習	事前配布プリントを読んでくる		
				事後学習	リアクションペーパーを書いてくる		
⑪	教育の現状(2) 教育と評価			事前学習	事前配布プリントを読んでくる		
				事後学習	リアクションペーパーを書いてくる		
⑫	教育の現状(3) 教育とアクティブラーニング			事前学習	事前配布プリントを読んでくる		
				事後学習	リアクションペーパーを書いてくる		
⑬	課題の発表			事前学習	発表の準備をしてくる		
				事後学習	リアクションペーパーを書いてくる		
⑭	教職概論のまとめ			事前学習	事前配布プリントを読んでくる		
				事後学習	リアクションペーパーを書いてくる		
⑮	試験・講評			事前学習	試験対策をやってくる		
				事後学習	試験の振り返りをする		
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> 「授業のながれ」の順番は変更することがある。 本授業は講義であるが、「聴く」活動のみならず、「書く」、「話し合う」、「発表する」などの活動を非常に多く含む。成績評価が平常点重視なことからもわかるように、特に授業中は能動的・積極的な参加が求められる。 						
成績評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> 試験 50% 授業参加状況 50% 			教科書			
				参考資料	前田康裕『まんがで知る教師の学び—これからの学校教育を担うために』読くら社、2016年 高橋貴志『これからの保育者論—日々の実践に宿る専門性』萌文書林、2017年 『幼稚園教育要領』(平成29年3月告示 文部科学省)『幼稚園教育要領解説』 『保育所保育指針』(平成29年3月告示 厚生労働省)『保育所保育指針解説』 『幼保連携型認定こども園教育・保育要領』(平成29年3月告示 内閣府・文部科学省・厚生労働省)『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』		

シラバス(授業計画)

部	夜間部 午後コース	学期	半期	授業形態	講義	単位数	2単位
科目名	教育心理学			担当教員	野田 萌菜		
全体目標	子どもの発達及び学習についての基本的な知識を習得し、多様な視点から保育(教育)実践を行う上で必要となる考え方を習得することを目的とする。						
一般目標	1. 子どもの発達の過程及び特徴を理解し、基礎的知識を身につける。 2. 子どもたちの発達及び学習を支える指導や環境について理解する。						
到達目標	1. 発達に関する代表的な理論を踏まえ、発達の概念や幼児期の発達の過程と特徴を理解している。 2. 学習や動機づけの理論を踏まえ、主体的な学習活動を支える指導の基礎となる考え方を理解している。						
授業 の な が れ	回数	[授 業 内 容]			課外学習		
	① オリエンテーション:保育と教育心理学				事前学習	シラバスを確認する	
					事後学習	授業内容を振り返る	
	② 発達と教育(1)遺伝と環境				事前学習	教科書の該当箇所を予習する	
					事後学習	授業内容を振り返る	
	③ 発達と教育(2)思考やことばの発達				事前学習	教科書の該当箇所を予習する	
					事後学習	授業内容を振り返る	
	④ 学習のしくみ(1)様々な学習				事前学習	教科書の該当箇所を予習する	
					事後学習	授業内容を振り返る	
	⑤ 学習のしくみ(2)記憶のメカニズム				事前学習	教科書の該当箇所を予習する	
					事後学習	授業内容を振り返る	
	⑥ やる気を育てる(1)「やる気」とは				事前学習	教科書の該当箇所を予習する	
					事後学習	授業内容を振り返る	
	⑦ やる気を育てる(2)内からのやる気を育てる				事前学習	教科書の該当箇所を予習する	
					事後学習	授業内容を振り返る	
	⑧ 個人差・知能・性格の理解				事前学習	教科書の該当箇所を予習する	
				事後学習	授業内容を振り返る		
⑨ 人間関係と社会化(1)子どもの人間関係				事前学習	教科書の該当箇所を予習する		
				事後学習	授業内容を振り返る		
⑩ 愛着形成と基本的信頼感				事前学習	教科書の該当箇所を予習する		
				事後学習	授業内容を振り返る		
⑪ 人間関係と社会化(2)道徳性と向社会的行動				事前学習	教科書の該当箇所を予習する		
				事後学習	授業内容を振り返る		
⑫ 特別な支援を要する子どもたち(1)障害の理解と受容				事前学習	教科書の該当箇所を予習する		
				事後学習	授業内容を振り返る		
⑬ 特別な支援を要する子どもたち(2)こころの問題				事前学習	教科書の該当箇所を予習する		
				事後学習	授業内容を振り返る		
⑭ 親の理解と子育て支援				事前学習	教科書の該当箇所を予習する		
				事後学習	授業内容を振り返る		
⑮ まとめと試験				事前学習	これまでの学びを確認する		
				事後学習	試験及び授業全体を振り返る		
学習上の留意点	・わからないことがあれば、そのままにせず積極的に質問すること						
成績評価の方法	定期試験	70%	教科書	「教育心理学－保育者を目指す人へ－」 石井 正子・松尾直博(編) 樹村房			
	平常点(受講態度・授業参加状況)	30%		参考資料	適宜、資料を配布する		

シラバス(授業計画)

部	夜間部 夜間コース	学期	半期	授業形態	講義	単位数	2単位
科目名	教育心理学			担当教員	濱家 徳子		
全体目標	子どもの心身の発達と学習についての基礎的な知識と、子どもたちの発達の特徴を踏まえた上での保育実践を行う基礎となる考え方を習得する。						
一般目標	1. 子どもの心身の発達の過程及び特徴を理解する。 2. 子どもの学習に関する基礎的知識を身につけ、発達を踏まえた学びを支える関わりや環境づくりの重要性を理解する。						
到達目標	1. 子どもの発達にかかわる心理学の基礎を習得し、子どもの心身の発達の過程および特徴を理解している。 2. 子どもの心身の発達を踏まえ、主体的な学習活動を支える指導の基礎となる考え方を理解している。						
授業 の な が れ	回数	[授 業 内 容]			課外学習		
	①	オリエンテーション:保育と心理学			事前学習	シラバスを確認する	
					事後学習	授業内容を振り返る	
	②	子どもの発達理解(1)子どもの発達と環境			事前学習	教科書の該当箇所を予習する	
					事後学習	授業内容を振り返る	
	③	子どもの発達理解(2)身体的機能と運動機能の発達			事前学習	教科書の該当箇所を予習する	
					事後学習	授業内容を振り返る	
	④	子どもの発達理解(3)知覚と認知の発達			事前学習	教科書の該当箇所を予習する	
					事後学習	授業内容を振り返る	
	⑤	子どもの発達理解(4)言葉の発達と社会性			事前学習	教科書の該当箇所を予習する	
					事後学習	授業内容を振り返る	
	⑥	子どもの発達理解(5)感情の発達と自我の発達			事前学習	教科書の該当箇所を予習する	
					事後学習	授業内容を振り返る	
	⑦	人との相互的かかわりと子どもの発達(1) 母子関係とアタッチメント、基本的信頼感の獲得			事前学習	教科書の該当箇所を予習する	
					事後学習	授業内容を振り返る	
	⑧	人との相互的かかわりと子どもの発達(2) 社会的相互作用: 遊びと仲間関係の発達			事前学習	教科書の該当箇所を予習する	
				事後学習	授業内容を振り返る		
⑨	人との相互的かかわりと子どもの発達(3) 動機づけと学習のメカニズム			事前学習	教科書の該当箇所を予習する		
				事後学習	授業内容を振り返る		
⑩	生涯発達のプロセスと初期経験の重要性(1) 生涯発達と発達援助、心理社会的発達理論			事前学習	教科書の該当箇所を予習する		
				事後学習	授業内容を振り返る		
⑪	生涯発達のプロセスと初期経験の重要性(2) 胎児期、新生児期の発達			事前学習	教科書の該当箇所を予習する		
				事後学習	授業内容を振り返る		
⑫	生涯発達のプロセスと初期経験の重要性(3) 乳幼児期の発達			事前学習	教科書の該当箇所を予習する		
				事後学習	授業内容を振り返る		
⑬	生涯発達のプロセスと初期経験の重要性(4) 児童期、青年期の発達			事前学習	教科書の該当箇所を予習する		
				事後学習	授業内容を振り返る		
⑭	生涯発達のプロセスと初期経験の重要性(5) 成人期、老年期の発達			事前学習	教科書の該当箇所を予習する		
				事後学習	授業内容を振り返る		
⑮	学びの振り返り・まとめ・試験(定期試験)			事前学習	これまでの学びを確認する		
				事後学習	試験及び授業全体を振り返る		
学習上の留意点	主体的に予習と復習を行い、わからないことはそのままにせず積極的に質問すること。						
成績評価の方法	平常点(提出物、受講態度等)(30%) 筆記試験(70%)			教科書	『保育の心理学 第3版』 ナカニシヤ出版		
				参考資料	毎回資料を配布または提示する。		

シラバス(授業計画)

部	夜間部 午後コース	学期	半期	授業形態	演習	単位数	1単位
科目名	幼児の特別支援教育			担当教員	荒木 美恵	保育士として 実務経験有	
全体目標	<p>特別の支援を必要とする子どもや教育的ニーズのある子どもの特性および生活上の困難さを理解する。 事例検討を行い考察することで、個別支援計画を作成できるようになる。 他の教員間や関係機関と連携し、協働するために必要な知識や支援方法を理解する。</p>						
一般目標	<p>特別の支援を必要とする子どもの障害の特性及び心身の発達を理解する。 教育課程(全体的な計画)から特別な支援を必要とする子どもに対する支援の方法を理解し計画を作成する。 障害はないが特別な教育的ニーズのある子どもの生活上の困難とその対応を理解する。</p>						
到達目標	<p>インクルーシブ教育システムを含めた特別支援教育に関する制度の理念や仕組みを理解する。 個別の支援計画及び個別の教育支援計画を作成する意義と方法を理解する。 特別な支援を必要とする子どもの特性や生活上の困難さや組織的な連携の必要性について理解する。</p>						
授 業 の な が れ	回数	[授 業 内 容]			課外学習		
	①	オリエンテーション 幼児の特別支援教育とは			事前学習	シラバスを確認する	
					事後学習	重要事項を復習する。	
	②	幼児の特別支援教育の歴史の変遷からみえてくること			事前学習	幼児の特別支援教育の歴史を予習しておく。	
					事後学習	重要事項を復習する。	
	③	特別な支援を必要とする子どもの理解と支援① 発達障害とは			事前学習	話し合いの為にエピソードを準備しておく。	
					事後学習	発達障害の子どもについて理解を深める。	
	④	特別な支援を必要とする子どもの理解と支援② 発達障害児についての支援方法について学ぶ			事前学習	生活する上での困難さや特性を理解しておく。	
					事後学習	重要事項を復習する。	
	⑤	特別な支援を必要とする子どもの理解と支援③ 視覚障害・聴覚障害・肢体不自由等について学ぶ			事前学習	特別な支援が必要な子どもについて整理する。	
					事後学習	特別な支援を必要とする子どもの理解を深める。	
	⑥	特別な支援を必要とする子どもの理解と支援④ 重度・重複障害等を含む病児保育について			事前学習	特別な支援が必要な子どもについて整理する。	
					事後学習	特別な支援を必要とする子どもの理解を深める。	
	⑦	特別な支援を必要とする子どもの理解と支援⑤ 現代社会が行わなければならない支援(外国籍児など)			事前学習	話し合いの為にエピソードを準備しておく。	
					事後学習	特別な支援を必要とする子どもの理解を深める。	
⑧	特別な支援を必要とする子どもの理解と支援⑥ 現代社会が行わなければならない支援(愛着障害・ACEなど)			事前学習	話し合いの為にエピソードを準備しておく。		
				事後学習	特別な支援を必要とする子どもの理解を深める。		
⑨	支援計画の意義と方法① 個別指導計画の理解 事例をもとに個別支援計画の検討			事前学習	計画立案に関する予習をする。		
				事後学習	保育計画についての理解を深める。		
⑩	支援計画の意義と方法② 事例をもとに個別の支援方法の検討・作成 グループ発表			事前学習	計画立案に関する予習をする。		
				事後学習	自分や他のグループの発表内容を振り返る。		
⑪	支援体制の連携① 障害の受容 障害に対する保護者の心理			事前学習	家庭との連携の必要性について考察する。		
				事後学習	支援について課題や必要性について理解する。		
⑫	支援体制の連携② 専門関係機関・家庭との連携と支援体制 就学に向けて			事前学習	就学に向けた支援方法について予習をする。		
				事後学習	様々な連携についての理解を深める。		
⑬	幼児の特別支援教育に関する知識の整理① インクルーシブ保育について			事前学習	幼児の特別支援教育について考察する。		
				事後学習	幼児の特別支援の必要性について理解する。		
⑭	幼児の特別支援教育に関する知識の整理② インクルーシブ保育において遊びとは			事前学習	幼児の特別支援教育について考察する。		
				事後学習	幼児の特別支援の課題について理解する。		
⑮	まとめと試験			事前学習	今までに学んだことや課題等をまとめる。		
				事後学習	知識を整理するとともに支援方法を理解する。		
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・今までの実習で出会った「特別な支援を必要とする子ども」についてのエピソードや支援方法についてまとめておくこと。 ・事前準備を入念に行った上で、積極的に事例検討やグループ討議を行なうこと。 ・課題や授業内での取り組みはしっかりと自分の考えを述べられるようにすること。 						
成績評価の方法	平常点(参加状況、授業態度、課題取り組みなど)50% 定期試験 50%			教科書	幼稚園教育要領(平成29年3月告示 文部科学省) 幼保連携型認定こども園教育・保育要領(平成29年3月告示 内閣府・文部科学省・厚生労働省) 保育所保育指針(平成29年3月告示 厚生労働省)		
				参考資料	すべての子どもの権利を実現するインクルーシブ保育へ 戸澤清音他 障害のある子どもへのサポートナビ 松浦俊弥 角田哲哉 新・障害のある子どもの保育 伊藤健次 編 はじめての特別支援教育[改訂版] 拓植雅義他		

シラバス(授業計画)

部	夜間部 夜間コース	学期	半期	授業形態	演習	単位数	1単位
科目名	幼児の特別支援教育			担当教員	永井 弘人	特別支援学校教諭(美術)として実務経験有	
全体目標	特別の支援を必要とする子どもや教育的ニーズのある子どもの特性および生活上の困難さを理解する。実習で出会った子どもたちについて検討し考察することで、個別支援計画を作成できるようになる。他の教員間や関係機関と連携し、協働するために必要な知識や支援方法を理解する。						
一般目標	特別の支援を必要とする子どもの障害の特性及び心身の発達を理解する。教育課程(全体的な計画)から特別な支援を必要とする子どもに対する支援の方法を理解し計画を作成する。障害はないが特別な教育的ニーズのある子どもの生活上の困難とその対応を理解する。						
到達目標	インクルーシブ教育システムを含めた特別支援教育に関する制度の理念や仕組みを理解する。教育課程の枠組みを踏まえ、個別の支援計画及び個別の教育支援計画を作成する意義と方法を理解する。特別な支援を必要とする子どもの特性や生活上の困難さや組織的な連携の必要性について理解する。						
授業 の な が れ	回数	[授 業 内 容]			課外学習		
	①	特別支援教育に関する理念や制度 インクルーシブ教育			事前学習	支援を必要とする子のエピソードをまとめる。	
					事後学習	重要事項を確認する。	
	②	特別な支援を必要とする子どもの理解と支援① 発達障害等(知的障害のない発達障害…ADHD等)			事前学習	実習で出会った子のエピソード等を準備する。	
					事後学習	発達障害のある子どもについて理解を深める。	
	③	特別な支援を必要とする子どもの理解と支援② 知的障害及び知的障害を伴う発達障害			事前学習	話し合いの為にエピソードを準備しておく。	
					事後学習	知的障害の有る子どもについて理解を深める。	
	④	特別な支援を必要とする子どもの理解と支援③ 視覚障害・聴覚障害及び盲聾重複障害			事前学習	生活する上での困難さや特性を理解しておく。	
					事後学習	重要事項を確認する。	
	⑤	特別な支援を必要とする子どもの理解と支援④ 肢体不自由・病弱・重度・重複障害等を含む様々な障害			事前学習	特別な支援が必要な幼児について整理する。	
					事後学習	特別な支援を必要とする子どもの理解を深める。	
	⑥	特別な支援を必要とする子どもの理解と支援⑤ 障害はないが教育的ニーズのある子ども(虐待や貧困等)			事前学習	特別な支援が必要な幼児について整理する。	
					事後学習	特別な支援を必要とする子どもの理解を深める。	
	⑦	特別な支援を必要とする子どもの理解と支援⑥ 障害はないが教育的ニーズのある子ども(発達障害といじめ)			事前学習	特別な支援が必要な幼児のエピソードや支援をまとめる。	
					事後学習	特別な支援を必要とする子どもの理解を深める。	
⑧	特別な支援を必要とする子どもの理解と支援⑦ 発達障害・愛着障害・トラウマ			事前学習	特別な支援が必要な幼児のエピソードや支援をまとめる。		
				事後学習	特別な支援を必要とする子どもの理解を深める。		
⑨	特別な支援を必要とする子どもの理解と支援⑧ 医ケア・子供ホスピス			事前学習	計画立案に関する配付資料を読んでおく。		
				事後学習	自分や他のグループの発表内容を振り返る。		
⑩	支援計画の意義と方法① 個別の指導計画の理解 事例に基づく意義や活用			事前学習	計画立案に関する配付資料を読んでおく。		
				事後学習	保育計画についての理解を深める。		
⑪	支援計画の意義と方法② 個別の教育支援計画の理解 事例に基づく意義や活用			事前学習	事前配布資料の事例説明について理解する。		
				事後学習	保育計画についての理解を深める。		
⑫	支援体制の連携① 障害の受容 障害に対する保護者の心理			事前学習	事前配布資料の障害受容について理解する。		
				事後学習	実習で経験したり学んだことを整理する。		
⑬	支援体制の連携② 幼稚園・専門関係機関・家庭との連携と支援体制			事前学習	家庭との連携の必要性について考察する。		
				事後学習	連携する上での課題や必要性について理解する。		
⑭	支援体制の連携③ 幼稚園と小学校・特別支援学校(小学部)との連携 就学に向けて			事前学習	就学に向けた支援方法についてまとめる。		
				事後学習	様々な連携についての理解を深める。		
⑮	試験・講評 幼児の特別支援教育に関する知識の整理			事前学習	今までに学んだことや課題等をまとめる。		
				事後学習	知識を整理するとともに支援方法を理解する。		
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・今までの実習で出会った「特別な支援を必要とする子ども」についてのエピソードや支援方法についてまとめておくこと。 ・事前準備を入念に行った上で、積極的に事例検討やグループ討議を行なうこと。 ・課題や授業内での取り組みはしっかりと自分の考えを述べられるようにすること。 						
成績評価の方法	授業参加状況・課題取り組み	30%		教科書	幼稚園教育要領(平成29年3月告示 文部科学省) 幼保連携型認定こども園教育・保育要領(平成29年3月告示 内閣府・文部科学省・厚生労働省) 保育所保育指針(平成29年3月告示 厚生労働省)		
	グループ討議	10%		参考資料	障害のある子どもへのサポートナビ 松浦俊弥 角田哲哉 新・障害のある子どもの保育 伊藤健次 編 保育者のための障害児保育—理解と実践— 尾野明美 はじめての特別支援教育[改訂版] 柘植雅義他		
	試験	60%					

シラバス(授業計画)

部	夜間部	学期	半期	授業形態	講義	単位数	2単位
科目名	教育課程総論			担当教員	瀬木 ゆかり	幼稚園教諭・保育士として実務経験有	
全体目標	様々な教育課程・全体的な計画の意義や内容について理解する これまでの幼児教育の変遷を理解する 幼児教育の制度や内容など「幼児教育のあり方」を学ぶ						
一般目標	教育課程や全体的な計画を考える上で必要なことや計画の大切さについて総合的に学ぶ 部分や一日の「指導計画」を作成・実践して、自己課題を見つける 幼児教育施設に求められることについて学ぶ						
到達目標	「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」「幼保連携型認定こども園教育保育要領」を理解する 保育現場で必要とされる計画について作成・実施・振り返りながら次につなげていくことができる 様々な教育課程・全体的な計画の意義や内容について理解してそれを基に計画が作成できるようにする						
授業のながれ	回数	[授 業 内 容]			課外学習		
	①	教育課程・全体的な計画とは 幼稚園教育課程・保育所保育課程の変遷			事前学習 事後学習	要領、指針、教育保育要領を読んでおく 授業の振り返りをする	
	②	計画の理論 教育・保育に大切なこと 保育のしくみ			事前学習 事後学習	教科書の該当箇所を予習する 授業の振り返りをする	
	③	よりよいカリキュラムを構想するために カリキュラムの構造と保育改善 環境構成			事前学習 事後学習	教科書の該当箇所を予習する 授業の振り返りをする	
	④	保育所保育指針などをもとに考える 乳幼児の理解や子どもの育ちをとらえる			事前学習 事後学習	教科書の該当箇所を予習する 授業の振り返りをする	
	⑤	教育課程・全体的な計画・編成 子どもの育ちに即した指導計画の作成			事前学習 事後学習	教科書の該当箇所を予習する 授業の振り返りをする	
	⑥	子どもの姿から「指導計画」を作成する 保育者の意図「心情・意欲・態度」			事前学習 事後学習	教科書の該当箇所を予習する 授業の振り返りをする	
	⑦	指導計画(長期・短期的)の作成 指導計画の必要性			事前学習 事後学習	教科書の該当箇所を予習する 授業の振り返りをする	
	⑧	計画の実際(1) 幼児の遊び・子ども理解			事前学習 事後学習	教科書の該当箇所を予習する 授業の振り返りをする	
	⑨	計画の実際(2) 幼児期にふさわしい生活の展開			事前学習 事後学習	教科書の該当箇所を予習する 授業の振り返りをする	
	⑩	計画の実際(3) 認定こども園の特徴			事前学習 事後学習	教科書の該当箇所を予習する 授業の振り返りをする	
	⑪	計画の実際(4) 乳児の発達			事前学習 事後学習	教科書の該当箇所を予習する 授業の振り返りをする	
	⑫	計画の実際(5) 個別の計画			事前学習 事後学習	教科書の該当箇所を予習する 授業の振り返りをする	
	⑬	計画の実際(6) 異年齢保育の意義			事前学習 事後学習	教科書の該当箇所を予習する 授業の振り返りをする	
	⑭	カリキュラムマネジメント 幼稚園教育要領等 育みたい資質能力「三つの柱」・小学校との接続			事前学習 事後学習	教科書の該当箇所を予習する 授業の振り返りをする	
⑮	試験・まとめ			事前学習 事後学習	授業内容全体の理解を深めておく 講評の内容を把握する		
学習上の留意点	授業には積極的に取り組み、事前準備や習ったことを復習して理解を深める努力をすること 子どもや幼児教育に関心を持って、保育者を目指すものとして自覚を持って学ぶこと 日頃から「幼稚園教育要領」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」を見るようにすること 提出物は丁寧に記述し、見直したうえで期限内に提出すること						
成績評価の方法	定期試験50% 授業参加状況・受講態度50% (授業内での取り組み・グループワーク・レポート等) 以上を総合的に評価する			教科書	「教育・保育カリキュラム論」田中亨胤・三宅茂夫著 (株)みらい 「保育の活動・遊び パーフェクトガイド」小山朝子他 わかば社 「幼稚園教育要領」 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」 「保育所保育指針」		
				資料考	「幼稚園教育要領解説」 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」 「保育所保育指針解説」		

シラバス(授業計画)

部	夜間部 午後コース	学期	半期	授業形態	講義	単位数	2単位
科目名	教育方法論			担当教員	藤川 寛之		
全体目標	これからの社会を担う子どもたちに求められる資質・能力を育成するために必要な、教育・保育の方法と技術を理解する。それとともに、情報機器及び教材の活用に関する基礎的な知識・技能を身に付ける。						
一般目標	(1) 子どもたちを教育するために必要とされる教育・保育に関する原理と指導技術を理解する。 (2) 教育・保育の目的に適した情報機器及び教材の活用を理解する。						
到達目標	(1) 優れた教育実践をするために必要な教育方法学の理論を理解する。 (2) 保育現場で用いられる様々な教育・保育の方法の概要を理解する。 (3) 情報機器及び教材の活用について実践的に理解する。						
授業のながれ	回数	[授 業 内 容]			課外学習		
	① ガイダンス				事前学習	これまでの学校経験の振り返り	
					事後学習	講義内容の復習	
	② 教育・保育の原理(1) 西洋における教育・保育の誕生				事前学習	配布資料に目を通す	
					事後学習	講義内容の確認	
	③ 教育・保育の原理(2) 日本における教育・保育の歴史				事前学習	配布資料に目を通す	
					事後学習	講義内容の確認	
	④ 教育・保育の原理(3) 教育・保育がもつ「機能」				事前学習	配布資料に目を通す	
					事後学習	講義内容の確認	
	⑤ 教育・保育の方法論(1) 計画と評価				事前学習	配布資料に目を通す	
					事後学習	講義内容の確認	
	⑥ 教育・保育の方法論(2) 学習の諸理論と環境				事前学習	配布資料に目を通す	
					事後学習	講義内容の確認	
	⑦ 中間テスト				事前学習	これまでの学習内容の確認	
					事後学習	解答内容の振り返り	
⑧ 教育・保育の技術(1) 個に応じた指導				事前学習	配布資料に目を通す		
				事後学習	講義内容の確認		
⑨ 教育・保育の技術(2) 遊び・生活の指導				事前学習	配布資料に目を通す		
				事後学習	講義内容の確認		
⑩ 教育・保育の技術(3) 幼少連携を目指した指導				事前学習	配布資料に目を通す		
				事後学習	講義内容の確認		
⑪ 教育・保育の技術(4) 情報機器及び教材の活用				事前学習	配布資料に目を通す		
				事後学習	講義内容の確認		
⑫ 実践を通して教育・保育を考える(1) お話、手遊び				事前学習	配布資料に目を通す		
				事後学習	講義内容の確認		
⑬ 実践を通して教育・保育を考える(2) 折り紙、ゲーム				事前学習	配布資料に目を通す		
				事後学習	講義内容の確認		
⑭ 実践を通して教育・保育を考える(3) ペーパーサート、パネルシアター				事前学習	配布資料に目を通す		
				事後学習	講義内容の確認		
⑮ 試験・まとめ				事前学習	これまでの学習内容の確認		
				事後学習	解答内容の確認		
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・講義では全体・一般・到達目標を意識しながら、その目標を達成するために必要な学修を実践してもらいたい。 ・この講義ではグループワークを行うため、受講者の積極的な参加を求める。 ・「授業のながれ」は受講者の関心に合わせながら順番を変更することがある。 						
成績評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・定期試験 40% ・中間テスト 30% ・提出物/グループワークの貢献度 30% 			教科書	なし		
				参考資料	長谷川英『教育方法学』協同出版、2008年 久富陽子(編)『実習に行くまえに知っておきたい保育実技一児童文化財の魅力とその活用・展開―』南文書林、2005年 神長美津子・津金美智子・五十嵐市郎(編)『乳幼児教育 保育シリーズ 保育方法論』光生館、2018年 藤見直樹・池田竜介(編)『幼児教育・保育のための教育方法論』ネルヴァ書房、2021年		

シラバス(授業計画)

部	夜間部 夜間コース	学期	半期	授業形態	講義	単位数	2単位
科目名	教育方法論			担当教員	須田 昂宏		
全体目標	これからの社会を担う子どもたちに求められる資質・能力を育成するために必要な、教育の方法、教育の技術、情報機器の活用に関する基礎的な知識・技能を身につける。						
一般目標	子どもたちを教育するために必要な教育の方法、教育の目的に適した指導技術、情報機器の活用を理解する。						
到達目標	理論編では、優れた教育実践をするために必要な教育方法学の理論を理解する。 実践編では、保育現場で用いられるさまざまな教育方法の概要を理解する。						
授業のながれ	回数	[授業内容]			課外学習		
	① オリエンテーション				事前学習	本授業に期待することを考えてくる	
					事後学習	リアクションペーパーを書いてくる	
	② 理論編(1) 教育・保育の基礎知識①:学校について				事前学習	事前配布プリントを読んでくる	
					事後学習	リアクションペーパーを書いてくる	
	③ 理論編(2) 教育・保育の基礎知識②:幼稚園について(DVDを含む)				事前学習	事前配布プリントを読んでくる	
					事後学習	リアクションペーパーを書いてくる	
	④ 理論編(3) これからの時代の教師像・保育者像としての「反省的実践家」				事前学習	事前配布プリントを読んでくる	
					事後学習	リアクションペーパーを書いてくる	
	⑤ 理論編(4) これからの時代の学習形態としての「アクティブラーニング」①: DVD				事前学習	事前配布プリントを読んでくる	
					事後学習	リアクションペーパーを書いてくる	
	⑥ 理論編(5) これからの時代の学習形態としての「アクティブラーニング」②: 解説				事前学習	事前配布プリントを読んでくる	
					事後学習	リアクションペーパーを書いてくる	
	⑦ 理論編(6) 「形式陶冶と実質陶冶」、「ヒドゥンカリキュラム」				事前学習	事前配布プリントを読んでくる	
					事後学習	リアクションペーパーを書いてくる	
⑧ 実践編(1) 絵本、紙芝居、手遊び、ペープサート				事前学習	事前配布プリントを読んでくる		
				事後学習	リアクションペーパーを書いてくる		
⑨ 実践編(2) エプロンシアター、ゲーム、折り紙、手作りおもちゃ				事前学習	事前配布プリントを読んでくる		
				事後学習	リアクションペーパーを書いてくる		
⑩ 実践編(3) お話				事前学習	事前配布プリントを読んでくる		
				事後学習	リアクションペーパーを書いてくる		
⑪ 実践編(4) パネルシアター①: 構想				事前学習	事前配布プリントを読んでくる		
				事後学習	リアクションペーパーを書いてくる		
⑫ 実践編(5) パネルシアター②: 作成				事前学習	事前配布プリントを読んでくる		
				事後学習	リアクションペーパーを書いてくる		
⑬ 実践編(6) 行事と保育				事前学習	事前配布プリントを読んでくる		
				事後学習	リアクションペーパーを書いてくる		
⑭ 教育方法論のまとめ				事前学習	事前配布プリントを読んでくる		
				事後学習	リアクションペーパーを書いてくる		
⑮ 試験・講評				事前学習	試験対策をやってくる		
				事後学習	試験の振り返りをする		
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・「授業のながれ」の順番は変更することがある。 ・本授業は講義であるが、「聴く」活動のみならず、「書く」、「話し合う」、「発表する」などの活動を非常に多く含む。成績評価が平常点重視なことからもわかるように、特に授業中は能動的・積極的な参加が求められる。 						
成績評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・試験 50% ・授業参加状況 50% 			教科書			
				参考資料	『幼稚園教育要領』『幼稚園教育要領解説』 『保育所保育指針』『保育所保育指針解説』 『幼保連携型認定こども園教育・保育要領』 『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』		

シラバス(授業計画)

部	夜間部 午後コース	学期	半期	授業形態	演習	単位数	2単位
科目名	教育相談			担当教員	安藤 雅美	臨床心理士・保育カウンセラーとして実務経験有	
全体目標	心理学的知見の学習を通して、保育士・幼稚園教諭の立場から子どもの支援・保護者支援に対応できる知識・態度・スキルを身に付ける						
一般目標	<ul style="list-style-type: none"> ・教育相談の意義と理論を理解する ・教育相談を進める際に必要な基本的知識を理解する 						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・教育相談に求められる態度、姿勢、スキルを理解する ・教育相談に関わる心理学の基礎的な理論・概念を理解している ・クラスメイトとの意見交換を通じて、子ども・保護者支援の多様なアプローチに気付くことができる 						
授業 の な が れ	回数	[授 業 内 容]			課外学習		
	① オリエンテーション 教育相談とは				事前学習	自己紹介を考える	
					事後学習	学んだことを復習する	
	② 教育相談の基礎① 自己理解				事前学習	前回の授業を振り返る	
					事後学習	配布資料に目を通す	
	③ 教育相談の基礎② 他者理解				事前学習	前回の授業を振り返る	
					事後学習	配布資料に目を通す	
	④ 相談にのるための技術① カウンセリングマインドとは				事前学習	前回の授業を振り返る	
					事後学習	配布資料に目を通す	
	⑤ 相談にのるための技術② アクティブ・リスニング				事前学習	前回の授業を振り返る	
					事後学習	配布資料に目を通す	
	⑥ 子どもを理解する① 心の発達				事前学習	前回の授業を振り返る	
					事後学習	配布資料に目を通す	
	⑦ 事例検討① 事例を通して問題のとらえ方を理解する				事前学習	前回の授業を振り返る	
					事後学習	配布資料に目を通す	
⑧ 子どもを理解する② 発達障害 ペアレントトレーニングという考え方を通して				事前学習	前回の授業を振り返る		
				事後学習	配布資料に目を通す		
⑨ 子どもを理解する③ 発達障害 かかわり方を考える				事前学習	前回の授業を振り返る		
				事後学習	配布資料に目を通す		
⑩ 事例検討② 事例を通して気になる子どもへの対応を考える				事前学習	前回の授業を振り返る		
				事後学習	配布資料に目を通す		
⑪ 保護者への対応				事前学習	前回の授業を振り返る		
				事後学習	配布資料に目を通す		
⑫ 事例検討③ 事例を通して保護者対応を考える				事前学習	前回の授業を振り返る		
				事後学習	配布資料に目を通す		
⑬ 事例検討④ 発達障害 事例を通して保護者対応を考える				事前学習	前回の授業を振り返る		
				事後学習	配布資料に目を通す		
⑭ ふりかえり				事前学習	前回の授業を振り返る		
				事後学習	配布資料に目を通す		
⑮ 試験・まとめ				事前学習	前回の授業を振り返る		
				事後学習	配布資料に目を通す		
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・グループワークでは積極的に参加し、多様な見方・考え方を得ること ・教材は何度も読み返して、内容の理解に努めること 						
成績評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・定期試験60% ・平常点40% 授業態度 グループワークや演習活動への参加姿勢や態度 提出物			教科書	特に指定しない		
				参考資料	「保育園・幼稚園で使えるカウンセリングテクニック」 誠信書房 「保育者のためのカウンセリングマインド入門」 チャイルド社		

シラバス(授業計画)

部	夜間部 夜間コース	学期	半期	授業形態	演習	単位数	2単位
科目名	教育相談			担当教員	小山 恵梨佳	臨床心理士カウンセラーとして実務経験有	
全体目標	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの発達や生活の状況に即して、個々の心理的特質や教育的課題を適切に捉える。 子どもの発達や学び、その過程で生じるつまづきを支援するために必要な基礎的知識を身につける。 						
一般目標	<ul style="list-style-type: none"> 保育・教育相談の意義と理論を理解する。 保育・教育相談を進める際に必要な基礎的知識を理解する。 保育・教育相談の進め方や組織的な取り組み、連携の必要性を理解する。 						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> 保育・教育相談に関する心理学の基礎的な理論や概念を理解する。 保育・教育相談に求められる態度や姿勢、スキルを理解する。 保育・教育相談において他の専門家と連携する意義や必要性を理解する。 						
授業のながれ	回数	[授業内容]			課外学習		
	①	オリエンテーション 保育の場における相談ニーズとカウンセリング・マインド			事前学習 事後学習	シラバスを確認する 授業内容を振り返る	
	②	子どもの発達理解と相談・支援			事前学習 事後学習	事前配付資料を予習する 授業内容を振り返る	
	③	保護者への対応—子育て支援の視点から			事前学習 事後学習	事前配付資料を予習する 授業内容を振り返る	
	④	発達障害や気になる子どもとは			事前学習 事後学習	事前配付資料を予習する 授業内容を振り返る	
	⑤	発達障害や気になる子どもとその保護者へのかかわり			事前学習 事後学習	事前配付資料を予習する 授業内容を振り返る	
	⑥	子ども理解のための発達理論とカウンセリング的アプローチ			事前学習 事後学習	事前配付資料を予習する 授業内容を振り返る	
	⑦	保育場面でのカウンセリング技法の活用			事前学習 事後学習	事前配付資料を予習する 授業内容を振り返る	
	⑧	園・地域における専門家との連携による相談・支援 1 保育におけるコンサルテーションと事例			事前学習 事後学習	事前配付資料を予習する 授業内容を振り返る	
	⑨	園・地域における専門家との連携による相談・支援 2 園・地域における専門家と連携			事前学習 事後学習	事前配付資料を予習する 授業内容を振り返る	
	⑩	保育者の専門性と相談活動			事前学習 事後学習	事前配付資料を予習する 授業内容を振り返る	
	⑪	基礎的対人関係のトレーニング			事前学習 事後学習	事前配付資料を予習する 授業内容を振り返る	
	⑫	事例 1 虐待が疑われる子ども			事前学習 事後学習	事前配付資料を予習する 授業内容を振り返る	
	⑬	事例 2 障害のある子ども			事前学習 事後学習	事前配付資料を予習する 授業内容を振り返る	
	⑭	事例 3 保護者からの相談			事前学習 事後学習	事前配付資料を予習する 授業内容を振り返る	
⑮	定期試験・まとめ			事前学習 事後学習	これまでの学びを確認する 試験及び授業全体を振り返る		
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> 実際の場面を想像して当事者意識を持って学ぶこと。 積極的に発言や質問を行い、主体的な学びに務めること。 						
成績評価の方法	定期試験(70%) 平常点(提出物、受講態度等)(30%)			教科書	なし		
				参考資料	毎回の授業で資料を配布する(以下資料作成に使用する参考文献) 『子どもの理解と保育・教育相談 第2版』 『幼稚園版スクールカウンセラー導入・活用・実践ガイド』 『発達障害支援ハンドブック』 『ひと目でわかる 保護者のための子ども家庭福祉データブック2023』 『新版K式発達検査2020 実践手引書』		

シラバス(授業計画)

部	夜間部	学期	集中	授業形態	実習	単位数	2単位	
科目名	教育実習 I			担当教員	瀬木 ゆかり	幼稚園教諭・保育士として実務経験有		
全体目標	<ul style="list-style-type: none"> 意識的に学び子ども理解を深める。 幼稚園の役割や保育者の職務を知る。 教材研究・ピアノの練習等、事前準備をすることの大切さに気付き、積極的に実践する。 							
一般目標	<ul style="list-style-type: none"> 幼稚園の行事を知り、「ねらい」をしっかりと理解した上で、準備・行事での保育の補助・片付けを体験する。 							
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> 実習での自分の反省点や課題を見つけて今後の保育につながるようにする。 PDCAサイクルに当てはめて、実習内容や記録をしっかりと振り返る。 							
授業のながれ	<ul style="list-style-type: none"> 実習の期間 後期12月1週間実施。 実習の内容 観察実習・参加実習を中心に行う。 朝の会、帰りの会、給食等の部分実習やピアノ伴奏等については積極的に随時行う。 状況に応じて指導(部分)実習行うこともある。 事前訪問 実習開始の約3週間前までに実施。 実習園の概要および実習方針や実習クラスの子どもの様子を知る。 実習に臨む上で必要なことや準備することについて学ぶ。 実習園訪問指導 実習担当教員を中心に本校教員が実習期間中に実習園を訪問する。教員と園長・実習担当教諭等との面談終了後、実習生は現地で本校教員の指導を受ける。 事後訪問 実習終了後すみやかに実施。(実習園の指示に従う) 最終日の実習記録や振り返り等を記載し、実習園に原則持参する。 							
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> 規則正しい生活を送り、心身ともに健康に留意する。 社会人としてのマナーを守り、保育者としての心構えを持つ。 実習園と学校に必要なに応じて「報告・連絡・相談」をする。 実習園で知り得た個人情報の守秘義務を遵守する。 教材研究・ピアノ等の事前準備を行ったうえで能動的に実習に臨むこと。 事後訪問終了後、速やかに「実習記録」や指示された書類を提出すること。 <p>注：本校が定める「実習履修基準」により履修の可否を判断する。 実習に臨む姿勢や未提出課題等のより事前準備が整わない場合は、実習を見送ることがある。</p>							
成績評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> 実習前や実習後に指示された課題や提出すべき書類等、実習前後の内容や取り組みについて評価する 実習園の評価を基にオリエンテーション、事前準備、実習記録や提出書類等、実習園訪問指導時の状況や実習後を含む実習の取り組みを総合的に勘案して評価する 最終的には教育実習 I・II および教育実習事前事後指導の授業を合わせて評価する 			教科書	「教育・保育実習テキスト」 「幼稚園教育要領」「幼保連携型認定こども園教育保育要領」 「保育の活動・遊び パーフェクトガイド」小山朝子他 わかば社			
				参考資料	実習関係書類 「幼稚園教育要領解説」 「幼保連携型認定こども園教育保育要領解説」 「保育所保育指針」「保育所保育指針解説」			

シラバス(授業計画)

部	夜間部	学期	半期	授業形態	実習	単位数	0.5単位
科目名	教育実習事前事後指導 I			担当教員	瀬木 ゆかり	幼稚園教諭・保育士として実務経験有	
全体目標	幼稚園・幼保連携型認定こども園について理解する 実習に必要な基礎的事項を具体的に理解する 情報機器や教材を活用して実践力を身につけられるようにする						
一般目標	教育実習の意義、目的、方法を理解する 実習を行う上での必要な知識や技術を学ぶ 実習で実践に繋がるような事前準備や練習を行い実践力を高める						
到達目標	子ども理解、保育方法、内容等と実習での実践的な経験が結びつき理解を深める 保育者として必要な専門知識を身につける 実習の計画、実践、評価、修正(PCDAサイクル)について理解して、次へつなげる						
授業のながれ	回数	[授業内容]			課外学習		
	①	オリエンテーション(教育実習とは) DVD「幼稚園の一日」 実習生に求められる姿勢や態度/目標の明確化「私の心構え」の作成			事前学習 事後学習	テキスト「第1章」「第2章」を読んでおく 「幼稚園教育要領」の総則を読んで理解する	
	②	保育体験「はじめの一步」(1) 幼稚園の主活動の理解を深める			事前学習 事後学習	テキスト「第3章」を読んでおく 教育実習の流れを理解する	
	③	保育体験「はじめの一步」(2) 実践内容から実習記録を作成 活動のねらいを考える			事前学習 事後学習	どのような保育者になりたいのかまとめておく 実習で学びたいことを明確にしておく	
	④	実習に向けて(1) 実習記録について 環境構成、子どもの姿、保育者の意図			事前学習 事後学習	実習記録の内容を把握する 実習記録の書き方を理解するを作成する	
	⑤	実習に向けて(2) 実習記録について 手遊び・絵本準備 朝の会、昼食、帰りの会、活動のねらいを考える			事前学習 事後学習	実習記録の内容を把握する 実習記録の書き方を理解するを作成する	
	⑥	事前訪問について(1)書類の作成(個人票・誓約書 等) 事前訪問の意義・電話のかけ方・持ち物			事前学習 事後学習	個人個票、誓約書の下書き 事前訪問について確認する	
	⑦	事前訪問について(2)実習書類の準備と確認 指導(部分)計画「手遊び・絵本」			事前学習 事後学習	事前訪問時の質問内容等について考えておく 「指導計画」を立てる	
	⑧	実習に向けて(3)主活動 指導(部分)計画「製作・集団遊び」			事前学習 事後学習	主活動について理解する 実習で実施できる製作・集団遊びを考える	
	⑨	実習に向けて(4)エピソード記録 DVD「遊びこそ豊かな学び」子どもの姿を観察する			事前学習 事後学習	記入方法でわからないことを明確にしておく 「園児観察記録」の書き方を理解する	
	⑩	実習直前指導(1) 実習最終確認・注意事項 週指導案 実習予定表 など			事前学習 事後学習	実習中から実習後の流れを理解する 実習中、実習後の準備を進める	
	⑪	実習直前指導(2) 実習最終確認・注意事項 記録・準備・お礼状・事後訪問 など			事前学習 事後学習	実習中から実習後の流れを理解する 事後訪問・お礼状の内容を把握する	
	⑫	事後指導(1) 振り返り用紙の記入			事前学習 事後学習	提出すべき書類を整えて見直す 「保育者として必要なことはなにか」まとめる	
	⑬	事後指導(2) 経験交流、自己評価			事前学習 事後学習	自分の学んだことや課題を明確にしておく 経験交流することで学びを深める	
	⑭	授業内容の振り返り 実習課題の明確化 DVD「主体的な遊びで育つ子ども」			事前学習 事後学習	これまでの学習の振り返り 実際の場面と結びつけて考えられるようにする	
⑮	試験・まとめ			事前学習 事後学習	教育実習や習ってきたことの理解を深める 今後の実習への課題を見つけて振りかえる		
学習上の留意点	授業には積極的に取り組み、事前準備や習ったことを復習して理解を深める努力をすること 子どもや幼児教育に関心を持ち、保育者を目指すものとして自覚を持って学ぶこと 日頃から「幼稚園教育要領」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」を見ること 提出物は丁寧に記述し、見直したうえで必ず期限内に提出すること						
成績評価の方法	定期試験50% 提出物・平常点(授業参加状況・参加態度)50% 以上を総合的に評価する			教科書	「教育・保育実習テキスト」 「幼稚園教育要領」 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」 「保育の活動・遊び パーフェクトガイド」小山朝子他 わかば社		
				参考資料	「幼稚園教育要領解説」 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」 「保育所保育指針」「保育所保育指針解説」		

シラバス(授業計画)

部	夜間部	学期	集中	授業形態	実習	単位数	2単位			
科目名	教育実習Ⅱ			担当教員	瀬木 ゆかり	幼稚園教諭・保育士として実務経験有				
全体目標	<ul style="list-style-type: none"> 教育実習Ⅰでの課題を改善し、授業と実習とを関連づけて知識・技術を深める。 指導案作成・教材研究・ピアノの練習等、事前準備をすることの大切さに気づき、積極的に実践する。 									
一般目標	<ul style="list-style-type: none"> 教育実習事前事後指導や保育内容等の授業で学んだことを反映させて、意欲的に取り組む中で保育の質を高める。 子どもの姿を丁寧に観察したことに基づいて、ねらいを設定し、「指導計画」を作成する。 									
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> 自分の反省点や課題を見つけて、今後の保育につながるようにする。 PDCAサイクルに当てはめて、毎日の実習記録や指導計画をしっかりと振り返る。 									
授業の内容	<ul style="list-style-type: none"> 実習の期間 前期9月末から2週間実施。 実習の内容 実習園の指示に従い、指導計画を作成しない指導(部分)実習に加え、指導実習(一日・半日・部分)を行う。 状況に応じて指導実習は、半日・部分を複数回行うこともある。 朝の会、帰りの会、給食等の部分実習やピアノ伴奏については積極的に随時行う。 事前訪問 実習開始の約3週間前までに実施 実習園の概要および実習方針や実習クラスの子どもの様子を知る。 実習に臨む上で必要なことや準備することについて学ぶ。 実習園訪問指導 実習担当教員を中心に本校教員が実習期間中に実習園を訪問する。教員と園長・実習担当教諭等との面談終了後、実習生は現地で本校教員の指導を受ける。 事後訪問 実習終了後すみやかに実施。(実習園の指示に従う) 最終日の実習記録や振り返り等を記載し、実習園に原則持参するが、諸事情で困難な場合は、郵送などの手段を用いる。 									
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> 規則正しい生活を送り、心身ともに健康に留意する。 社会人としてのマナーを守り、保育者としてふさわしい態度で臨む。 実習園と学校に必要なに応じて「報告・連絡・相談」をする。 実習園で知り得た個人情報の守秘義務を遵守すること。 指導案作成・教材研究・保育方法・ピアノ等の事前準備を行ったうえで能動的に実習に臨むこと。 事後訪問終了後、速やかに「実習記録」や指示された書類を提出すること。 注: 本校が定める「実習履修基準」により履修の可否を判断する。 実習に臨む姿勢や未提出課題等の事前準備が整わない場合は、実習を見送ることがある。 									
成績評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> 実習前や実習後に指示された課題や提出すべき書類等、実習前後の内容や取り組みについて評価する 実習園の評価を基にオリエンテーションや事前準備、実習記録や提出書類等、実習園訪問指導時の状況や実習後を含む実習の取り組みを総合的に勘案して評価する 最終的には教育実習Ⅰ・Ⅱおよび教育実習事前事後指導の授業を合わせて評価する 	教科書	『教育・保育実習テキスト』 『幼稚園教育要領』『幼稚園教育要領解説』 『幼保連携型認定こども園教育保育要領』 『幼保連携型認定こども園教育保育要領解説』 『保育の活動・遊び パーフェクトガイド』小山朝子他 わかば社					参考資料	実習関係書類 幼稚園教育要領解説 幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説	

シラバス(授業計画)

部	夜間部	学期	半期	授業形態	実習	単位数	0.5単位
科目名	教育実習事前事後指導Ⅱ			担当教員	瀬木 ゆかり	幼稚園教諭・保育士として実務経験有	
全体目標	「幼稚園教育要領」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」についての理解を深める 情報機器や教材を活用し、実践力を身につけられるようにする 実習の計画、観察、記録の内容や方法について具体的に理解して実践する。						
一般目標	保育者に求められる資質や専門性について学ぶ 実習の計画、実践、評価、修正(PDCAサイクル)の流れで進めて次につなげていく 指導実習に向けて、「指導計画」立案や活動に対しての実践力を身につける						
到達目標	「幼稚園教育要領」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」についての理解を深める 子どもの見方やかかわり方など、様々な角度から考えられるようになる 保育者に求められる資質や専門性について学び、自己課題を明確にする						
授業のながれ	回数	[授業内容]			課外学習		
	①	教育実習Ⅱに向けての心構えと事前準備 実習記録用紙の書き方・データ化について			事前学習	教育実習を終えてを見直し課題を明確にする	
					事後学習	教育実習Ⅰの記録や書類を見直す。	
	②	事前訪問について 実習書類の準備 心構え(実習目標・実習課題)・誓約書・個人票			事前学習	実習生個人票の下書きをする	
					事後学習	実習で学びたいことを明確にし心構え作成。	
	③	事前訪問について 書類・事前訪問内容の確認			事前学習	事前訪問で行うことを明確にしておく	
					事後学習	書類を整え、気持ちを整える	
	④	記録の記入(1)実習記録 教育実習1を踏まえ、実習記録の確認・課題			事前学習	教育実習1実習記録を見直す	
					事後学習	主体的な遊びについて理解を深める	
	⑤	記録の記入(2)実習記録 保育者の意図を読みとる			事前学習	子どもの主体性について考える	
					事後学習	指導実習について理解を深める	
	⑥	記録の記入(3)指導計画 DVD「続保育者をめざすあなたへ第2巻」			事前学習	「指導実習」で行う活動を調べておく	
					事後学習	様々な「製作」について保育雑誌から調べる	
	⑦	記録の記入(4)指導計画 子どもの姿から「ねらい」を考えて指導計画を作成する			事前学習	「指導実習」で行う活動を調べておく	
					事後学習	様々な「遊び」について調べる	
⑧	記録の記入(5)子ども理解 記録から子どもの育ちや思いを読みとる			事前学習	「指導計画」をある程度仕上げる		
				事後学習	作成した「指導計画」の内容を省察する		
⑨	記録の記入(6)エピソード記録の書き方の復習 子どもの活動(姿)から「エピソード記録」を作成する			事前学習	子ども理解の視点を確認する		
				事後学習	子どもたちに読みたい絵本や手遊びの練習		
⑩	実習直前指導(1)実習記録・準備・お礼状・事後訪問 事後訪問への臨み方 手遊びの発表			事前学習	実習に臨む心構えを再確認しておく		
				事後学習	実習で子どもたちの前で披露できるものを準備		
⑪	実習直前指導(2)事後訪問・お礼状・実習を終えて 事後訪問・実習を振り返る・印象に残ったエピソードを記入			事前学習	事後訪問に抜けて「実習記録」を整える		
				事後学習	実習を終えてを記入する		
⑫	事後指導(1)振り返りに基づく自己評価 「教育実習を終えて」 経験交流 課題を明確にしておく			事前学習	経験交流ができるように意見をまとめておく		
				事後学習	PDCAサイクルをもとに振り返る		
⑬	事後指導(2)今後の自己課題 保育者の専門性について DVD「遊び保育の実際」 グループワーク			事前学習	学んだことを復習しておく		
				事後学習	様々な保育観があることを知る		
⑭	教育実習のまとめ 今後の実習に向けて 今後の課題と改善方法を明確にする・乳幼児の子ども理解			事前学習	実習での自分の課題を明確にする		
				事後学習	3法令の共通するところやポイントを理解する		
⑮	試験・まとめ 振り返り			事前学習	学んだことを振り返る		
				事後学習	今後の課題を見つけて学びを深める		
学習上の留意点	授業には積極的に取り組み、事前準備や習ったことを復習して理解を深める努力をすること 子どもや幼児教育に関心を持って、保育者を目指すものとして自覚を持って学ぶこと 日頃から「幼稚園教育要領」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」を見るようにすること 提出物は丁寧に記述し、見直したうえで必ず期限内に提出すること						
成績評価の方法	定期試験50% 提出物・平常点(授業参加状況・参加態度)50% (授業内での取り組み、グループワーク、レポート等) 以上を総合的に評価する			教科書	『教育・保育実習テキスト』 『幼稚園教育要領』 『幼保連携型認定こども園教育・保育要領』 『保育の活動・遊び パーフェクトガイド』小山朝子他 わかば社		
				参考資料	『幼稚園教育要領解説』 『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』 『保育所保育指針』『保育所保育指針解説』		

シラバス(授業計画)

部	夜間部	学期	半期	授業形態	演習		単位数	2単位
科目名	教職実践演習			担当教員	須田昂宏・伊藤直		幼稚園教諭として実務経験有	
全体目標	教職課程の他の授業科目の履修や教職課程外での様々な活動で学んだことを振り返り、教員としての資質・能力として統合し、全学年を通じた「学びの軌跡の集大成」をする。							
一般目標	講義、模擬保育を通じて、教職課程の学びの集大成をはかる。							
到達目標	① 使命感・責任感・豊かな感性を持ち、愛情豊かに子どもに接することができる ② 社会性や対人関係能力を身につけ、子ども・保護者・職員などと信頼関係を築くことができる ③ 子どもを理解し、意欲的で活気のあるクラス運営・集団づくりをする力をつける ④ 図画工作、ピアノ伴奏などの保育の表現技術や、保育内容の指導力、計画立案や説明する力をつける							
授業のながれ	回数	[授 業 内 容]			課外学習			
	① ガイダンス(授業内容の説明)	事前学習	シラバスを確認する		事後学習	授業内容を復習する		
	② 模擬保育を実施するにあたって(指導案作成)	事前学習	実習を振り返る		事後学習	授業内容を復習する		
	③ 模擬保育を実施するにあたって(準備)	事前学習	実習を振り返る		事後学習	授業内容を復習する		
	④ 保育者の職務の実践的理解(1)学級運営	事前学習	実習を振り返る		事後学習	授業内容を復習する		
	⑤ 保育者の職務の実践的理解(2)安全管理	事前学習	実習を振り返る		事後学習	授業内容を復習する		
	⑥ 保育者の職務の実践的理解(3)危機管理	事前学習	実習を振り返る		事後学習	授業内容を復習する		
	⑦ 保育者の職務の実践的理解(4)子ども理解	事前学習	実習を振り返る		事後学習	授業内容を復習する		
	⑧ 保育者の職務の実践的理解(5)子どもとの関わり方	事前学習	実習を振り返る		事後学習	授業内容を復習する		
	⑨ 模擬保育1(日常保育)—国語に関するもの—	事前学習	模擬保育の準備をする		事後学習	授業内容を復習する		
	⑩ 模擬保育2(日常保育)—算数に関するもの—	事前学習	模擬保育の準備をする		事後学習	授業内容を復習する		
	⑪ 模擬保育3(日常保育)—生活に関するもの—	事前学習	模擬保育の準備をする		事後学習	授業内容を復習する		
	⑫ 模擬保育4(日常保育)—音楽に関するもの—	事前学習	模擬保育の準備をする		事後学習	授業内容を復習する		
	⑬ 模擬保育5(日常保育)—図画工作に関するもの—	事前学習	模擬保育の準備をする		事後学習	授業内容を復習する		
	⑭ 模擬保育6(日常保育)—体育に関するもの—	事前学習	模擬保育の準備をする		事後学習	授業内容を復習する		
	⑮ 総まとめ(自己課題についてまとめ、試験)	事前学習	授業内容を振り返る		事後学習	授業全体を振り返る		
学習上の留意点	・授業(演習)には積極的に取り組むこと。 ・演習での取り組みや気づきは演習中の記録とは別に、各自、振り返ることができるようにしておくこと。 ・進んで意見を述べたり、講評をしたりするように心がけること。							
成績評価の方法	試験 40%			教科書	特に指定しない			
	模擬保育での発表 40% 提出物 20% ※履修カルテの提出がない場合はD評価				参考資料 「幼稚園教育要領」「幼稚園教育要領解説」「保育所保育指針」「保育所保育指針解説」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」			

シラバス(授業計画)

部	夜間部 午後コース	学期	半期	授業形態	講義	単位数	2単位
科目名	保育原理 I			担当教員	吉村 壽子	保育士として 実務経験有	
全体目標	今日の子どもの置かれた状況を知り、保育の意義について、乳幼児期の特性などを学び、保育観や子ども観を養い、視野を広げていくことを目的とする。						
一般目標	<ul style="list-style-type: none"> ・さまざまな子どもに目を向け、「保育」を考える基本的な視点を学び理解する。 ・幼稚園、保育所の歴史を踏まえ、「保育」の役割、現状と課題を学び、考え、これからの保育のあり方を考えられるようになる。 						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・保育の概念、実態の概要をつかみ、「保育とは何か」を明確に述べる。 ・保育の全体構造を理解し、子どもの理解や保育の方法を学ぶ。 ・保育者の役割について考える。 						
授 業 の な が れ	回数	[授 業 内 容]			課外学習		
	①	保育とは何か			事前学習	シラバスを下読みする	
					事後学習	リアクションペーパーに記入する	
	②	現代社会と子どもの育ち			事前学習	現代社会での子どもの育ちを考える	
					事後学習	リアクションペーパーに記入する	
	③	保育を担う施設について			事前学習	配布プリントの下読みをする	
					事後学習	リアクションペーパーに記入する	
	④	保育の基本			事前学習	配布プリントの下読みをする	
					事後学習	リアクションペーパーに記入する	
	⑤	保育の目標と内容			事前学習	配布プリントの下読みをする	
					事後学習	リアクションペーパーに記入する	
	⑥	保育の方法と進め方			事前学習	配布プリントの下読みをする	
					事後学習	リアクションペーパーに記入する	
	⑦	保育者に求められるもの—資質と専門性—			事前学習	保育者の役割について考える	
					事後学習	リアクションペーパーに記入する	
⑧	保育の計画と保育の質の向上			事前学習	配布プリントの下読みをする		
				事後学習	リアクションペーパーに記入する		
⑨	世界の保育の歴史を学ぶ			事前学習	配布プリントの下読みをする		
				事後学習	リアクションペーパーに記入する		
⑩	日本の保育の歩み			事前学習	配布プリントの下読みをする		
				事後学習	リアクションペーパーに記入する		
⑪	保育に求められる子ども観・発達観			事前学習	子ども観・発達観について考える		
				事後学習	リアクションペーパーに記入する		
⑫	大切な子育て支援と地域連携			事前学習	子育て支援について考える		
				事後学習	リアクションペーパーに記入する		
⑬	海外の保育に目を向けてみる			事前学習	配布プリントの下読みをする		
				事後学習	リアクションペーパーに記入する		
⑭	保育をめぐるこれからの課題について			事前学習	配布プリントの下読みをする		
				事後学習	リアクションペーパーに記入する		
⑮	試験・まとめ			事前学習	授業内容の復習をする		
				事後学習	試験内容について振り返る		
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・各学習内容について調べること、考えること、意見を共有することなどを中心に積極性をもって学習に取り組みましょう。 ・日頃から子どもを取り巻く環境に興味関心を向けるようにしましょう。 						
成績評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・授業参加状況、受講態度 20% ・提出、発表 20% ・試験 60% 			教科書	『私の歩んだ道』吉村壽子 毎回プリントを配布する 『保育所保育指針』『幼保連携型認定こども園教育・保育要領』 『幼稚園教育要領』及び各解説書		
				参考資料	実践を創造する『保育原理』(株)みらい		

シラバス(授業計画)

部	夜間部	学期	半期	授業形態	講義	単位数	2単位
科目名	保育原理Ⅱ			担当教員	安江 秋		
全体目標	・「保育とは何か」「保育者に求められる専門性とは何か」について自分なりの考えを持てるようになる。						
一般目標	・諸外国の保育制度の成立の過程について、その原点を中心に学び、日本の保育の現状と課題を理解する。 ・諸外国から導入された独特な保育方法について概要を知り、その長所と短所について考察する。						
到達目標	・「子どもの人権を尊重した」保育の方法、制度はどうあるべきかについて自分なりの考えを持っている。						
授 業 の な が れ	回数	[授 業 内 容]			課外学習		
	①	オリエンテーション/保育原理Ⅰの振り返り			事前学習	保育原理Ⅰで学んだ事をまとめてくる	
					事後学習	授業内容を振り返る	
	②	諸外国の教育思想1 コメニウス/ルソー/ペスタロッチ			事前学習	予告された内容について考えてくる	
					事後学習	小テストに備えて復習	
	③	諸外国の教育思想2 フレーベル (演習: 恩物<積木>)			事前学習	予告された内容について考えてくる	
					事後学習	小テストに備えて復習	
	④	諸外国の教育思想3 フレーベル(演習: 手技<切り紙>)			事前学習	予告された内容について考えてくる	
					事後学習	学習を振り返りレポートにまとめる	
	⑤	諸外国の教育思想4 モンテッソーリメソッド			事前学習	予告された内容について考えてくる	
					事後学習	授業内容を振り返る	
	⑥	モンテッソーリメソッドの実際1 (講義: 3歳未満の保育の理論と方法について)			事前学習	予告された内容について考えてくる	
					事後学習	授業内容を振り返る	
	⑦	モンテッソーリメソッドの実際2 (講義: 3歳以上の保育の理論と方法について)			事前学習	予告された内容について考えてくる	
					事後学習	授業内容を振り返る	
	⑧	モンテッソーリメソッドの実際3 (演習: 3歳未満対象の教具)			事前学習	予告された内容について考えてくる	
				事後学習	授業内容を振り返る		
⑨	モンテッソーリメソッドの実際4 (演習: 3歳以上対象の教具)			事前学習	予告された内容について考えてくる		
				事後学習	学習を振り返りレポートにまとめる		
⑩	西洋の幼児音楽教育メソッド ダルクロワズ/コダーイ/オルフシュール・ベルク			事前学習	予告された内容について考えてくる		
				事後学習	学習を振り返りレポートにまとめる		
⑪	諸外国における幼児教育思想・制度の成り立ち1			事前学習	予告された内容について考えてくる		
				事後学習	学習を振り返りレポートにまとめる		
⑫	諸外国における幼児教育思想・制度の成り立ち2			事前学習	予告された内容について考えてくる		
				事後学習	学習を振り返りレポートにまとめる		
⑬	諸外国における幼児教育思想・制度の成り立ち3			事前学習	予告された内容について考えてくる		
				事後学習	学習を振り返りレポートにまとめる		
⑭	諸外国における幼児教育思想・制度の成り立ち4			事前学習	予告された内容について考えてくる		
				事後学習	学習を振り返りレポートにまとめる		
⑮	試験・まとめ			事前学習	試験に備えて総復習してくる。		
				事後学習	今後の課題を明らかにする		
学習上の留意点	* 保育思想・メソッドにてについては①「いつ」②「どこで」③「誰が(関係する人物の名前、職業、著作)」④「何を(その人物が創った施設の名前、特徴など)」⑤「なぜ、何のために(その施設を創った目的・理由)」⑥「どのように(保育の特色など)を、メモしながら読むこと。小テストのための復習も上記と同様のポイントを勉強してこること。						
成績評価の方法	講義中に課したレポート・小テスト 30%			教科書	使用しない。講義の時に資料を配布する。		
	講義への取り組み(参加姿勢・受講態度) 20%				参考資料	乙訓稔『西洋近代幼児教育思想史』(東信堂), 玉成恩物研究会『フレーベルの恩物であそぼう』(フレーベル館), 相良敦子『ママ、ひとりですのを手伝ってね!』(講談社)	
最終試験(小テストの問題の総まとめ・論述問題は講義中のレポートから出題する) 50%							

シラバス(授業計画)

部	夜間部	学期	半期	授業形態	講義	単位数	2単位
科目名	子ども家庭福祉			担当教員	横井 直子	児童養護施設職員として実務経験有	
全体目標	子どもと家庭の現状と課題・展望について考え、福祉の専門職としての保育者の役割や専門性について考える。						
一般目標	現代社会における子ども家庭福祉の意義、現状と課題について理解する。 子どもの人権擁護について理解する。						
到達目標	子ども家庭福祉の歴史的変遷を踏まえ、制度や法律を知り、体系的に子ども家庭福祉サービスの基礎理論を理解する。						
授業のながれ	回数	[授 業 内 容]			課外学習		
	①	子ども家庭福祉の理念と概念 現代社会と子ども家庭福祉			事前学習	教科書P.10～P.13、20～24	予習
					事後学習	理念と概念、現代社会と子ども家庭福祉の復習	
	②	子ども家庭福祉の歴史的変遷、諸外国の動向			事前学習	教科書P.14～P.19	予習
					事後学習	歴史的変遷、諸外国の動向の復習	
	③	子どもの人権擁護			事前学習	教科書P.26～P.35	予習
					事後学習	子どもの人権擁護の復習	
	④	子どもの家庭福祉の制度と実施体制			事前学習	教科書P.36～P.45	予習
					事後学習	制度と実施体制の復習	
	⑤	子ども家庭福祉の施設と専門職			事前学習	教科書P.46～P.57	予習
					事後学習	施設と専門職の復習	
	⑥	母子保健と子育て支援サービス			事前学習	教科書P.58～P.65	予習
					事後学習	母子保健と子どもの健全育成の復習	
	⑦	多様な保育へのニーズへの対応			事前学習	教科書P.66～P.71	予習
					事後学習	多様な保育へのニーズへの対応の復習	
⑧	中間学習確認(レポートまたは簡易テスト)			事前学習	①～⑦の授業の復習		
				事後学習	未獲得箇所の復習		
⑨	貧困家庭、外国籍の子どもとその家庭等への対応			事前学習	教科書P.72～P.75、80～85	予習	
				事後学習	貧困家庭、外国籍の子どもとその家庭への対応の復習		
⑩	子ども虐待・ドメスティックバイオレンスとその防止			事前学習	教科書P.76～P.79	予習	
				事後学習	虐待・DVとその防止の復習		
⑪	社会的養護			事前学習	教科書P.86～P.89	予習	
				事後学習	社会的養護の復習		
⑫	障害のある子どもへの対応			事前学習	教科書P.90～P.93	予習	
				事後学習	障害のある子どもへの対応の復習		
⑬	少年非行等への対応、子どもを取り巻く現状と課題			事前学習	教科書P.94～P.97、104～121	予習	
				事後学習	子どもを取り巻く現状の復習		
⑭	次世代育成支援と子ども家庭福祉の推進 地域における連携・協働とネットワーク			事前学習	教科書P.122～P.135	予習	
				事後学習	次世代育成支援と地域との連携とネットワークの復習		
⑮	定期試験・講評			事前学習	これまでの学びの復習及び確認		
				事後学習	講評の内容の整理と把握		
学習上の留意点	・毎回教科書を持参し、配布されたプリントはファイルに綴じること。						
成績評価の方法	定期試験	60%	教科書		蒲田雅夫編著 『新・子ども家庭福祉-私たちは子どもに何ができるか-』 教育情報出版		
	中間学習確認	30%					
	受講態度	10%	参考資料		石垣儀郎 編集 「援助者を目指す人の社会福祉」 株式会社 創成社		

シラバス(授業計画)

部	夜間部 午後コース	学期	半期	授業形態	講義	単位数	2単位
科目名	社会福祉			担当教員	岡本 育大	就労移行支援事業所職員として実務経験有	
全体目標	保育専門職として求められる社会福祉についての知識と実践技術を学ぶ。						
一般目標	①子どもの育ちを支援するために、社会福祉の意義・制度・実施体系について理解する。 ②ソーシャルワークについて理解し、実際の保育現場で活用できるよう準備する。						
到達目標	①社会福祉の意義・制度・実施体系について説明することができる。 ②事例をジェノグラムやエコマップを描いて整理することができる。 ③現代社会における福祉の役割を知り、自らが困ったときに相談・利用できるようになる。						
授業のながれ	回数	[授 業 内 容]			課外学習		
	①	社会福祉の理念と概念			事前学習	保育者が福祉を学ぶ理由を考える	
					事後学習	復習課題に取り組む	
	②	社会福祉の歴史の変遷			事前学習	予習課題に取り組む	
					事後学習	復習課題に取り組む	
	③	社会福祉の制度と実施体系			事前学習	予習課題に取り組む	
					事後学習	復習課題に取り組む	
	④	現代日本における社会保障			事前学習	予習課題に取り組む	
					事後学習	復習課題に取り組む	
	⑤	少子化社会における子ども家庭福祉			事前学習	予習課題に取り組む	
					事後学習	復習課題に取り組む	
	⑥	超高齢社会における高齢者の生活と福祉			事前学習	予習課題に取り組む	
					事後学習	復習課題に取り組む	
	⑦	共生社会における障害者の自立と福祉			事前学習	予習課題に取り組む	
					事後学習	復習課題に取り組む	
⑧	多文化社会における地域福祉			事前学習	予習課題に取り組む		
				事後学習	復習課題に取り組む		
⑨	権利擁護と利用者保護			事前学習	予習課題に取り組む		
				事後学習	復習課題に取り組む		
⑩	ソーシャルワークの歴史と理論			事前学習	予習課題に取り組む		
				事後学習	復習課題に取り組む		
⑪	ソーシャルワークの意義と機能			事前学習	予習課題に取り組む		
				事後学習	復習課題に取り組む		
⑫	ソーシャルワークの対象と過程			事前学習	予習課題に取り組む		
				事後学習	復習課題に取り組む		
⑬	ソーシャルワークの方法と技術			事前学習	予習課題に取り組む		
				事後学習	復習課題に取り組む		
⑭	社会福祉の動向と課題			事前学習	予習課題に取り組む		
				事後学習	復習課題に取り組む		
⑮	試験・まとめ			事前学習	試験勉強に取り組む		
				事後学習	授業全体の復習に取り組む		
学習上の留意点	自分やまわりの人が予期せぬ困難に直面したときのためにも、積極的に学習に励みましょう。 不定期に小テストを行いますので、毎回復習をしておいてください。						
成績評価の方法	定期試験 50% 小テスト 35% 授業参加状況や受講態度 15%			教科書	大久保秀子(2025) 『新・社会福祉とは何か 第5版』中央法規出版		
				参考資料	授業内で紹介する		

シラバス(授業計画)

部	夜間部	学期	半期	授業形態	講義	単位数	2単位
科目名	社会福祉			担当教員	武弘 和通	児童養護施設職員として実務経験有	
全体目標	社会福祉の側面から、「保育の専門職」として社会から求められる役割や専門性について学ぶ。ソーシャルワークを実践するために必要な基礎的知識を学ぶ。						
一般目標	① 社会福祉の概念や、社会制度として社会福祉、その実施体系について学ぶ。 ② 社会福祉における子ども家庭支援の視点について理解する。 ③ 社会福祉の動向や課題について理解する。						
到達目標	社会福祉の基礎を幅広く学び、子どもや家庭に起こりうる問題やそれに対応する社会制度、実践について理解を深める。						
授業のながれ	回数	[授 業 内 容]			課外学習		
	① 現代社会における社会福祉の意義	事前学習	事後学習	保育士が社会福祉を学ぶ理由を考察する	授業の資料・教科書の復習		
	② 社会福祉の一分野としての児童家庭福祉	事前学習	事後学習	教科書該当部分の下読み	授業の資料・教科書の復習		
	③ 児童の人権擁護と社会福祉	事前学習	事後学習	教科書該当部分の下読み	授業の資料・教科書の復習		
	④ 家庭支援と社会福祉	事前学習	事後学習	教科書該当部分の下読み	授業の資料・教科書の復習		
	⑤ 社会福祉の制度と法体系	事前学習	事後学習	教科書該当部分の下読み	授業の資料・教科書の復習		
	⑥ 社会福祉行政と実施機関	事前学習	事後学習	教科書該当部分の下読み	授業の資料・教科書の復習		
	⑦ 社会福祉施設等	事前学習	事後学習	教科書該当部分の下読み	授業の資料・教科書の復習		
	⑧ 社会福祉の専門職・実施者	事前学習	事後学習	教科書該当部分の下読み	授業の資料・教科書の復習		
	⑨ 社会保障および関係制度の概要	事前学習	事後学習	教科書該当部分の下読み	授業の資料・教科書の復習		
	⑩ I 相談援助の意義と原則 II 相談援助の方法と技術	事前学習	事後学習	教科書該当部分の下読み	授業の資料・教科書の復習		
	⑪ 社会福祉における利用者の保護にかかわるしくみ	事前学習	事後学習	教科書該当部分の下読み	授業の資料・教科書の復習		
	⑫ 少子高齢化社会への対応	事前学習	事後学習	教科書該当部分の下読み	授業の資料・教科書の復習		
	⑬ 社会福祉の推進とネットワーク	事前学習	事後学習	教科書該当部分の下読み	授業の資料・教科書の復習		
	⑭ 社会福祉の諸外国の動向	事前学習	事後学習	教科書該当部分の下読み	授業の資料・教科書の復習		
⑮ 試験・まとめ	事前学習	事後学習	教科書該当部分の下読み	授業の資料・教科書の復習			
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書を毎回持参すること。 ・適宜レポート課題や各種ワーク等を実施するので積極的に参加すること 						
成績評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・授業への取り組み、積極性 25% ・課題の提出状況、内容 25% ・最終試験 50% 			教科書	新基本保育シリーズ④ 「社会福祉」 中央法規出版		
				参考資料			

シラバス(授業計画)

部	夜間部 午後コース	学期	半期	授業形態	講義	単位数	2単位
科目名	子ども家庭支援論			担当教員	丹羽 加奈子	保育士として 実務経験有	
全体目標	現代の家族の社会的状況や子育てについての適切な支援のあり方を理解し、地域や関係機関と連携し、子どものための家庭支援の充実について理解する。						
一般目標	①家庭とその機能について理解する。 ②子育て家庭を取り巻く社会的状況について理解できる。 ③子育て家庭の支援体制について理解する。 ④子育て家庭への支援の展開と関係機関との連携について理解する。						
到達目標	①家庭の意義とその機能について理解できる。 ②子育て家庭を取り巻く社会的状況について理解できる。 ③子育て家庭への支援体制について理解できる。 ④他機関等の連携について理解できる。						
授業 の な が れ	回数	[授 業 内 容]			課外学習		
	① 子ども家庭支援の意義と目的 ・子ども家庭支援の意義、必要性 ・子ども家庭支援への期待	事前学習	教科書P6～P12を読んでおく	事後学習	授業内容を振り返る		
	② 子ども家庭支援の内容と対象 ・子ども家庭支援の内容 ・子育て支援の内容と対象	事前学習	教科書P14～P21を読んでおく	事後学習	授業内容を振り返る		
	③ 保育の専門性を生かした子ども家庭支援とその意義 ・保育の専門性と子育て支援 ・保育士に求められる家庭支援	事前学習	教科書P26～P34を読んでおく	事後学習	授業内容を振り返る		
	④ 子どもの育ちの喜びの共有 ・子どもの育ちと家庭支援 ・保育における子どもの育ちの喜びの共有	事前学習	教科書P38～P44を読んでおく	事後学習	授業内容を振り返る		
	⑤ 保護者および地域が有する子育てを自ら実践する力の向上に資する支援 ・保護者の理解 ・子育てを自ら実践する力の向上への支援	事前学習	教科書P48～P56を読んでおく	事後学習	授業内容を振り返る		
	⑥ 保育士に求められる基本的態度① ・受容的関わり ・保護者との相互理解 ・信頼関係	事前学習	教科書P60～P68を読んでおく	事後学習	授業内容を振り返る		
	⑦ 保育士に求められる基本的態度② ・関わりと信頼関係 ・関わりの方	事前学習	教科書P74～P84を読んでおく	事後学習	授業内容を振り返る		
	⑧ 家庭の状況に応じた支援 ・保育士が担う保育に関する子育て支援	事前学習	教科書P88～P98を読んでおく	事後学習	授業内容を振り返る		
	⑨ 地域の資源の活用と自治体・関係機関等との連携・協力 ・地域の資源の活用 ・自治体、関係機関等との連携・協力	事前学習	教科書P102～P108を読んでおく	事後学習	授業内容を振り返る		
	⑩ 子育て家庭の福祉を図るための社会資源 ・社会資源とは ・フォーマル、インフォーマルな社会資源	事前学習	教科書P116～P124を読んでおく	事後学習	授業内容を振り返る		
	⑪ 子育て支援施策・次世代育成支援施策の推進 ・子育て支援施策の流れ ・子ども、子育て支援新制度の概要	事前学習	教科書P128～P133を読んでおく	事後学習	授業内容を振り返る		
	⑫ 保育所等を利用する子ども家庭への支援 ・子ども家庭支援からみる保育所等の役割	事前学習	教科書P138～P150を読んでおく	事後学習	授業内容を振り返る		
	⑬ 地域の子育て家庭への支援 ・子育て家庭からみる地域の役割	事前学習	教科書P152～P164を読んでおく	事後学習	授業内容を振り返る		
	⑭ 要保護児童等およびその家庭に対する支援 子ども家庭支援に関する現状と課題	事前学習	教科書P166～P173を読んでおく	事後学習	授業内容を振り返る		
⑮ 試験・まとめ	事前学習	学んだことを復習する	事後学習	授業内容が実践につながるように復習する			
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・日頃から子どもを取り巻く社会の動きに関心を持ち、子育て家庭とのつながりを考え、自主学習をするなど意欲的に取り組むこと ・必要に応じて資料配布する。当日欠席した場合は、必ず取りにくること ・意見交換やグループワークには積極的に参加し、多様な意見や考え方を感じながら取り組むこと 						
成績評価の方法	定期試験	60%	教科書	「子ども家庭支援論 演習ブック」 株式会社 ミネルヴァ書房			
	提出物	10%		参考資料	保育所保育指針 幼保連携型認定こども園教育・保育要領		
	授業参加状況・課題	30%	(授業での取り組み・グループワーク・レポート作成 等)				
	以上を総合的に評価する						

シラバス(授業計画)

部	夜間部 夜間コース	学期	半期	授業形態	講義	単位数	2単位	
科目名	子ども家庭支援論			担当教員	武弘 和通	児童養護施設職員として 実務経験有		
全体目標	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て家庭に対する支援の意義・目的を理解する。 ・保育の専門性を活かした子ども家庭支援の意義と基本について理解する。 							
一般目標	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て家庭に対する支援の体制について理解する。 							
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て家庭のニーズに応じた多様な支援の展開と子ども家庭支援の現状、課題について理解する。 							
授業 の な が れ	回数	[授 業 内 容]			課外学習			
	①	子ども家庭支援の意義と必要性			事前学習	教科書該当部分の下読み		
					事後学習	授業の資料・教科書の復習		
	②	子ども家庭支援の目的と機能			事前学習	教科書該当部分の下読み		
					事後学習	授業の資料・教科書の復習		
	③	子育て支援施策・次世代育成支援施策の推進			事前学習	教科書該当部分の下読み		
					事後学習	授業の資料・教科書の復習		
	④	子育て家庭の福祉を図るための社会資源			事前学習	教科書該当部分の下読み		
					事後学習	授業の資料・教科書の復習		
	⑤	保育の専門性を活かした子ども家庭支援とその意義			事前学習	教科書該当部分の下読み		
					事後学習	授業の資料・教科書の復習		
	⑥	子どもの育ちの喜びの共有			事前学習	教科書該当部分の下読み		
					事後学習	授業の資料・教科書の復習		
	⑦	保護者および地域が有する子育てを自ら実践する力の向上に資する支援			事前学習	教科書該当部分の下読み		
					事後学習	授業の資料・教科書の復習		
⑧	保育士に求められる基本的な態度			事前学習	教科書該当部分の下読み			
				事後学習	授業の資料・教科書の復習			
⑨	家庭の状況に応じた支援			事前学習	教科書該当部分の下読み			
				事後学習	授業の資料・教科書の復習			
⑩	地域の資源の活用と自治体・関係機関等との連携・協力			事前学習	教科書該当部分の下読み			
				事後学習	授業の資料・教科書の復習			
⑪	子ども家庭支援の内容と対象			事前学習	教科書該当部分の下読み			
				事後学習	授業の資料・教科書の復習			
⑫	保育所等を利用する子どもの家庭への支援			事前学習	教科書該当部分の下読み			
				事後学習	授業の資料・教科書の復習			
⑬	地域の子育て家庭への支援			事前学習	教科書該当部分の下読み			
				事後学習	授業の資料・教科書の復習			
⑭	要保護児童およびその家庭に対する支援 子育て支援に関する課題と展望			事前学習	教科書該当部分の下読み			
				事後学習	授業の資料・教科書の復習			
⑮	定期試験・講評			事前学習	これまでの学びの復習及び確認			
				事後学習	講評の内容の整理と把握			
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・毎回必ず教科書を持参すること。 ・適宜グループワークなどを行うので、積極的に参加すること。 ・レポート課題が出されたときは、期日を守り、指定文字数の8割以上で作成し提出すること。 							
成績評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・定期試験 50% ・提出物 25% 			教科書	新基本保育シリーズ5 子ども家庭支援論 中央法規			
	上記に平常点(授業参加状況や受講態度等)25%を勘案して評価する。			参考資料				

シラバス(授業計画)

部	夜間部	学期	半期	授業形態	講義	単位数	2単位	
科目名	社会的養護 I			担当教員	横井 直子	児童養護施設職員として実務経験有		
全体目標	社会的養護が担う責任と役割を理解し、保育専門職としての質の向上を目指す。							
一般目標	社会的養護の現状と課題について学習する。 社会的養護における児童の権利擁護や倫理について学ぶ。							
到達目標	日常生活援助、治療的援助、法制度等について学び、代替的養育で行われる支援の在り方を学ぶ。							
授 業 の な が れ	回数	[授 業 内 容]			課外学習			
	①	現代社会における社会的養護のニーズ			事前学習 事後学習	社会的養護とは何か調べる 児童養護問題について調べる		
	②	社会的養護の歴史的変遷と理念と概念			事前学習 事後学習	児童福祉施設を創設した人物を調べる 社会的養護の理念を復習する		
	③	社会的養護における児童の権利擁護と倫理及び責務			事前学習 事後学習	子どもの権利条約について調べる 子どもの最善の利益についての復習		
	④	社会的養護に関わる法令・実施体制			事前学習 事後学習	児童福祉法について調べる 児童福祉法総則を読む		
	⑤	施設養護の基本原則と支援体制			事前学習 事後学習	社会的養護の原則を調べる 自立支援についての復習		
	⑥	施設養護の特性と実際(養護系施設)			事前学習 事後学習	児童福祉施設の種類を調べる 学習した施設についての復習		
	⑦	施設養護の特性と実際(障害・治療系施設)			事前学習 事後学習	障害の種類について調べる 学習した施設についての復習		
	⑧	中間学習確認(レポートまたは簡易テスト)			事前学習 事後学習	7回までの内容確認 理解不足の項目の復習		
	⑨	施設の運営管理			事前学習 事後学習	施設に勤める専門職を調べる 人権侵害防止について復習		
	⑩	家庭養護の特性と実際			事前学習 事後学習	ファミリーホームについて調べる 里親制度についての復習		
	⑪	社会的養護における専門知識 (虐待予防などに関する事項)			事前学習 事後学習	子ども虐待についての時事を調べる 虐待予防について考える		
	⑫	社会的養護における専門技術 (被虐待対応などに関する事項)			事前学習 事後学習	被虐待児について調べる 虐待対応についての復習		
	⑬	社会的養護と地域・在宅支援			事前学習 事後学習	地域・在宅支援に求められる役割とは何か調べる 地域の支援施設について調べる		
	⑭	社会的養護の課題			事前学習 事後学習	13回までの内容を振り返る 社会的養護で保育士に求められている事		
⑮	試験とまとめ			事前学習 事後学習	重要事項について説明できるよう整理する。 理解不足箇所の復習			
学習上の留意点	日常生活の中で子どもの福祉に関するニュースや課題などに関心を持って見ておくようにしてください 子どもの人権や権利擁護についても意識を持って臨んでください							
成績評価の方法	定期試験 60% 中間学習確認 30% 受講態度 10%			教科書	石垣儀郎 編集 「援助者を目指す人の社会福祉」 株式会社 創成社			
				参考資料	大竹智、山田利子 編 学ぶ・わかる・みえる シリーズ 保育と現代社会 保育と社会的養護 I 株式会社 みらい			

シラバス(授業計画)

部	夜間部 午後コース	学期	半期	授業形態	講義	単位数	2単位
科目名	子ども家庭支援の心理学 I			担当教員	近藤 万莉		
全体目標	生涯発達に関する心理学の基礎を踏まえ、家族・家庭の意義や機能を理解するとともに、子育て家庭をめぐる現状と課題、子どもの精神保健とその課題について理解する。						
一般目標	子どもの育ちに関する発達心理学的視点、および家族・家庭に関する社会学的視点を学ぶ。 保育者として子どもとその家庭を支援する際の基礎的な知識を習得する。						
到達目標	①生涯発達に関する心理学の基礎的な知識を獲得し、初期経験の重要性、発達課題等を理解する。 ②家族・家庭の意義や機能を理解し、子どもとその家庭を包括的に捉える視点を習得する。 ③子育て家庭をめぐる現代の社会的状況と課題について理解する。 ④子どもの精神保健とその課題について理解する。						
授業のながれ	回数	[授 業 内 容]			課外学習		
	①	オリエンテーション 発達理論とは			事前学習	シラバスを読む	
					事後学習	授業内容の振り返り	
	②	生涯発達(1) 乳児期の発達			事前学習	配布資料に目を通す	
					事後学習	授業内容の振り返り	
	③	生涯発達(2) 幼児期の発達			事前学習	配布資料に目を通す	
					事後学習	授業内容の振り返り	
	④	生涯発達(3) 学童期・青年期の発達			事前学習	配布資料に目を通す	
					事後学習	授業内容の振り返り	
	⑤	生涯発達(4) 成人期・老年期の発達			事前学習	配布資料に目を通す	
					事後学習	授業内容の振り返り	
	⑥	家族・家庭の理解(1) 家族・家庭の意義と機能			事前学習	配布資料に目を通す	
					事後学習	授業内容の振り返り	
	⑦	家族・家庭の理解(2) 親子関係・家族関係の理解			事前学習	配布資料に目を通す	
					事後学習	授業内容の振り返り	
⑧	家族・家庭の理解(3) 子育て経験と親としての育ち			事前学習	配布資料に目を通す		
				事後学習	授業内容の振り返り		
⑨	子育て家庭に関する現状と課題(1) 子育てを取り巻く社会的状況			事前学習	配布資料に目を通す		
				事後学習	授業内容の振り返り		
⑩	子育て家庭に関する現状と課題(2) ライフコースと仕事・子育て			事前学習	配布資料に目を通す		
				事後学習	授業内容の振り返り		
⑪	子育て家庭に関する現状と課題(3) 多様な家族とその理解			事前学習	配布資料に目を通す		
				事後学習	授業内容の振り返り		
⑫	子育て家庭に関する現状と課題(4) 特別な配慮を要する家庭			事前学習	配布資料に目を通す		
				事後学習	授業内容の振り返り		
⑬	子どもの精神保健とその課題(1) 子どもの生活・生育環境とその影響			事前学習	配布資料に目を通す		
				事後学習	授業内容の振り返り		
⑭	子どもの精神保健とその課題(2) 子どもの心の健康に関わる問題			事前学習	配布資料に目を通す		
				事後学習	授業内容の振り返り		
⑮	試験、まとめ			事前学習	これまでの学びの確認		
				事後学習	試験及び授業全体の振り返り		
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> 配布するプリントに授業内容を書き込み、自分なりに授業内容を整理すること。 日頃から新聞・ニュースなどで子どもを取り巻く社会情勢について関心を持ち、知識を蓄え、自分なりの考えや意見を持てるよう心がけること。 						
成績評価の方法	授業参加状況や受講態度	20%	教科書	なし			
	提出物	20%	参考資料	プリント資料を配布する。			
	定期試験	60%			子ども家庭支援の心理学 子どもの未来を支える家庭支援のあり方を探る ひとなる書房		

シラバス(授業計画)

部	夜間部 夜間コース	学期	半期	授業形態	講義	単位数	2単位
科目名	子ども家庭支援の心理学 I			担当教員	濱家 徳子		
全体目標	生涯発達に関する心理学の基礎を踏まえ、家族・家庭の意義や機能を理解するとともに、子育て家庭をめぐる現状と課題、子どもの精神保健とその課題について理解する。						
一般目標	子どもの育ちに関する発達心理学的視点、および家族・家庭に関する社会学的視点を学ぶ。 保育者として子どもとその家庭を支援する際の基礎的な知識を習得する。						
到達目標	①生涯発達に関する心理学の基礎的な知識を獲得し、初期経験の重要性、発達課題等を理解する。 ②家族・家庭の意義や機能を理解し、子どもとその家庭を包括的に捉える視点を習得する。 ③子育て家庭をめぐる現代の社会的状況と課題について理解する。 ④子どもの精神保健とその課題について理解する。						
授業のながれ	回数	[授 業 内 容]			課外学習		
	① オリエンテーション	発達理論とは			事前学習	シラバスを確認する	
					事後学習	授業内容を振り返る	
	② 乳児期の発達				事前学習	教科書の該当箇所を予習する	
					事後学習	授業内容を振り返る	
	③ 幼児期の発達				事前学習	教科書の該当箇所を予習する	
					事後学習	授業内容を振り返る	
	④ 学童期・青年期の発達				事前学習	教科書の該当箇所を予習する	
					事後学習	授業内容を振り返る	
	⑤ 成人期・老年期の発達				事前学習	教科書の該当箇所を予習する	
					事後学習	授業内容を振り返る	
	⑥ 家族・家庭の意義と機能				事前学習	教科書の該当箇所を予習する	
					事後学習	授業内容を振り返る	
	⑦ 親子関係・家族関係の理解				事前学習	教科書の該当箇所を予習する	
					事後学習	授業内容を振り返る	
⑧ 子育て経験と親としての育ち				事前学習	教科書の該当箇所を予習する		
				事後学習	授業内容を振り返る		
⑨ 子育てを取り巻く社会的状況				事前学習	教科書の該当箇所を予習する		
				事後学習	授業内容を振り返る		
⑩ ライフコースと仕事・子育て				事前学習	教科書の該当箇所を予習する		
				事後学習	授業内容を振り返る		
⑪ 多様な家族とその理解				事前学習	教科書の該当箇所を予習する		
				事後学習	授業内容を振り返る		
⑫ 特別な配慮を要する家庭				事前学習	教科書の該当箇所を予習する		
				事後学習	授業内容を振り返る		
⑬ 子どもの生活・生育環境とその影響				事前学習	教科書の該当箇所を予習する		
				事後学習	授業内容を振り返る		
⑭ 子どものこころの健康に関わる問題				事前学習	教科書の該当箇所を予習する		
				事後学習	授業内容を振り返る		
⑮ 試験、まとめ				事前学習	これまでの学びを確認する		
				事後学習	試験及び授業全体を振り返る		
学習上の留意点	主体的に予習と復習を行い、わからないことはそのままにせず積極的に質問すること。						
成績評価の方法	平常点(提出物、受講態度等)(30%) 筆記試験(70%)			教科書	『子ども家庭支援の心理学』中央法規		
				参考資料	毎回資料を配布または提示する。		

シラバス(授業計画)

部	夜間部 午後コース	学期	半期	授業形態	演習	単位数	1単位
科目名	子ども家庭支援の心理学Ⅱ			担当教員	近藤 万莉		
全体目標	生涯発達、家族・家庭の理解、子育て家庭をめぐる現状と課題、子どもの精神保健とその課題という4つの視点から子どもとその家庭を理解・支援するための学びを深める。						
一般目標	子ども家庭支援の心理学での学びを土台に、保育者として子どもとその家庭を包括的に支援していくための視点を養う。						
到達目標	①生涯発達に関する心理学の基礎的な知識を獲得し、初期経験の重要性、発達課題等を理解する。 ②家族・家庭の意義や機能を理解し、子どもとその家庭を包括的に捉える視点を習得する。 ③子育て家庭をめぐる現代の社会的状況と課題について理解する。 ④子どもの精神保健とその課題について理解する。						
授業 の な が れ	回数	[授 業 内 容]			課外学習		
	①	オリエンテーション			事前学習	シラバスを読む	
					事後学習	授業内容の振り返り	
	②	保育から支援を考える(1) 保育における子育て支援			事前学習	配布資料に目を通す	
					事後学習	授業内容の振り返り	
	③	保育から支援を考える(2) 子育て支援センター、地域子育て支援拠点			事前学習	配布資料に目を通す	
					事後学習	授業内容の振り返り	
	④	生涯発達から支援を考える(1) 乳児期			事前学習	配布資料に目を通す	
					事後学習	授業内容の振り返り	
	⑤	生涯発達から支援を考える(2) 幼児期			事前学習	配布資料に目を通す	
					事後学習	授業内容の振り返り	
	⑥	生涯発達から支援を考える(3) 学童期・青年期			事前学習	配布資料に目を通す	
					事後学習	授業内容の振り返り	
	⑦	生涯発達から支援を考える(4) 成人期・老年期			事前学習	配布資料に目を通す	
					事後学習	授業内容の振り返り	
⑧	家族・家庭の理解から支援を考える(1) 親子関係・家族関係			事前学習	配布資料に目を通す		
				事後学習	授業内容の振り返り		
⑨	家族・家庭の理解から支援を考える(2) 子育ての経験と親としての育ち			事前学習	配布資料に目を通す		
				事後学習	授業内容の振り返り		
⑩	子育て家庭をめぐる現状と課題から支援を考える(1) 子育てを取り巻く社会的状況			事前学習	配布資料に目を通す		
				事後学習	授業内容の振り返り		
⑪	子育て家庭をめぐる現状と課題から支援を考える(2) 多様な子育て家庭			事前学習	配布資料に目を通す		
				事後学習	授業内容の振り返り		
⑫	子育て家庭をめぐる現状と課題から支援を考える(3) 特別な配慮を必要とする家庭			事前学習	配布資料に目を通す		
				事後学習	授業内容の振り返り		
⑬	子どもの精神保健とその課題から支援を考える(1) 子どもの心の健康			事前学習	配布資料に目を通す		
				事後学習	授業内容の振り返り		
⑭	子どもの精神保健とその課題から支援を考える(2) 発達支援を必要とする子ども			事前学習	配布資料に目を通す		
				事後学習	授業内容の振り返り		
⑮	試験、まとめ			事前学習	これまでの学びの確認		
				事後学習	試験及び授業全体の振り返り		
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> 授業内でのディスカッションやグループワークに積極的に参加すること。 日頃から新聞・ニュースなどで子どもを取り巻く社会情勢について関心をもち、知識を蓄え、自分なりの考えや意見を持てるよう心がけること。 						
成績評価の方法	授業参加状況や受講態度 (グループワークへの取り組み)	30%	教科書	なし	プリント資料を配布する。		
	提出物 定期試験	20% 50%	参考資料	子どもと保護者に寄り添う 「子ども家庭支援の心理学」 晃洋書房			

シラバス(授業計画)

部	夜間部 夜間コース	学期	半期	授業形態	演習	単位数	1単位
科目名	子ども家庭支援の心理学Ⅱ			担当教員	濱家 徳子		
全体目標	生涯発達に関する心理学の基礎を習得し、初期経験の重要性、発達課題について理解することができる。						
一般目標	家族・家庭の意義や機能を理解し、親子・家族関係等について発達の観点から理解を深めることを目指す。						
到達目標	1. 生涯発達に関する心理学の基礎を習得し、発達課題等について理解し、説明できる。 2. 家族・家庭の意義や機能を理解し、親子・家族関係等について発達の観点から理解を深め説明できる。						
授 業 の な が れ	回数	[授 業 内 容]			課外学習		
	① オリエンテーション				事前学習	シラバスを読む	
					事後学習	授業内容の振り返り	
	② 乳幼児期の発達				事前学習	配布資料に目を通す	
					事後学習	授業内容の振り返り	
	③ 学童期の発達				事前学習	配布資料に目を通す	
					事後学習	授業内容の振り返り	
	④ 青年期の発達				事前学習	配布資料に目を通す	
					事後学習	授業内容の振り返り	
	⑤ 成人期・老年期の発達				事前学習	配布資料に目を通す	
					事後学習	授業内容の振り返り	
	⑥ 家族・家庭の意義と機能、関係の理解				事前学習	配布資料に目を通す	
					事後学習	授業内容の振り返り	
	⑦ 子育てを取り巻く社会的状況				事前学習	配布資料に目を通す	
					事後学習	授業内容の振り返り	
⑧ ライフコースと仕事・子育て				事前学習	配布資料に目を通す		
				事後学習	授業内容の振り返り		
⑨ 多様な家族とその理解				事前学習	配布資料に目を通す		
				事後学習	授業内容の振り返り		
⑩ 配慮を要する家庭① 保護者の疾患や障害				事前学習	配布資料に目を通す		
				事後学習	授業内容の振り返り		
⑪ 配慮を要する家庭② 虐待				事前学習	配布資料に目を通す		
				事後学習	授業内容の振り返り		
⑫ 子どものストレス				事前学習	配布資料に目を通す		
				事後学習	授業内容の振り返り		
⑬ 子どもに見られる症状				事前学習	配布資料に目を通す		
				事後学習	授業内容の振り返り		
⑭ 発達障害				事前学習	配布資料に目を通す		
				事後学習	授業内容の振り返り		
⑮ 試験、まとめ				事前学習	これまでの学びの確認		
				事後学習	試験及び授業全体の振り返り		
学習上の留意点	主体的に予習と復習を行い、わからないことはそのままにせず積極的に質問すること。						
成績評価の方法	平常点(提出物、受講態度等)(30%) 筆記試験(70%)			教科書	なし		
				参考資料	『子ども家庭支援の心理学』中央法規 毎回資料を配布または提示する。		

シラバス(授業計画)

部	夜間部	学期	半期	授業形態	講義	単位数	2単位
科目名	子どもの保健			担当教員	森 美香	看護師・保健師として実務経験有	
全体目標	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの健康増進を図る保健活動の意義と他職種間との連携・協働を理解する。 子どもの身体的な発育・発達と保健について理解する。 子どもの心身の健康状態とその把握方法について理解する。 						
一般目標	<ul style="list-style-type: none"> 保育場面での保健活動と他職種との連携・協働を知る。 子どもの心身の特徴と発育・発達を理解する。 子どもの疾病の予防及び適切な対応ができる。 						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの心身の健康に関わる保健活動の意義と目的が理解できる。 子どもの生理機能、運動機能を理解する。 子どもにみられる主な疾患を理解する。 						
授 業 の な が れ	回数	[授 業 内 容]			課外学習		
	①	生命保持と情緒安定に関わる保健活動の意義と目的 健康の概念と健康指標			事前学習 事後学習	教科書p9～p13を確認 教科書で復習する	
	②	現代社会における子どもの健康に関する現状と課題			事前学習 事後学習	教科書p13～p18を確認 教科書で復習する	
	③	生物としての人の成り立ち 乳幼児期の身体発育の概要			事前学習 事後学習	教科書p19～p27を確認 教科書で復習する	
	④	運動機能の発達			事前学習 事後学習	教科書p27～p29を確認 教科書で復習する	
	⑤	呼吸機能・循環機能・免疫機能の発達			事前学習 事後学習	教科書p30～p32を確認 教科書で復習する	
	⑥	消化機能・尿排泄・体温調節機能の発達			事前学習 事後学習	教科書p32～p35を確認 教科書で復習する	
	⑦	内分泌機能・感覚機能・神経機能の発達			事前学習 事後学習	教科書p35～p40を確認 教科書で復習する	
	⑧	発達に即応した基本的生活習慣の形成			事前学習 事後学習	教科書p41～p58を確認 教科書で復習する	
	⑨	健康状態の観察 心身の不調等の早期発見 発育・発達の把握と健康診断 身体発育の評価			事前学習 事後学習	教科書p59～p71を確認 教科書で復習する	
	⑩	子どもの疾病の特徴 感染症と予防接種			事前学習 事後学習	教科書p73～p79を確認 教科書で復習する	
	⑪	感染症 先天異常 アレルギー疾患			事前学習 事後学習	教科書p80～p89を確認 教科書で復習する	
	⑫	消化器疾患 呼吸器疾患 循環器疾患 血液疾患			事前学習 事後学習	教科書p89～p92を確認 教科書で復習する	
	⑬	神経系疾患 皮膚疾患 腎・泌尿生殖器疾患			事前学習 事後学習	教科書p92～p95を確認 教科書で復習する	
	⑭	眼・耳の疾患 整形外科疾患 内分泌・代謝疾患 SIDS			事前学習 事後学習	教科書p95～p100を確認 教科書で復習する	
⑮	定期試験 まとめ			事前学習 事後学習	授業で話すポイントを押さえ学習しておく 総復習		
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> 初日に話す授業マナーを守りましょう。 積極的に授業に参加しましょう。 						
成績評価の方法	定期試験・・・50% 授業態度(課題や小テストの取り組み、振返り 授業に臨む姿勢)・・・50%			教科書	『子どもの保健』 中根淳子他編 ななみ書房		
				参考資料	必要に応じて適宜配布する。		

シラバス(授業計画)

部	夜間部	学期	半期	授業形態	演習	単位数	2単位
科目名	子どもの食と栄養			担当教員	大谷 香代		
全体目標	子どもの栄養と食生活は、身体の発達発育だけでなく、生涯にわたり心身の健康・発達に大きく影響する。日々の食事の目的と意義を考え、食の知識や実践力を身につけることを目標とする。また、子どもを取り巻く多様な生活環境や食生活の現状を理解し、食物アレルギーなども含め、具体的な支援やどのように対応すべきかを考える。						
一般目標	生涯においての食に関する特徴や問題点を意識し、各時期に応じた正しい食の知識を身につける。保育者としても食に関して学び、自分自身の食生活も見直す。子どもの食生活を学ぶことを通して、食や栄養の支援について考えられるようになる。						
到達目標	子どもの個々の食生活の問題点を探り、個々に合わせた食事の支援を行えることを目指す。栄養について理解し、自分自身の食生活を管理した上で、子どもや保護者との関わりの中で望ましい食生活を考え、支援していくための力を身につける。						
授業のながれ	回数	[授業内容]			課外学習		
	①	子どもの健康と食生活の意義			事前学習	テキストp10～19予習	
					事後学習	p20演習課題	
	②	栄養に関する基礎知識①(炭水化物、脂質、たんぱく質)			事前学習	テキストp22～29予習	
					事後学習	各栄養素の働きをまとめる	
	③	栄養に関する基礎知識②(ビタミン、ミネラル、水分)			事前学習	テキストp29～33予習	
					事後学習	各栄養素の働きをまとめる	
	④	栄養に関する制度			事前学習	テキストp36～45予習	
					事後学習	p47演習課題	
	⑤	妊娠期と授乳期の食生活			事前学習	テキストp48～59予習	
					事後学習	p60演習課題	
	⑥	乳汁期の栄養①(母乳栄養)(人工乳栄養)			事前学習	テキストp62～68予習	
					事後学習	母乳・人工乳栄養の利点欠点をまとめる	
	⑦	離乳期の栄養			事前学習	テキストp68～74予習	
					事後学習	p75演習課題	
⑧	幼児期の発育・発達と食生活①(問題点と特徴)			事前学習	テキストp76～86予習		
				事後学習	p88演習課題		
⑨	幼児期の発育・発達と食生活②(間食を考える)			事前学習	テキストp80～81復習		
				事後学習	食生活の問題点のまとめと復習		
⑩	演習 離乳食、ベビーフード			事前学習	テキストp68～74復習		
				事後学習	離乳食の実際をまとめる		
⑪	特別な配慮を要する子どもの食と栄養			事前学習	テキストp144～158予習		
				事後学習	p159演習課題		
⑫	アレルギー疾患をもつ子どもの食と栄養			事前学習	テキストp161～168予習		
				事後学習	p169演習課題		
⑬	食育の基本と内容			事前学習	テキストp117～129予習		
				事後学習	食育に関わる内容の復習		
⑭	演習 食育媒体の作成			事前学習	食育を考える		
				事後学習	演習以外の食育媒体を考える		
⑮	試験、まとめ			事前学習	試験出題範囲の勉強/まとめ		
				事後学習	総復習		
学習上の留意点	子どもや保護者に対しての食育を考え、適切な食育を行えるようにすることを意識する。自身を取り巻く食環境について、食の外部化、和食離れ、朝食習慣、生活習慣病など身近な食の問題を考える。						
成績評価の方法	定期試験 70%			教科書	子どもの食と栄養 第3版 羊土社		
	提出物、平常点(授業参加状況、受講態度など) 30%				参考資料		

シラバス(授業計画)

部	夜間部 午後コース	学期	半期	授業形態	講義	単位数	2単位
科目名	乳児保育 I			担当教員	鋤柄 則子	保育士として 実務経験有	
全体目標	乳児保育の意義と目的及び役割について理解し、今日の乳児保育を取り巻く環境と課題について学ぶことを目標とする。乳児の発達を踏まえた保育内容と、保護者や地域との連携について理解する。						
一般目標	3歳未満児の発達の特徴について理解するとともに、職員間の連携や家庭との連携を想定したうえで、保育者としてどのようにかかわればよいかを理解する。						
到達目標	乳児保育の意義や役割について理解する。 3歳未満児の発達過程や生活について理解する。 乳児保育における職員間の連携、保護者や地域関係機関との連携について理解し実践に活かそうとすることができる。						
授 業 の な が れ	回数	[授 業 内 容]			課外学習		
	① オリエンテーション 乳児保育とは何か				事前学習	乳児保育とは何か考える	
					事後学習	乳児保育について自分の考えをまとめる	
	② 乳児保育の目的と役割				事前学習	乳児保育の目的や役割について考える	
					事後学習	乳児保育の目的や役割についてまとめる	
	③ 乳児保育の基本				事前学習	乳児保育の基本について予習	
					事後学習	乳児保育の基本についてまとめる	
	④ 0・1・2歳児の発達				事前学習	0・1・2歳児の発達について考える	
					事後学習	0・1・2歳児の発達をまとめる	
	⑤ 乳児(0歳児)の保育内容				事前学習	乳児(0歳児)の保育内容について考える	
					事後学習	乳児(0歳児)の保育内容についてまとめる	
	⑥ 1歳以上3歳未満児の保育内容				事前学習	1歳以上3歳未満児の保育内容について考える	
					事後学習	1歳以上3歳未満児の保育内容についてまとめる	
	⑦ 乳児の生活と遊びの基本的事項				事前学習	乳児の生活と遊びの基本的事項について考える	
					事後学習	乳児の生活と遊びの基本的事項についてまとめる	
	⑧ 乳児の生活の基本				事前学習	乳児の生活の基本について考える	
				事後学習	乳児の生活の基本についてまとめる		
⑨ 乳児の遊び				事前学習	乳児の遊びについて考える		
				事後学習	乳児の遊びについてまとめる		
⑩ 乳児保育の環境構成				事前学習	乳児保育の環境構成について考える		
				事後学習	乳児保育の環境構成についてまとめる		
⑪ 乳児保育における全体的な計画				事前学習	乳児保育における全体的な計画を考える		
				事後学習	乳児保育における全体的な計画をまとめる		
⑫ 乳児保育における子育て支援				事前学習	乳児保育における子育て支援について考える		
				事後学習	乳児保育における子育て支援についてまとめる		
⑬ 乳児保育における連携				事前学習	乳児保育における連携について考える		
				事後学習	乳児保育における連携をまとめる		
⑭ 一人1人を健やかに育てていくために				事前学習	乳児保育の重要性について考える		
				事後学習	乳児保育の重要性をまとめる		
⑮ 試験・まとめ				事前学習	配布資料や学習内容を見直す		
				事後学習	乳児保育における自己課題を考える		
学習上の留意点	3歳未満児についての理解を深め、乳児保育における保育者の役割について自ら考えるようにする。 事例検討や話し合いの際は積極的に参加すること。						
成績評価の方法	平常点(受講態度)	30%			教科書	『講義で学ぶ乳児保育』 わかば社	
	提出物	20%				参考資料	『保育所保育指針』 厚生労働省 随時必要に応じてプリントを配布する
	定期試験	50%			以上を総合的に評価する		

シラバス(授業計画)

部	夜間部 夜間コース	学期	半期	授業形態	講義	単位数	2単位	
科目名	乳児保育 I			担当教員	加藤 多美	保育士として 実務経験有		
全体目標	乳児保育の意義と目的及び役割について理解し、今日の乳児保育を取り巻く環境と課題について学ぶことを目標とする。乳児の発達を踏まえた保育内容と、保護者や地域との連携について理解する。							
一般目標	3歳未満児の発達の特徴について理解するとともに、職員間の連携や家庭との連携を想定したうえで、保育者としてどのようにかかわればよいかを理解する。							
到達目標	乳児保育の意義や役割について理解する。 3歳未満児の発達過程や生活について理解する。 乳児保育における職員間の連携、保護者や地域関係機関との連携について理解し実践に活かそうとすることができる。							
授 業 の な が れ	回数	[授 業 内 容]			課外学習			
	① オリエンテーション 乳児保育とは何か				事前学習	乳児保育とは何か考える		
					事後学習	乳児保育について自分の考えをまとめる		
	② 乳児保育の目的と役割				事前学習	乳児保育の目的や役割について考える		
					事後学習	乳児保育の目的や役割についてまとめる		
	③ 乳児保育の基本				事前学習	乳児保育の基本について予習		
					事後学習	乳児保育の基本についてまとめる		
	④ 0・1・2歳児の発達				事前学習	0・1・2歳児の発達について考える		
					事後学習	0・1・2歳児の発達をまとめる		
	⑤ 乳児(0歳児)の保育内容				事前学習	乳児(0歳児)の保育内容について考える		
					事後学習	乳児(0歳児)の保育内容についてまとめる		
	⑥ 1歳以上3歳未満児の保育内容				事前学習	1歳以上3歳未満児の保育内容について考える		
					事後学習	1歳以上3歳未満児の保育内容についてまとめる		
	⑦ 乳児の生活と遊びの基本的事項				事前学習	乳児の生活と遊びの基本的事項について考える		
					事後学習	乳児の生活と遊びの基本的事項についてまとめる		
⑧ 乳児の生活の基本				事前学習	乳児の生活の基本について考える			
				事後学習	乳児の生活の基本についてまとめる			
⑨ 乳児の遊び				事前学習	乳児の遊びについて考える			
				事後学習	乳児の遊びについてまとめる			
⑩ 乳児保育の環境構成				事前学習	乳児保育の環境構成について考える			
				事後学習	乳児保育の環境構成についてまとめる			
⑪ 乳児保育における全体的な計画				事前学習	乳児保育における全体的な計画を考える			
				事後学習	乳児保育における全体的な計画をまとめる			
⑫ 乳児保育における子育て支援				事前学習	乳児保育における子育て支援について考える			
				事後学習	乳児保育における子育て支援についてまとめる			
⑬ 乳児保育における連携				事前学習	乳児保育における連携について考える			
				事後学習	乳児保育における連携をまとめる			
⑭ 一人1人を健やかに育てていくために				事前学習	乳児保育の重要性について考える			
				事後学習	乳児保育の重要性をまとめる			
⑮ 試験・まとめ				事前学習	配布資料や学習内容を見直す			
				事後学習	乳児保育における自己課題を考える			
学習上の留意点	3歳未満児についての理解を深め、乳児保育における保育者の役割について自ら考えるようにする。 事例検討や話し合いの際は積極的に参加すること。 社会で起こっていることや、学生の関心や理解の具合によって授業内容の変更や入れ替えを行う場合がある。 消防士の方による救命講習を行う授業買いがある。							
成績評価の方法	平常点(受講態度)	30%		教科書	講義で学ぶ乳児保育 わかば社			
	提出物	20%			参考資料			
	定期試験	50%						
	以上を総合的に評価する							

シラバス(授業計画)

部	夜間部	学期	半期	授業形態	演習	単位数	1単位	
科目名	乳児保育Ⅱ			担当教員	鋤柄 則子	保育士として実務経験有		
全体目標	社会の変化から、保育所や認定子ども園に求められる期待の大きさを理解し、乳児一人ひとりを大切にできる保育観を育む。							
一般目標	<ul style="list-style-type: none"> ・3歳未満児の子どもの生活と遊びと保育の方法及び環境について、具体的に理解する。 ・乳児の育ちを保育者と保護者が連携して支えていくために「乳児保育」の学びを深める。 							
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・3歳未満児の発育・発達の過程や特性を踏まえた援助や関りの基本的な考え方を理解する。 ・3歳未満児保育における保護者や地域の関係機関との連携について理解する。 ・乳児保育における計画の作成について具体的に理解する。 							
授業のながれ	回数	[授 業 内 容]			課外学習			
	①	乳児の発達と保育(0・1歳児の心身の発達)			事前学習 事後学習	教科書P10～22までを読んでおく 学びを振り返り復習をする		
	②	乳児の発達と保育(2歳児の心身の発達) 演習:絵本の読み聞かせ・レポート作成			事前学習 事後学習	教科書P22～33までを読んでおく 学びを振り返り復習をする		
	③	乳児保育の内容と方法 (基本的生活を中心に) 演習:絵本の読み聞かせ・だっこ・おんぶ			事前学習 事後学習	教科書P34～51までを読んでおく 学びを振り返り復習をする		
	④	乳児保育の内容と方法 (基本的生活を中心に) 演習:絵本の読み聞かせ			事前学習 事後学習	教科書P52～61までを読んでおく 学びを振り返り復習をする		
	⑤	乳児保育の内容と方法 演習:調乳・授乳・離乳食の援助・沐浴			事前学習 事後学習	資料等を確認し、演習に備える 学びを振り返り復習をする		
	⑥	乳児保育の内容と方法 (遊びを中心に) 演習:絵本の読み聞かせ・レポート作成			事前学習 事後学習	教科書P62～80までを読んでおく 学びを振り返り復習をする		
	⑦	乳児保育の内容と方法 演習:おもちゃの作成・ふれあい遊び			事前学習 事後学習	教科書P81～87までを読んでおく 学びを振り返り復習をする		
	⑧	保育の記録と計画 演習:エピソード記述			事前学習 事後学習	教科書P88～98までを読んでおく 学びを振り返り復習をする		
	⑨	保育の計画 演習:指導計画の作成(模擬保育に向け)			事前学習 事後学習	教科書P98～107までを読んでおく 学びを振り返り復習をする		
	⑩	保育の記録と計画 演習:指導計画に基づいた模擬保育			事前学習 事後学習	模擬実践の準備と練習 学びを振り返り復習をする		
	⑪	演習:模擬保育の振り返り及び意見交流 乳児保育と子どもの発達・親としての発達			事前学習 事後学習	教科書P108～115までを読んでおく 学びを振り返り復習をする		
	⑫	乳児保育と子どもの発達・親としての発達 演習:複数担任、演習課題のレポート作成			事前学習 事後学習	教科書P116～137までを読んでおく 学びを振り返り復習をする		
	⑬	乳児保育のあゆみ 演習:多様化する乳児保育についての意見交流			事前学習 事後学習	教科書P138～161までを読んでおく 学びを振り返り復習をする		
	⑭	保育所における子育て支援 演習:「育みたい資質・能力」のレポート作成			事前学習 事後学習	教科書P162～174までを読んでおく 学びを振り返り復習をする		
⑮	試験・まとめ			事前学習 事後学習	今までの学習の振り返りを行っておく 試験内容について振り返る			
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・日頃から身近な子どもや親に関心を持ち、観る力をつける。 ・子どもに関わるニュースや保育制度に関心を持ち、情報収集する。 ・授業での学びを実習などの保育現場と結びつけ、総合的に学べるよう努める。 							
成績評価の方法	・レポート・課題作成(提出物)			30%	教科書	『乳児の保育 新時代』 乳児保育研究会編 ひとなる書房		
	・試験			50%		参考資料	『保育所保育指針』厚生労働省 随時必要に応じてプリントを配布する	
・受講態度			20%					

シラバス(授業計画)

部	夜間部	学期	半期	授業形態	演習	単位数	1単位
科目名	子どもの健康と安全			担当教員	森 美香	看護師・保健師として実務経験有	
全体目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育における保健的観点を踏まえた保育環境や援助について理解する。 ・ 子どもの体調不良等に対する適切な対応について理解する。 ・ 子どもの健康および安全の管理に関わる組織的取組や保健活動の計画や評価について理解する。 						
一般目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育における保健活動の内容を理解する。 ・ 保育における保健的対応に関連する各種ガイドラインを理解する。 						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 心身の健康に関する保健活動や環境を理解する。 ・ 体調不良などに対する適切な対応を理解する。 ・ 感染症対策、衛生管理、および安全管理・教育についての取り組みを理解する。 						
授業のながれ	回数	[授 業 内 容]			課外学習		
	①	子どもの健康と保育環境	オリエンテーション	事前学習	教科書p1～p5を確認		
		演習に臨む姿勢			事後学習	教科書で復習する	
	②	子どもの保健に関する個別対応と集団全体の健康		事前学習	教科書p2～p10を確認		
		および安全の管理			事後学習	教科書で復習する	
	③	衛生管理		事前学習	教科書p11～p26を確認		
					事後学習	教科書で復習する	
	④	事故防止および安全管理		事前学習	教科書p27～p40を確認		
					事後学習	教科書で復習する	
	⑤	危機管理と災害への備え		事前学習	教科書p41～p51を確認		
					事後学習	教科書で復習する	
	⑥	体調不良や傷害が発生した場合の対応		事前学習	教科書p52～p77を確認		
					事後学習	教科書で復習する	
	⑦	子どもと薬		事前学習	教科書p78～p82を確認		
					事後学習	教科書で復習する	
⑧	応急手当と一次救命処置		事前学習	教科書p83～p118を確認			
				事後学習	教科書で復習する		
⑨	感染症の集団発生の予防	予防接種	事前学習	教科書p119～p143を確認			
				事後学習	教科書で復習する		
⑩	感染症発生時と罹患後の対応		事前学習	教科書p143～p148を確認			
				事後学習	教科書で復習する		
⑪	保育における保健的対応の基本的な考え方		事前学習	教科書p149～p179を確認			
				事後学習	教科書で復習する		
⑫	3歳未満児への対応		事前学習	教科書p180～p213を確認			
				事後学習	教科書で復習する		
⑬	個別的な配慮を要する子どもへの対応		事前学習	教科書p214～p245を確認			
	障害をもつ子への対応			事後学習	教科書で復習する		
⑭	健康および安全の管理の実施体制		事前学習	教科書p246～p259を確認			
				事後学習	教科書で復習する		
⑮	定期試験	まとめ	事前学習	授業で話すポイントを押さえ学習しておく			
				事後学習	総復習		
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・ 演習の内容によりエプロン・タオル、のり、ハサミ、輪ゴム等を持参していただくことがあります。 ・ 持ち物は授業時に伝達いたします。 ・ 積極的な態度で演習に臨んでください。 						
成績評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 定期試験50% ・ 受講態度(演習に臨む姿勢・準備・取組・片付け・振り返り)50% 			教科書	『これだけはおさえて!保育者のための子どもの健康と安全』改訂2版 鈴木美枝子編 創成社		
				参考資料	必要に応じて適宜配布する。		

シラバス(授業計画)

部	夜間部	学期	半期	授業形態	演習		単位数	2単位
科目名	障がい児保育			担当教員	後藤 加代子		保育士として実務経験有	
全体目標	障がい児保育を支える理念や歴史的変遷について学び、障がいのある子どもへの理解を深める。 個々の特性や心身の発達等に応じた援助や配慮について理解する。 障がいのある子どもの生活上の困難を理解し、集団の中で育ち合える教育・保育の方法を知る。							
一般目標	子どもの発達過程を理解し、障がいのある子どもの特性や障がい児及びその保育の方法について理解する。 様々な障害について理解し、子どもの理解や援助の方法、環境の構成について学ぶ。							
到達目標	障がい児やその他の特別な配慮の必要な子どもの保育における具体的な保育の方法や支援計画などの作成について理解する。							
授 業 の な が れ	回数	[授 業 内 容]			課外学習			
	① 障がい児保育を支える理念と歴史的変遷				事前学習	シラバス・教科書P14～23を読む		
					事後学習	資料を読み直す		
	② 障がい児保育の現状 (インクルージョンと合理的配慮の理解)				事前学習	教科書P24～58を読む		
					事後学習	配布資料・教科書を読み直す		
	③ 障がいの理解と発達援助・言語の障害の理解と援助				事前学習	教科書P98～107を読む		
					事後学習	配布資料と教科書を読み直す		
	④ 肢体不自由児の理解と援助				事前学習	教科書P60～71を読む		
					事後学習	配布資料・教科書を読み直す		
	⑤ 知的障がい児の理解と援助				事前学習	教科書P72～78を読む		
					事後学習	配布資料・教科書を読み直す		
	⑥ 視覚・聴覚・言語障がい児の理解と援助				事前学習	教科書P79～97を読む		
					事後学習	配布資料・教科書を読み直す		
	⑦ 発達障がい児(ADHD,LD)の理解と援助				事前学習	教科書P108～116を読む		
					事後学習	配布資料・教科書を読み直す		
⑧ 発達障がい児(ASD)の理解と援助				事前学習	教科書P118～126を読む			
				事後学習	配布資料・教科書を読み直す			
⑨ 重度心身障がい児と医療的ケア児の理解と援助				事前学習	教科書P128～137読む			
				事後学習	配布資料・教科書を読み直す			
⑩ その他の特別な配慮を必要とする子どもの理解と支援				事前学習	教科書142～153を読む			
				事後学習	配布資料・教科書を読み直す			
⑪ 指導計画と個別の支援計画				事前学習	教科書P156～169を読む			
				事後学習	配布資料・教科書を読み直す			
⑫ 個々の発達を促す生活や遊びの環境と子どもとの関わり				事前学習	教科書P170～234を読む			
				事後学習	配布資料・教科書を読み直す			
⑬ 保護者や家庭に対する理解と支援及び小学校などの関係機関との連携				事前学習	教科書P216～240を読む			
				事後学習	配布資料・教科書を読み直す			
⑭ 障がい児とその他特別な配慮を必要とする子どもの保育に関する現状と課題				事前学習	教科書242～262を読む			
				事後学習	配布資料・教科書を読み直す			
⑮ 試験・まとめ				事前学習	授業での課題や小テストなどを参考に復習する			
				事後学習	障がい児保育及び試験内容を振り返る			
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> 教科書や配付資料を読み、今日のまとめを作成し授業後の振り返りをする。 実習などの機会積極的に関わり、気になる子どもへの配慮の方法や保育の方法を学ぶ。 日常生活の中で障がい者に向けた対応が保育の中にどのように活かしているかを考える。 授業を欠席した場合には資料を取りにくるようにすること。 							
成績評価の方法	平常点(受講姿勢・発表)20%			教科書	子どもが共に育つための「障害児保育」 萌文書林 齋藤勇紀・守 巧 著編			
	課題提出	20%			参考資料	<ul style="list-style-type: none"> 配布資料 保育所保育指針解説 幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説 		
	定期試験	60%						

シラバス(授業計画)

部	夜間部	学期	半期	授業形態	演習	単位数	1単位
科目名	社会的養護Ⅱ			担当教員	寺井 陽一	児童養護施設職員として実務経験有	
全体目標	保育士は、保育所以外にも乳児院、児童養護施設、障害児施設などさまざまな施設で必要とされている。そこで働く上で必要な専門性を身につけてほしい。						
一般目標	①施設に対する基礎的な知識を学ぶ。 ②児童養護施設に入所する児童の入所経緯や家族背景の理解を深める。 ③子どもの自立に向けての援助のあり方、親に対するアプローチを通しての支援のあり方を学ぶ。						
到達目標	施設に対する基礎的な理解や職場での人間関係のあり方の理解を深め、社会人に向けての自覚を高めていきたい。						
授業のながれ	回数	[授 業 内 容]			課外学習		
	① 自己紹介 社会的子育てを考える	事前学習	自己PRを考える	事後学習	配布プリント確認		
	② 自己紹介 保育所以外で保育士が活躍する現場	事前学習	自己PRを考える	事後学習	配布プリント確認		
	③ 児童養護施設で生活する子どもたち 児童養護施設のDVDを見る	事前学習	児童養護施設を調べる	事後学習	DVDを見た感想・意見を書く		
	④ 虐待を受けた子どもたち 小規模児童養護施設・ファミリーホームのDVDを見る	事前学習	配布プリント下読み	事後学習	DVDを見た感想・意見を書く		
	⑤ 児童養護施設に入所する子どもの入所経緯や家族背景1(ケース1、ケース2) 目黒区5歳女児虐待死事件の検証	事前学習	配布プリント下読み	事後学習	5歳女子虐待死事件を読んだ感想・意見を書く		
	⑥ 児童養護施設に入所する子どもの入所経緯や家族背景1(ケース3、ケース4) 大阪2幼児放置死事件の検証	事前学習	配布プリント下読み	事後学習	2幼児放置死事件を読んだ感想・意見を書く		
	⑦ 職員に求められる援助技術 乳児院のDVDを見る	事前学習	配布プリント下読み	事後学習	乳児院のDVDを見た感想・意見を書く		
	⑧ 施設内での子どもへの援助のあり方 アドミッションケアとインケアの基礎理解	事前学習	配布プリント下読み	事後学習	配布プリント確認		
	⑨ 子どもの自立に向けての援助のあり方 リービングケアとアフターケアの基礎理解	事前学習	配布プリント下読み	事後学習	配布プリント確認		
	⑩ 問題行動への対応 児童養護施設のDVDを見る事例を通して理解を深める(教科書P118～122)	事前学習	問題行動の実際の例を考える	事後学習	問題行動の実際の対応策を考える		
	⑪ 性と生についての取り組み 性の関するQ&A	事前学習	配布プリント下読み	事後学習	性に関するQ&Aの復習		
	⑫ 愛着障害について、愛着障害児との治療的な関わり	事前学習	配布プリント下読み	事後学習	愛着障害についてまとめる		
	⑬ 施設と地域社会との関わり(ボランティア)活動を通して考える 自立支援計画の作成例を考える	事前学習	配布プリント下読み	事後学習	自立支援計画を作成する		
	⑭ 自立支援計画を発表する 施設実習に向けて・・・施設職員とは、職場の人間関係のあり方	事前学習	実習の抱負を簡条書きにする	事後学習	実習の課題をまとめる		
⑮ 試験、まとめ	事前学習	テスト(小論文)を考える	事後学習	総復習			
学習上の留意点	授業は、虐待を受けた子ども達が施設に入所してどんな生活をしていくのか、入所後どのように自立に向けてステップを踏んでいくのかを中心に進めていきます。それに合わせて、職員の援助・支援の在り方や子どもの理解を深めていってほしいと思っています。 *授業中に知り得た児童・家族等に関する情報は、守秘すること						
成績評価の方法	定期試験の結果	60%		教科書	『児童の社会的養護内容』 神戸賢次・喜多一憲編		
	小レポート	20%					
	授業参加状況・受講態度	20%		参考資料			

シラバス(授業計画)

部	夜間部	学期	半期	授業形態	演習		単位数	1単位
科目名	児童文化			担当教員	後藤 加代子		保育士として実務経験有	
全体目標	保育者として児童文化財の魅力を伝えながら、子どもが自ら遊ぶことができるような保育を展開していく技術を身につける。							
一般目標	絵本・紙芝居・パネルシアター・伝承あそびなどの具体的なあそびや保育での活用方法などを習得する。							
到達目標	①子どもの発達段階を理解して、年齢に応じた児童文化財を選び子どもと関わっていく力を培う。 ②表現活動の技術を活かし、子どもの遊びに積極的に関わりながら保育者として、実践に活かす事ができる。							
授業のながれ	回数	[授業内容]			課外学習			
	①	児童文化とはなにか (こどもにとっての遊びについて)	事前学習 事後学習	子どものあそびについて考える 学びを振り返り、復習をする				
	②	折り紙制作(自分人形)	事前学習 事後学習	折り紙等の材料を用意する 作成した教材を使い練習する				
	③	絵本・紙芝居	事前学習 事後学習	乳児用・幼児用の自分の好きな絵本を用意する 授業で紹介した絵本を読んで児童文化に触れる				
	④	おはなし・童話・ペンダントシアター ペンダントシアター・お話の発表	事前学習 事後学習	子どもの頃の童話やお話を思い出す・ペンダントシアターの準備 ペンダントシアターの完成				
	⑤	わらべうた・あそびうた・手遊び 手遊びの発表会	事前学習 事後学習	自分の知っている手遊び・わらべうたを予習する 学びを振り返り、実践を復習する				
	⑥	ことばあそび	事前学習 事後学習	言葉に関する遊びを調べておく・かるたの準備 カルタを完成させる				
	⑦	伝承遊び	事前学習 事後学習	あやとりの仕方などを予習しておく 伝承あそびの実践と復習をする				
	⑧	おもちゃ	事前学習 事後学習	年齢にあったおもちゃについて考える 子どもにとってのおもちゃの役割を考える				
	⑨	シアタースタイルの制作 ペペット制作	事前学習 事後学習	シアタースタイルの材料を準備する 自分が作成したものを完成させる				
	⑩	シアタースタイルの制作 (パネル・エプロン・ペープサート・スケッチブックシアターなど)	事前学習 事後学習	シアタースタイルの材料を準備する 完成にむけて制作する				
	⑪	シアタースタイルの制作と作品の紹介	事前学習 事後学習	完成したものをみんなの前で演じる 作品をグループ企画での活用方法を計画する				
	⑫	グループ企画(話し合い・制作)	事前学習 事後学習	グループで話し合いながら準備する(日案の作成) 完成した作品をグループ企画で活用する方法を考える				
	⑬	グループ企画(制作・リハーサル)	事前学習 事後学習	シアター演習発表の準備、練習をする グループで確認する				
	⑭	グループ発表会(実技)	事前学習 事後学習	発表の準備をグループで行う 今までの学習内容を振り返り要点を把握する				
	⑮	筆記試験・まとめ	事前学習 事後学習	今までの学習内容を振り返り要点を把握する 試験内容について振り返る				
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・日頃から児童文化財に触れる機会を多く持つよう心がける。 ・子どもに遊びを伝承するという意識で実技を身につけ、より多くの乳幼児と触れ合い、児童文化の実践を楽しみながら行っていくようにする。 ・いろいろな絵本を沢山読む。 							
成績評価の方法	平常点(受講態度・授業参加状況など) 20%			教科書				
	課題・作品提出・実技 40%			参考資料	・絵本から学ぶ 子どもの文化 浅木尚美(編著)同文書院 ・子どもの文化 宮野 周(編著) 教育情報出版社			
	筆記試験 40%							

シラバス(授業計画)

部	夜間部	学期	半期	授業形態	演習	単位数	1単位
科目名	子育て支援			担当教員	後藤 加代子	保育士として実務経験有	
全体目標	保育者の行う専門性を背景として、保護者に対する相談、助言、情報提供などが求められる現場において、必要となる基本的な知識と技術を習得することを目標とする。						
一般目標	現代の家庭を取り巻く環境や多様なニーズを踏まえ、保育者として求められる様々な場や対象に即した支援の内容と方法及び技術を実践を通して具体的に理解する。						
到達目標	保育相談支援の実際を学び、内容や方法を理解する。 保育者が行う子育て支援の特性を理解し、様々な場面で対応出来る技術を身につける。						
授業のながれ	回数	[授 業 内 容]			課外学習		
	①	子育て支援の意義と社会的背景			事前学習	シラバス・教科書P1～10を読む	
					事後学習	自分ができる子育て支援は何かを考える	
	②	子どもの権利に基づいた子育て支援			事前学習	保育所保育指針第4章を読む	
					事後学習	最善の利益について考える	
	③	保育者に求められる子育て支援の基本			事前学習	教科書P51～65を読む	
					事後学習	相談技術についてまとめる	
	④	保育者による子育て支援の特性 (行事等から行う子育て支援)			事前学習	教科書P11～22を読む	
					事後学習	保育士の特性をまとめる	
	⑤	保育所等における支援 (日常の生活のなかでの支援)			事前学習	P67～P82を読む	
					事後学習	事例についてまとめる	
	⑥	保育所等における支援 (文書やおたよりを利用した支援)			事前学習	配布資料を参考に学ぶ	
					事後学習	保育者として保護者対応について考える	
	⑦	乳児を持つ保護者の支援			事前学習	教科書P99～115を読む	
					事後学習	保育者として保護者対応について考える	
⑧	気になる子や発達障がいのある子どもと家庭に対する支援			事前学習	教科書P129～143を読む		
				事後学習	保育者として保護者対応について考える		
⑨	特別な配慮を必要とする子ども及び家庭に対する支援 (外国籍・貧困・親の病気)			事前学習	教科書P145～160を読む		
				事後学習	特別な配慮を必要とする家庭の定義をまとめる		
⑩	虐待予防と対応と対応の実際			事前学習	教科書P163～176		
				事後学習	事例を読み虐待に対して対応を考える		
⑪	多様な保育ニーズを抱える子育て家庭への理解とその支援			事前学習	教科書P191～P201を読む		
				事後学習	事例についてまとめる		
⑫	支援のための連携と協働			事前学習	教科書P39～49を読む		
				事後学習	子育て支援における連携機関をまとめる		
⑬	地域の子育て家庭に対する支援			事前学習	教科書P83～95を読む		
				事後学習	地域の子育て支援について考える		
⑭	子育て支援をめぐる今後の課題			事前学習	教科書P207～218を読む		
				事後学習	保育者が行う子育て支援を学びから考える		
⑮	試験・まとめ			事前学習	授業での課題や小テストなどを参考に復習する		
				事後学習	これまでの授業の内容を見直しまとめる		
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・子育てにおける社会の状況に関心を持ち保育者として、子どもや保護者の現状を知る。 ・保育者として、保育の中で子育て支援を実施していくことが出来るように授業中は事例検討やロールプレイに参加して学びを深めること。 ・欠席した場合は資料を取りにくるようにする。 						
成績評価の方法	平常点(受講態度・発表) 20%			教科書	保育ニュー・スタンダード		
	課題提出 30%				子育て支援 同文書院 太田光洋 著		
	定期試験 50%			参考資料	「保育所保育指針解説」厚労省・フレール館		
					「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」内閣府		

シラバス(授業計画)

部	夜間部	学期	半期	授業形態	演習	単位数	1単位
科目名	音楽基礎			担当教員	田中 由美子		
全体目標	子どもの音楽的表現を援助し、引き出すための、音楽全般における基礎的な知識を習得する。 子どもの歌を伸びやかに歌唱するために必要な発声、発音、表現を学習する。						
一般目標	音楽についての基礎的な知識を習得し、自身の演奏に生かすことができる。 子どもの歌の歌唱表現について学習し、子どもにとって心地よい発声、正しい日本語の発音、生き生きとした表現など、子どもの感性の芽生えを支えることのできる歌唱の力を身に着ける。						
到達目標	楽典の基礎について理解し、演奏に反映できる。 子どもの歌を表情豊かにのびのびと歌唱できる。						
授 業 の な が れ	回数	[授 業 内 容]			課外学習		
	① 保育者と音楽 子どもの音楽表現を引き出すために必要な学習とは	事前学習	事後学習	自身の音楽経験について確認しておく 配布課題			
	② 楽典(1)譜表と音名 歌唱の基礎(1)呼吸と姿勢・生活の歌	事前学習	事後学習	教科書の該当部分を読み込む 設問部分の回答・歌の復習			
	③ 楽典(2)音符と休符 歌唱の基礎(2)季節の歌「春1」	事前学習	事後学習	教科書の該当部分を読み込む 設問部分の回答・歌の復習			
	④ 楽典(3)リズムと拍子 歌唱の基礎(3)季節の歌「春2」	事前学習	事後学習	教科書の該当部分を読み込む 設問部分の回答・歌の復習			
	⑤ 楽典(4)記号、用語 歌唱の基礎(4)季節の歌「夏1」	事前学習	事後学習	教科書の該当部分を読み込む 設問部分の回答・歌の復習			
	⑥ 楽典(5)音程1 歌唱の基礎(5)季節の歌「夏2」	事前学習	事後学習	教科書の該当部分を読み込む 設問部分の回答・歌の復習			
	⑦ 楽典(6)音程2 歌唱の基礎(6)季節の歌「秋1」	事前学習	事後学習	教科書の該当部分を読み込む 設問部分の回答・歌の復習			
	⑧ 楽典(7)復習 写譜 歌唱の基礎(7)季節の歌「秋2」	事前学習	事後学習	教科書の該当部分を読み込む 提出課題			
	⑨ 楽典(8)音階1 歌唱の基礎(8)季節の歌「冬1」	事前学習	事後学習	教科書の該当部分を読み込む 設問部分の回答・歌の復習			
	⑩ 楽典(9)音階2 歌唱の基礎(9)季節の歌「冬2」	事前学習	事後学習	教科書の該当部分を読み込む 設問部分の回答・歌の復習			
	⑪ 楽典(10)調1 歌唱の基礎「行事の歌1」	事前学習	事後学習	教科書の該当部分を読み込む 設問部分の回答・歌の復習			
	⑫ 楽典(11)調2 歌唱の基礎(11)「行事の歌2」	事前学習	事後学習	教科書の該当部分を読み込む 設問部分の回答・歌の復習			
	⑬ 楽典(12)和音とコードネーム1 歌唱の基礎(12)「そのほかの歌」	事前学習	事後学習	教科書の該当部分を読み込む 設問部分の回答・歌の復習			
	⑭ 楽典(13)和音とコードネーム2 歌唱の基礎(13)「歌唱試験」	事前学習	事後学習	教科書の該当部分を読み込む 設問部分の回答・歌の復習			
⑮ 楽典「試験」・まとめ	事前学習	事後学習	テスト準備 授業全体の振り返り・学習の定着				
学習上の留意点	保育者にとって必要な音楽の知識を確実に習得するために、毎回の復習を欠かさないこと。 楽典の知識を演奏に生かすことができているかを常に意識すること。 子どもの歌の歌唱については、自身の歌唱が子どもにとってどのように聞こえているかを常に意識し、レポートを増やすこと。五線ノートは毎回持参すること						
成績評価の方法	授業に対する意欲、受講態度20% 授業内試験30% 筆記試験50% 以上の総合的評価とする ただし、授業内試験、筆記試験の双方が基準点に達していることを単位取得の最低条件とする。			教科書	音楽の基礎と表現～楽典とソルフェージュ～/楠井淳子/ふくろう出版 幼児のうたとあそび/ふくろう出版		
				参考資料	幼稚園教育要領・幼稚園教育要領解説(最新版) 保育所保育指針・保育所保育指針解説(最新版) 幼保連携型認定こども園教育・保育要領(最新版) 幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説(最新版)		

シラバス(授業計画)

部	夜間部	学期	半期	授業形態	演習	単位数	1単位	
科目名	ピアノ実技 I			担当教員	ピアノ:桐生他 グループ:奥野(午後)、笠木(夜間)	ピアノ教室講師として 実務経験有		
全体目標	こどもの感性や創造性を豊かにする音楽表現の一つである、ピアノ演奏の基礎技術力と知識を身につける。							
一般目標	ピアノの基本的な奏法を習得するとともに、こどもが使用する楽器の奏法を学び、音楽理論の復習によって読譜力を向上させる。							
到達目標	個人レッスンでは習熟度別にピアノ演奏の基礎技術を高める。 グループ授業では簡易楽器の奏法を学び、楽譜を読み解くための知識を深める。							
授業 の な が れ	回数	[授 業 内 容]			課外学習			
	①	全体ガイダンス、楽器の取り扱い方、音楽学習歴調査 練習開始曲の決定、個人レッスン開始			事前学習	シラバスの確認		
					事後学習	説明内容の把握		
	②	個人レッスン(Step I A-1、Step II B-1など) グループ授業(音程のない打楽器について)			事前学習	曲の譜読み・練習		
					事後学習	指摘箇所の確認		
	③	個人レッスン(Step I A-2、Step II B-2など) グループ授業(合奏楽器1)			事前学習	曲の譜読み・練習		
					事後学習	指摘箇所の確認		
	④	個人レッスン(Step I A-3、Step II B-3など) グループ授業(合奏楽器2)			事前学習	曲の譜読み・練習		
					事後学習	指摘箇所の確認		
	⑤	個人レッスン(Step I A-4、Step II B-4など) グループ授業(合奏楽器3)			事前学習	曲の譜読み・練習		
					事後学習	指摘箇所の確認		
	⑥	個人レッスン(Step I A-5、Step II B-5など) グループ授業(合奏楽器4)			事前学習	曲の譜読み・練習		
					事後学習	指摘箇所の確認		
	⑦	個人レッスン(Step I A-6、Step II B-6など) グループ授業(カスタネットアンサンブル)			事前学習	曲の譜読み・練習		
					事後学習	指摘箇所の確認		
⑧	個人レッスン(Step I A-7、Step II B-7など) グループ授業(ミュージックベル1)			事前学習	曲の譜読み・練習			
				事後学習	指摘箇所の確認			
⑨	個人レッスン(Step I A-8、Step II B-8など) グループ授業(ミュージックベル2)			事前学習	曲の譜読み・練習			
				事後学習	指摘箇所の確認			
⑩	個人レッスン(Step I A-9、Step II B-9など) グループ授業(リズムと拍子復習)			事前学習	曲の譜読み・練習			
				事後学習	指摘箇所の確認			
⑪	個人レッスン(Step I A-10、Step II B-10など) グループ授業(音程復習)			事前学習	曲の譜読み・練習			
				事後学習	指摘箇所の確認			
⑫	個人レッスン(Step I A-11、Step II B-11など) グループ授業(音階と調復習)			事前学習	曲の譜読み・練習			
				事後学習	指摘箇所の確認			
⑬	個人レッスン(Step I A-12、Step II B-12など) グループ授業(コードネーム復習)			事前学習	曲の譜読み・練習			
				事後学習	試験曲の把握			
⑭	試験曲レッスン・リハーサル・試験の諸注意 グループ授業(楽典模擬試験)			事前学習	記録票の点検			
				事後学習	指摘箇所の練習			
⑮	ピアノ実技試験・講評・まとめ			事前学習	試験曲の練習			
				事後学習	講評内容の把握			
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・毎時間、個人レッスンとグループ授業を受講する。礼節をわきまえ、速やかに移動すること。 ・教員の助言したポイントに気をつけ、毎日の練習を欠かさないこと。特に自宅に鍵盤楽器を所有しない学生は、学校のピアノを授業前後の空き時間に有効利用すること。 ・読譜に慣れるため、楽譜に階名を記入しないこと。 							
成績評価の方法	ピアノ実技試験	70%					教科書	「ピアノへのアプローチ4Steps」音楽之友社
	平常点	30%						「音楽の基礎と表現～楽典とソルフェージュ～改訂版」 ふくろう出版 五線ノート、適宜プリント教材を使用
	(グループ授業評価、合格曲の難易度と曲数、受講態度、授業参加状況)						参考資料	「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」及び各解説
	以上を総合的に評価する			※記録票の提出必須				

シラバス(授業計画)

部	夜間部	学期	半期	授業形態	演習	単位数	1単位	
科目名	ピアノ実技Ⅱ			担当教員	ピアノ: 桐生他 グループ: 田中(午後)笠木(夜間)	ピアノ教室講師として 実務経験有		
全体目標	ピアノ実技Ⅰと音楽基礎で学習した技術と知識を基に、ピアノ演奏技術を向上させる。							
一般目標	保育現場で使用される生活のうたや行進曲の演奏を通して、応用的な奏法を習得し、歌唱における音楽表現を学ぶ。							
到達目標	個人レッスンの前半は教育実習に向けた生活のうた、後半は行進曲や標題音楽を習得する。 グループ授業では子どもの歌のワークブックから曲の理解を深め、視唱やリズム打ちを通して読譜力を強化させる。							
授 業 の な が れ	回数	[授 業 内 容]			課外学習			
	①	初回ガイダンス、生活のうたの位置づけ、個人レッスン開始 グループ授業(子どもの歌ワーク1)			事前学習 事後学習	曲の譜読み・練習 説明内容の把握		
	②	個人レッスン(おべんとうなど) グループ授業(子どもの歌ワーク2)			事前学習 事後学習	曲の譜読み・練習 指摘箇所の確認		
	③	個人レッスン(おはようなど) グループ授業(子どもの歌ワーク3)			事前学習 事後学習	曲の譜読み・練習 指摘箇所の確認		
	④	個人レッスン(おかえりのうたなど) グループ授業(子どもの歌ワーク4)			事前学習 事後学習	曲の譜読み・練習 指摘箇所の確認		
	⑤	個人レッスン(おはようのうたなど) グループ授業(子どもの歌ワーク5)			事前学習 事後学習	曲の譜読み・練習 指摘箇所の確認		
	⑥	個人レッスン(さよならのうたなど) グループ授業(子どもの歌ワーク6)			事前学習 事後学習	曲の譜読み・練習 試験曲の把握		
	⑦	中間試験曲レッスン・リハーサル・試験の諸注意 グループ授業(生活の歌)			事前学習 事後学習	試験曲の練習 指摘箇所の確認		
	⑧	ピアノ実技中間試験・講評 試験後、個人レッスン(グランド・マーチなど)、グループ授業(季節の歌1)			事前学習 事後学習	試験曲の練習 講評内容の把握		
	⑨	個人レッスン(アレキサンダー・マーチなど) グループ授業(季節の歌2)			事前学習 事後学習	曲の譜読み・練習 指摘箇所の確認		
	⑩	個人レッスン(ジョン・ブラウンス・ポディなど) グループ授業(実習特別ピアノレッスン1)			事前学習 事後学習	曲の譜読み・練習 指摘箇所の確認		
	⑪	個人レッスン(ルイヴィル・マーチなど) グループ授業(実習特別ピアノレッスン2)			事前学習 事後学習	曲の譜読み・練習 指摘箇所の確認		
	⑫	個人レッスン(結婚行進曲(ワグナー)など) グループ授業(実習特別ピアノレッスン3)			事前学習 事後学習	曲の譜読み・練習 指摘箇所の確認		
	⑬	個人レッスン(結婚行進曲(メンデルスゾーン)など) グループ授業(行事の歌)			事前学習 事後学習	曲の譜読み・練習 試験曲の把握		
	⑭	試験曲レッスン・リハーサル・試験の諸注意 グループ授業(ピアノ試験曲練習)			事前学習 事後学習	記録票の点検 指摘箇所の確認		
⑮	ピアノ実技期末試験・講評・まとめ			事前学習 事後学習	試験曲の練習 講評内容の把握			
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・毎時間、個人レッスンとグループ授業を受講する。礼節をわきまえ、速やかに移動すること。 ・教員の助言したポイントに気をつけ、毎日の練習を欠かさないこと。特に自宅に鍵盤楽器を所有しない学生は、学校のピアノを授業前後の空き時間に有効利用すること。 ・読譜に慣れるため、楽譜に階名を記入しないこと。 							
成績評価の方法	ピアノ実技試験	70%					教科書	「幼児のうたとあそび」ふくろう出版
	平常点	30%						「ピアノへのアプローチ4Steps」音楽之友社 「音楽の基礎と表現～楽典とソルフェージュ～改訂版」 ふくろう出版 適宜プリント教材を使用
	以上を総合的に評価する			※記録票の提出必須			参考資料	「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」及び各解説

シラバス(授業計画)

部	夜間部	学期	半期	授業形態	演習	単位数	1単位
科目名	基礎造形			担当教員	桑原 恒和	芸術系教員として実務経験有	
全体目標	各学生が基礎的な造形・絵画表現についての知識を、実際の制作と指導を基に習得する事を目標とする。						
一般目標	各学生が集中して制作に専念し、各課題を楽しみながら自発的に工夫を加えつつ発展させて行く事を目標とする。						
到達目標	各学生が身近な素材を基に、将来指導する事を念頭に、効果的な教育活動を行なえる様、実際の体験を通して知識を習得する事を目標とする。						
授業のながれ	回数	[授 業 内 容]			課外学習		
	①	自分の体から(1)手を描く			事前学習	各部分の向きや厚みを意識する	
					事後学習	指摘箇所の確認	
	②	自分の体から(2)耳を描く			事前学習	不思議な形を描く	
					事後学習	指摘箇所の確認	
	③	自分の体から(3)頭部を描く			事前学習	左右非対称を意識する	
					事後学習	指摘箇所の確認	
	④	音楽による想像画(1)イメージを描く			事前学習	頭に浮かんだものを描く	
					事後学習	指摘箇所の確認	
	⑤	音楽による想像画(2)仕上げる			事前学習	説得力を持つ様、細部を仕上げる	
					事後学習	指摘箇所の確認	
	⑥	個別指導、採点、講評、お面作りの下絵制作			事前学習	どんなお面を作るのかを考える	
					事後学習	指摘箇所の確認	
	⑦	紙粘土によるお面制作(1)面芯の準備と土台作り			事前学習	全体の大きさやボリュームを考える	
					事後学習	指摘箇所の確認	
⑧	紙粘土によるお面制作(2)バランスを考え、盛る			事前学習	立体感を意識して制作する		
				事後学習	指摘箇所の確認		
⑨	紙粘土によるお面制作(3)各部分の制作			事前学習	細部を工夫する		
				事後学習	指摘箇所の確認		
⑩	紙粘土によるお面制作(4)修正			事前学習	丁寧にひび割れた所を修正する		
				事後学習	指摘箇所の確認		
⑪	紙粘土によるお面制作(5)着色			事前学習	色の組み合わせに注意する		
				事後学習	指摘箇所の確認		
⑫	紙粘土によるお面制作(6)仕上げ			事前学習	違う素材との組み合わせを考える		
				事後学習	指摘箇所の確認		
⑬	画面に楽器全体を閉じ込める(1)ギター			事前学習	膨らませる、曲げるのデフォルメ		
				事後学習	指摘箇所の確認		
⑭	画面に楽器全体を閉じ込める(2)サクソフォン			事前学習	引き延ばす、丸めるのデフォルメ		
				事後学習	指摘箇所の確認		
⑮	試験、まとめ			事前学習	登校時に形の面白いものを見つけ、モデルとし、デッサンする		
				事後学習	指摘箇所の確認		
学習上の留意点	美術が出来ない、苦手という思い込みやコンプレックスを乗り越え、自分は他人とどう違い、どんな個性を持っているのかを認識し、各制作を通して自信を付けて行く事を目指します。						
成績評価の方法	通常の各課題			70%	教科書	無し、必要に応じて資料を配布します。	
	定期試験			20%		参考資料	「絵画制作・造形」東京書籍
	授業参加状況や受講態度(提出期限の厳守、画材、材料を忘れない事も含む)			10%			「幼稚園教育要領」、「保育所保育指針」、「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」及び各解説書

シラバス(授業計画)

部	夜間部	学期	半期	授業形態	演習	単位数	1単位
科目名	あそびと造形			担当教員	松葉 百香	幼稚園教諭・保育士として実務経験有	
全体目標	造形することの楽しさや喜びを味わう 具体的な場面から子どもたちの楽しめる造形あそびや工作を考える						
一般目標	幼児の造形についての理解を深め、現場で使うことができる様々な技法や、廃材を使用した工作を考えることができる						
到達目標	様々な素材を使って造形あそびを楽しみ、子どもたちに表現することの楽しさを伝えることができるようになる						
授業のながれ	回数	[授業内容]			課外学習		
	① オリエンテーション 紙であそぼう				事前学習	シラバスの確認をしておく	
					事後学習	道具を用意する	
	② 切り紙1 花・つながる模様				事前学習	初回に説明した道具を持参する	
					事後学習	さまざまな切り紙を作成する	
	③ 切り紙2 花・つながる模様からイメージを広げる				事前学習	事前に伝えた内容のもので計画を立てる	
					事後学習	切り紙のおもしろさを感じる	
	④ 貼り絵 1 切り紙を使った貼り絵				事前学習	事前に伝えた内容のもので計画を立てる	
					事後学習	貼り絵を仕上げる	
	⑤ 貼り絵 2 切り紙を使った貼り絵 食べ物				事前学習	事前に伝えたテーマに対して調べておく	
					事後学習	イメージをふくらませながら作成する	
	⑥ 実習で使えるシアター 1 計画・作成				事前学習	前回の作成状況の振り返り、仕上げ	
					事後学習	シアターを練習する	
	⑦ 実習で使えるシアター 2 作成・仕上げ				事前学習	シアターを練習する	
					事後学習	発表した内容を振り返る	
	⑧ 廃材を使った工作「食べ物プレート」1 テーマを決めて作っていく				事前学習	前回の作成状況の振り返り、仕上げ	
				事後学習	シアターを練習する		
⑨ 廃材を使った工作「食べ物プレート」2 材料を工夫する				事前学習	作成するための素材集め・計画・作成		
				事後学習	自分の思いを表現することを楽しむ		
⑩ 廃材を使った工作「食べ物プレート」3 仕上げ				事前学習	作成するための素材集め・計画・作成		
				事後学習	イメージをふくらませながら作成する		
⑪ 遊びの中で使うもの 1 計画・作成				事前学習	どのような遊びで使うものを作るのか考える		
				事後学習	子どもたちが使うものを作成する		
⑫ 遊びの中で使うもの 2 作成・仕上げ				事前学習	子どもたちが使いやすいように考える		
				事後学習	作っているものを仕上げる		
⑬ 廃材を使った工作「おみせやさんごっこ」1 おもちゃ作り				事前学習	作成するための素材集め		
				事後学習	子どもたちが楽しめることを考える		
⑭ 廃材を使った工作「おみせやさんごっこ」2 作品発表・仕上げ				事前学習	子どもたちが楽しめることを考えながら作成する		
				事後学習	「ままごとで使えるえるおもちゃ」を仕上げる		
⑮ まとめ おみせやさんごっこ 作成ノートをまとめる				事前学習	これまでの内容の復習		
				事後学習	講評のフィードバック		
学習上の留意点	丁寧な作成し授業に臨む姿勢を大切にすること 個人だけではなくグループで作成や作品鑑賞会等をおこなうため、コミュニケーションを大切にすること 日常から、造形あそびや作成のヒントになる素材やテーマを見つける習慣をつけるようにすること						
成績評価の方法	授業参加状況や受講態度(忘れ物等)	40%	教科書	必要に応じて資料を配布			
	作品、提出物	30%		参考資料	『幼稚園教育要領』(平成29年3月告示 文部科学省)『幼稚園教育要領解説』 『保育所保育指針』(平成29年3月告示 厚生労働省)『保育所保育指針解説』 『幼保連携型認定こども園教育・保育要領』 (平成29年3月告示 内閣府・文部科学省・厚生労働省) 『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』		
	作成ノート	30%					
	準備物を忘れることや課題の未提出や3回以上の欠席がある場合は厳しい評価となります。						

シラバス(授業計画)

部	夜間部 午後コース	学期	半期	授業形態	演習		単位数	1単位
科目名	あそびと運動 I			担当教員	浦田 一		幼稚園教諭・保育教諭として実務経験有	
全体目標	幼児教育における「あそびと運動」についてその意義を理解する。							
一般目標	保育における「集団遊び」について、幼児の発達を踏まえた指導の基礎を学ぶ。							
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 集団遊びの意義を理解する。 ・ 保育者としての心構えを身につける。 ・ 幼児が味わう遊びの楽しさを理解する。 							
授 業 の な が れ	回数	[授 業 内 容]			課外学習			
	①	オリエンテーション 【講義】 「あそび」の基本的考えと本科目の目的を把握する			事前学習 事後学習	シラバスの考察 事例の検討		
	②	遊びを通じたコミュニケーション 【演習】 コミュニケーションの楽しさ、大切さを知る			事前学習 事後学習	プリント学習 実践内容のまとめ		
	③	音楽を使った遊びのコミュニケーション 【演習】 コミュニケーションの楽しさ、大切さを知る			事前学習 事後学習	プリント学習 実践内容のまとめ		
	④	じゃんけん遊び 【演習】 遊びの様々な発展を考える			事前学習 事後学習	プリント学習 講義内容の確認		
	⑤	器具を使った遊び 【演習】 遊びの様々な工夫を考える			事前学習 事後学習	プリント学習 実践内容のまとめ		
	⑥	子どもの遊びを考える(遊びとは) 【講義】 授業で学習した内容を知識として知得する			事前学習 事後学習	プリント学習 実践内容のまとめ		
	⑦	伝承遊び 【演習】 伝承遊びを継承する大切さを考える			事前学習 事後学習	プリント学習 実践内容のまとめ		
	⑧	試験・講評			事前学習 事後学習	試験内容の確認 講評内容の理解		
学習上の留意点	<p>以下の点に留意して、授業に臨んでください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーション活動に積極的に参加してください。 ・現場に出たときの、自分の姿を想像しながら参加してください。 <p>*授業は実技を中心に行う為、運動着・運動靴を着用ください。</p>							
成績評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・定期試験 50% ・授業参加状況・態度 50% 			教科書	必要に応じてプリント配布			
				参考資料	「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」 「保育所保育指針」「幼稚園教育要領」各解説書 「幼児期における 運動発達と運動遊びの指導」 「新訂 のびのび遊べる子に」など			

シラバス(授業計画)

部	夜間部 夜間コース	学期	半期	授業形態	演習	単位数	1単位
科目名	あそびと運動 I			担当教員	榎元 ゆう子	幼児体育指導員として 実務経験有	
全体目標	・幼児期における「あそび」について教育的価値を理解する						
一般目標	・保育で行う「あそび」を通じ、発達の具体性と遊びの必要性を学ぶ						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・運動スキルの基礎を身につける ・遊びを通して体を動かす楽しさを実感し、それを活かすことができる ・自主的な活動を通じて、創造性を発揮できるようになる 						
授業のながれ	回数	[授業内容]			課外学習		
	①	オリエンテーション			事前学習	シラバスの考察	
					事後学習	講義内容の確認	
	②	運動指導のポイントと現代の課題について 運動あそびの理解			事前学習	前回の復習	
					事後学習	演習内容の復習	
	③	マット、跳び箱、鉄棒など器具や遊具を使った 運動あそびの実践			事前学習	前回の復習	
					事後学習	演習内容の復習	
	④	なわ、ボール、フープを使った運動あそびの実践			事前学習	前回の復習	
					事後学習	演習内容の復習	
⑤	鬼あそび、ドッジボール 競う、協力することを楽しむ運動あそびの実践			事前学習	前回の復習		
				事後学習	演習内容の復習		
⑥	指導者の補助、幫助 危機管理、応急処置、指導者の心構え			事前学習	前回の復習		
				事後学習	演習内容の復習		
⑦	グループワーク あそびの考案、発表(実施)			事前学習	前回の復習		
				事後学習	演習内容の復習		
⑧	試験・まとめ			事前学習	試験内容の確認		
				事後学習	講評の確認		
学習上の留意点	<p>以下のことに留意して、授業に臨んでください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育者を目指す者としてふさわしい態度・挨拶・返事・言葉遣い・身だしなみを心がけてください。 ・「あそび」の楽しさを体感できるよう積極的に活動に参加してください。 ・体を動かします。それにふさわしい服装・髪型で授業に臨んでください。 						
成績評価の方法	・授業参加状況	20%	教科書	「保育と幼児期の運動あそび」			
	・レポート提出率	20%		参考資料	「幼児期運動指針」		
	・活動意欲・態度	20%	「幼児期における運動発達と運動遊びの指導」 プリント配布				
	・最終発表での創意工夫・実行力	40%					

シラバス(授業計画)

部	夜間部 午後コース	学期	半期	授業形態	演習		単位数	1単位
科目名	あそびと運動Ⅱ			担当教員	浦田 一		幼稚園教諭・保育教諭 として実務経験有	
全体目標	幼児期における発達の違い、遊びの重要性を理解する。							
一般目標	集団遊びを通じ、遊びの楽しさと運営方法を具体的に学ぶ。							
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・個々の能力や体力の違いを理解する。 ・子どもたちの遊びの中における保育者の役割を学ぶ。 ・保育現場で実際に使える力を身につける。 							
授 業 の な が れ	回数	[授 業 内 容]			課外学習			
	①	運動と遊びの関係 【演習】 幼児期の運動と遊びを考える			事前学習 事後学習	プリント学習 講義内容の確認		
	②	子どもの遊びを考える(集団ゲームの価値) 授業で学習した内容を知識として知得する 【講義】			事前学習 事後学習	プリント学習 実践内容のまとめ		
	③	集団ゲーム(仲間との交流) 【演習】 仲間との交流を意識した運動遊びを考える			事前学習 事後学習	プリント学習 実践内容のまとめ		
	④	集団ゲーム(ルール工夫と発展) 【演習】 ルール工夫と発展を意識した運動遊びを考える			事前学習 事後学習	プリント学習 講義内容の確認		
	⑤	集団ゲーム(数量・時間・空間) 【演習】 数量・時間・空間を意識した運動遊びを考える			事前学習 事後学習	プリント学習 実践内容のまとめ		
	⑥	集団ゲーム(脱中心化) 【演習】 脱中心化を意識した運動遊びを考える			事前学習 事後学習	プリント学習 実践内容のまとめ		
	⑦	まとめ・遊び集作成 【講義】 授業で学習した内容を知識として知得する			事前学習 事後学習	ゲームを一つ創作してくる 講義内容の確認		
	⑧	試験・講評			事前学習 事後学習	試験内容の確認 講評内容の理解		
学習上の留意点	<p>以下の点に留意して、講義に望むこと。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーション活動への積極的な参加 ・立場(保育者・幼児)による視点の理解 							
成績評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・定期試験 50% ・授業参加状況・態度 50% 			教科書	配布プリント			
				参考資料	「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」 「保育所保育指針」「幼稚園教育要領」各解説書 「幼児期における 運動発達と運動遊びの指導」 「新訂 のびのび遊べる子に」			

シラバス(授業計画)

部	夜間部 夜間コース	学期	半期	授業形態	演習	単位数	1単位
科目名	あそびと運動Ⅱ			担当教員	榎元 ゆう子	幼児体育指導員として 実務経験有	
全体目標	・幼児期における「あそび」について教育的価値を理解する						
一般目標	・保育で行う「あそび」を通じ、発達の具体性と遊びの必要性を学ぶ						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・運動スキルの基礎を身につける ・遊びを通して体を動かす楽しさを実感し、それを活かすことができる ・自主的な活動を通じて、創造性を発揮できるようになる 						
授 業 の な が れ	回数	[授 業 内 容]			課外学習		
	①	オリエンテーション チームで行う運動あそび			事前学習	シラバスの考察	
					事後学習	講義内容の確認	
	②	基本的な身体運動でおこなう遊びの理解と実施			事前学習	前回の復習	
					事後学習	演習内容の復習	
	③	チームで行うあそびの理解と実施			事前学習	前回の復習	
					事後学習	演習内容の復習	
	④	チームで行うあそびの理解と実施 グループ決め・グループワーク			事前学習	前回の復習	
					事後学習	演習内容の復習	
⑤	グループワーク(あそびの指導計画をつくる)			事前学習	前回の復習		
				事後学習	演習内容の復習		
⑥	グループワーク(あそびのシュミレーションを実施)			事前学習	前回の復習		
				事後学習	指導計画立案		
⑦	あそびの発表			事前学習	指導計画立案		
				事後学習	指導計画を見直す		
⑧	試験・まとめ			事前学習	試験内容の確認		
				事後学習	講評の確認		
学習上の留意点	<p>以下のことに留意して、授業に臨んでください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育者を目指す者としてふさわしい態度・挨拶・返事・言葉遣い・身だしなみを心がけてください。 ・「あそび」の楽しさを体感できるよう積極的に活動に参加してください。 ・体を動かします。それにふさわしい服装・髪型で授業に臨んでください。 						
成績評価の方法	・授業参加状況			20%	教科書	「保育と幼児期の運動あそび」	
	・レポート提出率			20%			
	・活動意欲・態度			20%	参考資料	「幼児期運動指針」	
	・最終発表での創意工夫・実行力			40%		「幼児期における運動発達と運動遊びの指導」 プリント配布	

シラバス(授業計画)

部	夜間部	学期	半期	授業形態	演習	単位数	1単位
科目名	こどもと音楽 I			担当教員	ピアノ: 桐生他 グループ: 奥野(午後)、笠木(夜間)	ピアノ教室講師として実務経験有	
全体目標	こどものうたを中心とした、弾き歌い演奏の知識・技術と表現力を身につける。						
一般目標	1年生で履修したピアノ実技 I・II の演奏技術から更に高い技能を習得する。幼児の感性、表現する力、創造性を育む伴奏を理解し、より音楽的な演奏力と表現力を向上させる。						
到達目標	個人レッスンでは各曲の適切な伴奏法を考察しながら、弾き歌いのレパートリーを1曲でも多く習得する。グループ授業では子どもの歌のワークブックから曲の理解を深め、歌唱法について学ぶ。						
授業のながれ	回数	[授業内容]			課外学習		
	①	全体ガイダンス、記録票と曲目リストの配布、個人レッスン開始 グループ授業(子どもの歌ワーク1)			事前学習	シラバスの確認	
					事後学習	説明内容の把握	
	②	個人レッスン(生活のうた おはようなど) グループ授業(子どもの歌ワーク2)			事前学習	曲の譜読み・練習	
					事後学習	指摘箇所の確認	
	③	個人レッスン(生活のうた おべんとうなど) グループ授業(子どもの歌ワーク3)			事前学習	曲の譜読み・練習	
					事後学習	指摘箇所の確認	
	④	個人レッスン(生活のうた おかえりのうたなど) グループ授業(子どもの歌ワーク4)			事前学習	曲の譜読み・練習	
					事後学習	指摘箇所の確認	
	⑤	個人レッスン(春のうた おはながわらったなど) グループ授業(子どもの歌ワーク5)			事前学習	曲の譜読み・練習	
					事後学習	指摘箇所の確認	
	⑥	個人レッスン(春のうた ちょうちょうなど) グループ授業(子どもの歌ワーク6)			事前学習	曲の譜読み・練習	
					事後学習	指摘箇所の確認	
	⑦	個人レッスン(春のうた ぶんぶんぶんなど) グループ授業(まとめ)			事前学習	曲の譜読み・練習	
					事後学習	指摘箇所の確認	
⑧	個人レッスン(春のうた めだかのがっこうなど) グループ授業(生活の歌)			事前学習	曲の譜読み・練習		
				事後学習	指摘箇所の確認		
⑨	個人レッスン(夏のうた はをみがきましようなど) グループ授業(季節の歌)			事前学習	曲の譜読み・練習		
				事後学習	指摘箇所の確認		
⑩	個人レッスン(夏のうた あめふりくまのこなど) グループ授業(行事の歌)			事前学習	曲の譜読み・練習		
				事後学習	指摘箇所の確認		
⑪	個人レッスン(夏のうた しゃぼん玉など) グループ授業(合唱1)			事前学習	曲の譜読み・練習		
				事後学習	指摘箇所の確認		
⑫	個人レッスン(夏のうた ありさんのおはなしなど) グループ授業(合唱2)			事前学習	曲の譜読み・練習		
				事後学習	指摘箇所の確認		
⑬	個人レッスン(夏のうた うみなど) グループ授業(合唱3)			事前学習	曲の譜読み・練習		
				事後学習	試験曲の把握		
⑭	試験曲レッスン・リハーサル・試験の諸注意 グループ授業(合唱4)			事前学習	記録票の点検		
				事後学習	試験曲の練習		
⑮	ピアノ実技試験・講評・まとめ			事前学習	試験曲の練習		
				事後学習	講評内容の把握		
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・毎時間、個人レッスンとグループ授業を受講する。礼節をわきまえ、速やかに移動すること。 ・教員の助言したポイントに気をつけ、毎日の練習を欠かさないこと。特に自宅に鍵盤楽器を所有しない学生は、学校のピアノを授業前後の空き時間に有効利用すること。 ・読譜に慣れるため、楽譜に階名を記入しないこと。 						
成績評価の方法	ピアノ実技試験	70%	教科書	「幼児のうたとあそび」ふくろう出版			
	グループ授業評価	20%		「音楽の基礎と表現～楽典とソルフェージュ～改訂版」 ふくろう出版			
	平常点 (授業参加状況、受講態度、合格曲の難易度と曲数)	10%		適宜プリント教材を使用			
	以上を総合的に評価する ※記録票の提出必須			参考資料	「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」及び各解説		

シラバス(授業計画)

部	夜間部	学期	半期	授業形態	演習		単位数	1単位
科目名	こどもと音楽Ⅱ			担当教員	ピアノ: 桐生他 グループ: 田中(午後)、笠木(夜間)		ピアノ教室講師として 実務経験有	
全体目標	こどものうたを中心とした、弾き歌い演奏の知識・技術と表現力を身につける。							
一般目標	より保育現場に即した伴奏方法やレパートリーを習得する。(こどもと音楽Ⅰの合格曲を除く)							
到達目標	個人レッスンでは各曲の適切な伴奏法を考察しながら、弾き歌いのレパートリーを1曲でも多く習得する。グループ授業ではコードネームを理解し、簡易伴奏法を身につける。							
授 業 の な が れ	回数	[授 業 内 容]			課外学習			
	①	初回ガイダンス、個人レッスン開始 グループ授業(コードネームの種類)			事前学習	曲の譜読み・練習		
					事後学習	説明内容の把握		
	②	個人レッスン(秋のうた きのこなど) グループ授業(実習特別ピアノレッスン1)			事前学習	曲の譜読み・練習		
					事後学習	指摘箇所の確認		
	③	個人レッスン(秋のうた どんぐりころころなど) グループ授業(実習特別ピアノレッスン2)			事前学習	曲の譜読み・練習		
					事後学習	指摘箇所の確認		
	④	個人レッスン(秋のうた こぎつねなど) グループ授業(実習特別ピアノレッスン3)			事前学習	曲の譜読み・練習		
					事後学習	指摘箇所の確認		
	⑤	個人レッスン(冬のうた 赤鼻のトナカイなど) グループ授業(メジャー、マイナーコード)			事前学習	曲の譜読み・練習		
					事後学習	指摘箇所の確認		
	⑥	個人レッスン(冬のうた 雪など) グループ授業(オーギュメント、ディミニッシュコード)			事前学習	曲の譜読み・練習		
					事後学習	指摘箇所の確認		
	⑦	個人レッスン(冬のうた ゆげのあさなど) グループ授業(セブンスコード)			事前学習	曲の譜読み・練習		
					事後学習	指摘箇所の確認		
⑧	個人レッスン(行事のうた こいのぼりなど) グループ授業(コードの転回)			事前学習	曲の譜読み・練習			
				事後学習	指摘箇所の確認			
⑨	個人レッスン(行事のうた お正月など) グループ授業(ハ長調のコード)			事前学習	曲の譜読み・練習			
				事後学習	指摘箇所の確認			
⑩	個人レッスン(行事のうた 思い出のアルバムなど) グループ授業(ヘ長調のコード)			事前学習	曲の譜読み・練習			
				事後学習	指摘箇所の確認			
⑪	個人レッスン(行事のうた Happy Birthday To Youなど) グループ授業(ト長調のコード)			事前学習	曲の譜読み・練習			
				事後学習	指摘箇所の確認			
⑫	個人レッスン(みんなのうた にじなど) グループ授業(カデンツと伴奏形)			事前学習	曲の譜読み・練習			
				事後学習	指摘箇所の確認			
⑬	個人レッスン(みんなのうた さんぽなど) グループ授業(まとめ)			事前学習	曲の譜読み・練習			
				事後学習	試験曲の把握			
⑭	試験曲レッスン・リハーサル・試験の諸注意 グループ授業(弾き歌い試験曲練習)			事前学習	記録票の点検			
				事後学習	試験曲の練習			
⑮	ピアノ実技試験・講評・まとめ			事前学習	試験曲の練習			
				事後学習	講評内容の把握			
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・毎時間、個人レッスンとグループ授業を受講する。礼節をわきまえ、速やかに移動すること。 ・教員の助言したポイントに気をつけ、毎日の練習を欠かさないこと。特に自宅に鍵盤楽器を所有しない学生は、学校のピアノを授業前後の空き時間に有効利用すること。 ・読譜に慣れるため、楽譜に階名を記入しないこと。 							
成績評価の方法	ピアノ実技試験	70%		教科書	「幼児のうたとあそび」ふくろう出版			
	グループ授業評価	20%			「音楽の基礎と表現～楽典とソルフェージュ～改訂版」 ふくろう出版			
	平常点 (授業参加状況、受講態度、合格曲の難易度と曲数)	10%			適宜プリント教材を使用			
	以上を総合的に評価する ※記録票の提出必須			参考資料	「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」及び各解説			

シラバス(授業計画)

部	夜間部	学期	半期	授業形態	演習	単位数	1単位
科目名	こどもと音楽Ⅲ			担当教員	藤田 桂子 笠木 厚憲		
全体目標	領域「表現」のねらい及び内容について、乳幼児の育ちと関連付けて具体的に理解する。 採用試験対策として演奏のレパートリーを充実させ、音楽表現活動に結びつける。 総合的な表現活動について理解し、実際に制作することで、保育現場における実践的な力を培う。						
一般目標	子どもの育ちと音楽との関わりについて理解し、年齢や発達に沿った音楽表現の素材を選択する。 総合的な表現活動をとおして、保育における実践能力を養う。 実践的な弾き歌いの発表を経験し、子どもとおこなう歌唱の活動についての意義や方法を習得する。						
到達目標	乳幼児の成長と表現活動を理解し、援助、指導ができる。 子どもたちの豊かな想像力や表現活動を育むことができる総合的な表現活動を実践できる。 手遊び歌など様々な曲を通して子どもの表現活動を援助し、素材の活用法や演奏・表現技能を習得する。						
授業のながれ	回数	[授業内容]			課外学習		
	①	「こどもと音楽Ⅲ」のねらいと内容について、乳幼児の育ちと関連づけて理解する。乳児の音楽的な活動から、表現の芽生えを見出す。			事前学習	教科書の該当箇所を読み込む	
					事後学習	ワークシート完成	
	②	乳幼児の具体的な姿を事例と映像から理解し、その表現活動について考える。ピアノ曲と弾き歌い曲のレパートリー作り1			事前学習	教科書の該当箇所を読み込む	
					事後学習	ワークシート完成	
	③	幼児の音楽的表現活動における心情や認識、思考から、援助、指導の方法と留意点を学習する。ピアノ曲と弾き歌い曲のレパートリー作り2			事前学習	教科書の該当箇所を読み込む	
					事後学習	ワークシート完成	
	④	「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」と小学校教育への関連性について考える。ピアノ曲と弾き歌い曲のレパートリー作り3			事前学習	教科書の該当箇所を読み込む	
					事後学習	学習ポートフォリオによる振り返り	
	⑤	弾き歌いの発表準備 レパートリー作りのまとめ			事前学習	発表曲練習	
					事後学習	発表準備	
	⑥	弾き歌いの実践的発表と振り返り 弾き歌いを用いた模擬保育を個人発表する。			事前学習	発表準備	
					事後学習	学習ポートフォリオによる振り返り	
	⑦	手遊びの実践 様々な手遊びを、アカペラで正確に歌唱しながらおこなう。			事前学習	教科書の該当箇所を読み込む	
					事後学習	手遊び創作準備	
⑧	手遊びの創作、発表 オリジナル手遊びを制作し、個人発表する。			事前学習	発表準備		
				事後学習	学習ポートフォリオによる振り返り		
⑨	「ドラムジカ」の制作1 総合的な音楽表現活動の一例としてドラムジカを制作する。脚本を作成し、選曲をおこない、道具の作成について話し合う。			事前学習	資料準備		
				事後学習	個人練習		
⑩	「ドラムジカ」の制作2 脚本を完成させ、読み合わせをおこなう。同時に道具の作成を開始する。			事前学習	個人練習		
				事後学習	個人練習		
⑪	「ドラムジカ」の制作3 演出プランを考え立ち稽古を開始する。引きつづき道具の製作をおこなう。			事前学習	個人練習		
				事後学習	個人練習		
⑫	「ドラムジカ」の制作4 暗譜し、具体的な動きを確認後、通し稽古をおこなう。			事前学習	個人練習		
				事後学習	個人練習		
⑬	「ドラムジカ」の制作5 リハーサルをおこない、振り返りをして問題点を洗い出し、修正する。			事前学習	個人練習		
				事後学習	発表準備		
⑭	「ドラムジカ」の制作6 グループ発表			事前学習	発表準備		
				事後学習	学習ポートフォリオによる振り返り		
⑮	学習のまとめを行い、幼児の表現活動の理解や援助、総合的な音楽表現の学習ができていたかを自己評価し振り返る。			事前学習	学習してきた単元についての確認		
				事後学習	学習ポートフォリオによる振り返り		
学習上の留意点	グループ活動を多く行うため、他の学生に迷惑になることを考え、授業を欠席しないこと。 授業に必要な楽譜等の資料準備は、授業時間外で行うこと。 ピアノ演奏や歌唱の実技は、常に子どもの音楽表現活動の場面を想定し、演奏できるよう練習に取り組む。						
成績評価の方法	受講態度、授業参加状況(グループワークも含む)40% 提出物、発表60% 以上の総合評価とする			教科書	「ユニバーサルデザインの音楽表現」萌文書林 「幼児のうたとあそび」ふくろう出版 「ピアノへのアプローチ4Steps」音楽之友社		
				参考資料	「幼稚園教育要領」「幼稚園教育要領解説」 「保育所保育指針」「保育所保育指針解説」 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」		

シラバス(授業計画)

部	夜間部	学期	半期	授業形態	演習	単位数	1単位
科目名	こどもと音楽Ⅳ			担当教員	笠木 厚憲		
全体目標	領域「表現」のねらい及び内容について、乳幼児の育ちと関連付けて具体的に理解する。様々な音楽表現について学習し、保育における実践能力を養う。						
一般目標	子どもの成長と音楽表現活動を理解し、年齢や発達に沿った音楽の感性や創造性を選択する。音楽の総合的な表現活動をとおして、保育における実践能力を習得する。						
到達目標	子どもの想像力や表現活動を援助し育むことができる総合的表現活動を実践できる技能を身に付けている。合奏や歌唱など、音楽活動に必要な活用法や演奏・表現技能を身に付けている。						
授業のながれ	回数	[授業内容]			課外学習		
	①	領域「表現」のねらいと内容理解、遊びと生活の中の様々な音楽表現について理解する。身体を使った音楽活動1 ボディーパーカッションによる自己表現やコミュニケーション能力について考える。	事前学習	教科書の該当箇所を読み込む	事後学習	学習ポートフォリオによる振り返り	
	②	身体を使った音楽活動2 ボディーパーカッションによる演習。リズム練習。グループ発表。	事前学習	パーカッションの奏法	事後学習	復習	
	③	身体を使った音楽活動3 ボイスパーカッションによる演習。言葉のテーマを作りリズム展開していく。グループ発表。	事前学習	ボディーパーカッションの奏法	事後学習	学習ポートフォリオによる振り返り	
	④	歌唱によるアンサンブル1 歌唱の基本を学習する。	事前学習	発声法	事後学習	復習	
	⑤	歌唱によるアンサンブル2 パートに分かれて練習。強弱・言葉の表現を考える。	事前学習	個人練習	事後学習	個人練習	
	⑥	歌唱によるアンサンブル3 全体練習。グループ発表。	事前学習	個人練習	事後学習	学習ポートフォリオによる振り返り	
	⑦	打楽器による合奏1 楽器の取り扱いと注意点、奏法の復習。	事前学習	2年生までの資料準備・復習	事後学習	復習	
	⑧	打楽器による合奏2 選曲をして、担当楽器を決める。パート練習。	事前学習	選曲と練習	事後学習	個人練習	
	⑨	打楽器による合奏3 グループ発表。	事前学習	発表準備	事後学習	学習ポートフォリオによる振り返り	
	⑩	園における音楽発表会を想定したプログラム制作1 総合的な音楽表現活動の一例として、音楽発表会を制作する。プログラムを考える。	事前学習	資料準備と選曲	事後学習	個人練習	
	⑪	園における音楽発表会を想定したプログラム制作2 選曲、役割の分担。それぞれ楽器や歌の練習。	事前学習	個人練習	事後学習	個人練習	
	⑫	園における音楽発表会を想定したプログラム制作3 全体練習。具体的な進行を考えていく。通し稽古。	事前学習	個人練習	事後学習	個人練習	
	⑬	園における音楽発表会を想定したプログラム制作4 リハーサルを行い、振り返りをして問題点を見つけ修正する。	事前学習	個人練習	事後学習	発表練習	
	⑭	園における発表会を想定したプログラム制作5 グループ発表。	事前学習	発表準備	事後学習	学習ポートフォリオによる振り返り	
⑮	学習のまとめを行い、幼児の表現活動の理解や、援助・実践できる音楽表現活動の学習ができていたかを自己評価する。	事前学習	学習してきた単元についての確認	事後学習	学習ポートフォリオによる振り返り		
学習上の留意点	グループ活動を多く行うため、他の学生に迷惑になることを考え、授業を欠席しないこと。 授業に必要な楽譜等の資料準備は、授業時間外で行うこと。 楽器演奏や歌唱の実技は、常に子どもの音楽表現活動を想定し、演奏できるよう練習に取り組む。						
成績評価の方法	受講態度、授業参加状況(グループワークも含む)40% 提出物、発表 60% 以上の総合評価とする			教科書	「ユニバーサルデザイン」の音楽表現」萌文書林 「音楽の基礎と表現」楠井淳子著ふくろう出版 「幼児のうたとあそび」ふくろう出版 プリント教材		
				参考資料	「幼稚園教育要領」「幼稚園教育要領解説」 「保育所保育指針」「保育所保育指針解説」 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」		

シラバス(授業計画)

部	夜間部 午後コース	学期	半期	授業形態	演習	単位数	1単位
科目名	表現技術演習(身体)			担当教員	南部 紗世	幼稚園教諭として 実務経験有	
全体目標	身体で表現することから、器用性の発達、表現の自由、踊ることの楽しさを感じる。						
一般目標	子どもの発達に応じた音楽表現と保育者の指導・援助方法を習得する。						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・身体を動かすことで様々な表現方法を知り、楽しむことでイメージを豊かにし、表現することに関心を持つ。 ・子どもの経験と身体表現を結びつける遊びの展開方法を身につける。 ・作品創作を通じて、子どもの発達に応じた身体表現を考えることができる。 						
授 業 の な が れ	回数	[授 業 内 容]			課外学習		
	①	オリエンテーション【講義】 「身体表現」の基本的考えと本教科の目的を把握する	事前学習 事後学習	シラバスの考察 授業内容の検討			
	②	幼児向けダンス【演習】 様々な表現技法を習得する	事前学習 事後学習	プリント学習 実践内容のまとめ			
	③	フォークダンス【演習】 フォークダンスの発展を考える	事前学習 事後学習	プリント学習 実践内容のまとめ			
	④	リズムあそび【演習】 遊びの発展を考える	事前学習 事後学習	プリント学習 実践内容のまとめ			
	⑤	子どもの表現を考える(表現とは)【講義】 表現について考え、学んだ内容を知識として習得する	事前学習 事後学習	プリント学習 講義内容の確認			
	⑥	表現技法を知る【演習】 様々な表現技法を知る	事前学習 事後学習	プリント学習 実践内容のまとめ			
	⑦	表現技法を知る(ポンポンダンス)【演習】 表現の多様性を学ぶ	事前学習 事後学習	プリント学習 実践内容のまとめ			
	⑧	創作について知る【演習】 作品のイメージを深めた表現活動に取り組む	事前学習 事後学習	プリント学習 実践内容のまとめ			
	⑨	発表作品創作①【演習】 楽曲選択・隊形を検討する	事前学習 事後学習	発表内容の検討 発表内容の作成			
	⑩	発表作品創作②【演習】 振り付けを検討する	事前学習 事後学習	発表内容の検討 発表内容の作成			
	⑪	発表作品創作③【演習】 振り付けを共有する	事前学習 事後学習	発表内容の検討 発表内容の作成			
	⑫	発表作品創作④【演習】 見せ方を検討する	事前学習 事後学習	発表内容の検討 発表内容の確認			
	⑬	研究発表【演習】 作品のイメージを深めた創作表現を行う	事前学習 事後学習	発表内容の確認 発表内容のまとめ			
	⑭	研究内容 まとめ・考察【講義】	事前学習 事後学習	統合的に復習 試験内容の確認			
⑮	試験・講評	事前学習 事後学習	試験内容の確認 講評内容の確認				
学習上の留意点	<p>以下の点に留意して、授業に臨んでください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼児教育者として実技ができるように、習慣的に復習すること。 ・目標をもって基本を身につけること。 <p>*授業は実技を中心に行う為、運動着・運動靴を着用してください。忘れた場合は必ず申し出ること。</p>						
成績評価の方法	・定期試験	50%	教科書	特に指定しない			
	・授業参加状況・態度	30%					
	・研究発表	20%	参考資料	「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」 「保育所保育指針」「幼稚園教育要領」各解説書 「幼児のうたとあそび」 配布プリント			

シラバス(授業計画)

部	夜間部 夜間コース	学期	半期	授業形態	演習	単位数	1単位
科目名	表現技術演習(身体)			担当教員	榎元 ゆう子	幼児体育指導員として 実務経験有	
全体目標	表現運動を体験しそれを楽しめるよう基礎的な知識、体の動かし方を学ぶ。 音に慣れる、音に合わせるなど音や音楽を使用することで体の発達、運動神経の発達を促すことを知る。						
一般目標	運動が、幼児期の発育発達を促すこと意識し楽しませながら指導することを学ぶ。						
到達目標	1. 幼児の発達に応じた指導法を学ぶ。 2. 音に親しみを持ち、体を動かす楽しさを体感する。 3. 指導することを想定し、実際に指導内容を考案し、実践する。						
授業 の な が れ	回数	[授 業 内 容]			課外学習		
	①	オリエンテーション			事前学習	シラバスの確認	
					事後学習	内容の確認	
	②	自分の体を動かしてみよう(ストレッチ) みんなで体を動かそう			事前学習	前回実技復習	
					事後学習	内容確認	
	③	ラジオ体操を楽しむ リズム体操、リズムトレーニングの実践			事前学習	前回実技復習	
					事後学習	内容確認	
	④	グループワーク(音を使った体操の作成)			事前学習	前回実技復習	
					事後学習	内容確認	
	⑤	グループワーク(動きの確認、覚える)			事前学習	前回実技復習	
					事後学習	内容確認	
	⑥	リズム体操 発表			事前学習	前回実技復習	
					事後学習	内容確認	
	⑦	伝承あそび・脳トレーニング			事前学習	前回実技復習	
					事後学習	作品振付確認	
⑧	身近なものを使って表現を楽しむ			事前学習	作品振付確認		
				事後学習	作品の感想、反省		
⑨	音、リズムあそびの実践			事前学習	お遊戯をしてみる		
				事後学習	内容の確認、復習		
⑩	遊戯を考え遊戯を楽しむ			事前学習	振付を考える		
				事後学習	振付の確認		
⑪	グループワーク(遊戯の振付を考える)			事前学習	振付を考える		
				事後学習	振付の確認		
⑫	グループワーク(振付を覚える)			事前学習	前回実技確認		
				事後学習	内容確認		
⑬	グループワーク(作品を完成させる)			事前学習	前回実技確認		
				事後学習	内容確認		
⑭	作品発表			事前学習	振付、動きの確認		
				事後学習	作品を仕上げる		
⑮	試験・まとめ			事前学習	試験練習		
				事後学習	まとめ		
学習上の留意点	服装:パーカーなどフード付きは不可。スカート不可。運動時にふさわしい服装で参加すること。 室内用運動靴、タオル、水分(水、またはお茶)、ノートまたはルーズリーフ等(各自で準備)、筆記用具持参 髪が肩にかかる場合は結ぶ(飾りのないゴムで)※怪我防止のため。健康管理に注意し、授業に参加する。 指導者として模範が示せる実技を習得する。						
成績評価の方法	・授業参加状況			30%	教科書	「感じて楽しむ身体表現」	
	・活動意欲・態度			30%		参考資料	「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」 「幼児期運動指針」「幼児期運動指針実践ガイド」 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」
	・発表での創意工夫・実行力			40%			

シラバス(授業計画)

部	夜間部	学期	集中	授業形態	実習	単位数	2単位	
科目名	保育実習 I (児童福祉施設等)			担当教員	川上 恭代	児童養護施設職員として実務経験有		
全体目標	<ul style="list-style-type: none"> 施設での体験的な学びの中で入所児者を理解し、実践的な保育・養育・支援方法を学ぶ。 施設の役割や施設保育士の職務や役割について学ぶ。 実習を通して自己覚知をすることで、自己課題を明確化し、今後の学びに繋げる。 							
一般目標	<ul style="list-style-type: none"> 保育実習指導 I (児童福祉施設等)やその他の福祉系科目を中心に学んだ知識や技術を反映させ、積極的に取り組む。 							
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> 机上での学びと合わせて、現場での応用力や福祉的な視点を養う。 入所児者、施設職員の様子を観察し、一つひとつの支援や援助の意味や意図を考察する。 							
授業のながれ	<ul style="list-style-type: none"> 実習の期間 後期の定期試験終了後から3月末まで(春休み)の期間に、宿泊実習の場合は8泊10日、通いの実習の場合は10日間実施。 実習の内容 入所児者や利用者の生活支援を主とした実習を行う。 施設により、指導実習(部分)や宿直体験を行うこともある。 事前訪問 後期の教育実習 I 終了後から順次開始。 実習施設の概要および方針、周りの環境や実習時に必要な物品等を確認し、実習に備える。 実習施設の入所児者や利用者、職員の様子を知り、実習に向けての気持ちを高める。 事前課題が提示された場合、期日までに準備し、取り組む。 実習施設巡回指導 実習担当教員を中心に本校教員が実習期間中に実習施設を訪問する。 施設の実習担当者と教員が面談した後、実習生は現地で教員の指導を受ける。 事後訪問 最終日の実習記録や「実習を終えて」等を記載し、原則、実習施設に持参する。 受け取り日や方法については、実習施設の指示に従う。 							
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> 規則正しい生活を送り、心身ともに健康に留意する。 社会人・実習生としてのマナーを守り、保育者としての心構えを持つ。 実習施設と学校へ必要に応じて「報告・連絡・相談」をする。提出物は期限を厳守する。 実習施設で知り得た個人情報の守秘義務を遵守する。 <p>注:本校が定める「実習履修基準」により履修の可否を判断する。</p>							
成績評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> 実習施設の評価を基に実習記録、巡回指導時の状況、報告会を含む実習の取り組み状況を勘案して評価する 最終的には保育実習 I (施設実習・第一回保育所実習)および保育実習指導 I の授業を合わせて評価する 			教科書	<ul style="list-style-type: none"> 「教育・保育実習テキスト」 「保育士をめざす人の福祉施設実習 第2版」 愛知県保育実習連絡協議会他(編)みらい 			
				参考資料	<ul style="list-style-type: none"> 「保育所保育指針」 「保育所保育指針解説」 			

シラバス(授業計画)

部	夜間部 午後コース	学期	半期	授業形態	演習	単位数	1単位	
科目名	保育実習指導 I (児童福祉施設等)			担当教員	柴田 瞳	児童養護施設職員として 実務経験有		
全体目標	・保育実習 I (児童福祉施設)とは、これまでに学んだ知識や技術を元に保育の応用力を養う機会である。そこで、本科目では実習に備え、各施設の役割、目的、援助の方法や必要な視点などの基礎的事項について学び、実習への自己学習課題を明確化していく。							
一般目標	・福祉施設及び子ども・利用者への正しい理解と知識を身に付ける。 ・子どもや利用者への内面への共感的理解のあり方を考える。							
到達目標	・多様な施設の現場の実情を学び、事例検討をする中で、施設で生活する子どもや利用者を理解し、様々な視点による支援や援助のあり方を学ぶ。							
授 業 の な が れ	回数 [授 業 内 容]			課外学習				
	① 保育実習の意義～実習の目的～	事前学習	教科書該当部分 予習	事後学習 実習の目的の復習				
	② 保育実習の意義～実習の概要～	事前学習	教科書該当部分 予習	事後学習 実習の概要の復習				
	③ 実習の内容	事前学習	教科書該当部分 予習	事後学習 各指導、支援の意味や意図の復習				
	④ 実習課題の明確化	事前学習	教科書該当部分 予習	事後学習 課題設定の整理				
	⑤ 実習に際しての留意事項 ～人権と最善の利益について～	事前学習	人権、最善の利益の意味調べ	事後学習 子ども・利用者の最善の利益の復習				
	⑥ 実習に際しての留意事項 ～プライバシーの保護と守秘義務～	事前学習	プライバシー、守秘義務の意味調べ	事後学習 施設での守秘義務の意味と重要性の復習				
	⑦ 実習に際しての留意事項 ～実習生としての心構え～	事前学習	教科書該当部分 予習	事後学習 自らの課題と目標の整理				
	⑧ 施設実習とは	事前学習	教科書該当部分 予習	事後学習 養護系、障害系の施設の復習				
	⑨ 施設での生活と子ども・利用者の理解	事前学習	教科書該当部分 予習	事後学習 実習施設について調べる				
	⑩ 施設実習の事前準備(1) 事前訪問と報告書について	事前学習	教科書該当部分 予習	事後学習 各実習グループでの打ち合わせ				
	⑪ 施設実習の事前準備(2)「朋」から学ぶ	事前学習	「朋」施設実習を考える 予習	事後学習 実習生アンケートから自身の生活を見直す				
	⑫ 施設実習の事前準備(3)実習計画と心構え	事前学習	教科書該当部分 予習	事後学習 施設実習計画書の作成				
	⑬ 施設実習の事前準備(4)記録の書き方	事前学習	教科書該当部分 予習	事後学習 記録の書き方の整理及び復習				
	⑭ 施設実習の事後指導 ～実習における学び(反省と課題等)～	事前学習	教科書該当部分 予習	事後学習 実習に向けての目標及び課題確認				
⑮ 試験・まとめ	事前学習	これまでの学びの復習及び確認	事後学習 試験内容の振り返り					
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・授業を通して、実習生(保育者)としての在るべき姿勢や態度に自ら気付き、身に付くように努力すること。 ・教科書・テキストを毎回持参し、授業で配付する資料は必ずファイルに綴じて保管すること。 ・日頃から社会福祉に関心を持ち、新聞や関連書籍を読み理解を深めること。 ・積極的に授業に取り組み、提出物は期限を厳守すること。 							
成績評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・定期試験 70% ・提出物 30% 上記に平常点(授業参加状況や受講態度等)を勘案して評価する。			教科書	・「教育・保育実習テキスト」 ・「保育士をめざす人の福祉施設実習 第2版」 愛知県保育実習連絡協議会他(編)みらい			
				参考資料	・「保育所保育指針」 ・「保育所保育指針解説」			

シラバス(授業計画)

部	夜間部	学期	半期	授業形態	演習	単位数	1単位
科目名	保育実習指導 I (児童福祉施設等)			担当教員	武弘 和通	児童養護施設職員として実務経験有	
全体目標	<ul style="list-style-type: none"> ・保育実習 I (施設)とは、これまでに学んだ知識や技術を元に保育の応用力を養う機会である。そこで、本科目では実習に備え、各施設の役割、目的、援助の方法や必要な視点などの基礎的事項について学び、実習への自己学習課題を明確化していく。 						
一般目標	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉施設及び子ども・利用者への正しい理解と知識を身に付ける。 ・子どもや利用者への内面への共感的理解のあり方を考える。 						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・多様な施設の現場の実情を学び、事例検討をする中で、施設で生活する子どもや利用者を理解し、様々な視点による支援や援助のあり方を学ぶ。 						
授業のながれ	回数	[授 業 内 容]			課外学習		
	① 保育実習の意義～実習の目的～	事前学習	教科書P.10～P.12 予習	事後学習	実習の目的の復習		
	② 保育実習の意義～実習の概要～	事前学習	教科書P.12～P.14 予習	事後学習	実習の概要の復習		
	③ 実習の内容	事前学習	教科書P.34～P.42 予習	事後学習	各指導、支援の意味や意図の復習		
	④ 実習課題の明確化	事前学習	教科書P.23～P.24 予習	事後学習	課題設定の整理		
	⑤ 実習に際しての留意事項 ～人権と最善の利益について～	事前学習	人権、最善の利益の意味調べ	事後学習	子ども・利用者の最善の利益の復習		
	⑥ 実習に際しての留意事項 ～プライバシーの保護と守秘義務～	事前学習	プライバシー、守秘義務の意味調べ	事後学習	施設での守秘義務の意味と重要性の復習		
	⑦ 実習に際しての留意事項 ～実習生としての心構え～	事前学習	教科書P.22～P.23、「朋」施設実習を考える 予習	事後学習	自らの課題と目標の整理		
	⑧ 施設実習とは	事前学習	教科書第5章、第6章該当部分 予習	事後学習	養護系、障害系の施設の復習		
	⑨ 施設での生活と子ども・利用者の理解	事前学習	教科書P.14～P.18 予習	事後学習	実習施設について調べる		
	⑩ 施設実習の事前準備(1) 事前訪問と報告書について	事前学習	教科書P.26～P.28、マニュアルP.30～P.33 予習	事後学習	各実習グループでの打ち合わせ		
	⑪ 施設実習の事前準備(2)「朋」から学ぶ	事前学習	「朋」施設実習を考える 予習	事後学習	「朋」を読んで感想をまとめる		
	⑫ 施設実習の事前準備(3)実習計画と心構え	事前学習	教科書P.28～P.32 予習	事後学習	施設実習計画書の作成		
	⑬ 施設実習の事前準備(4)記録の書き方	事前学習	教科書P.44～P.51 予習	事後学習	記録の書き方の整理及び復習		
	⑭ 施設実習の事後指導 ～実習における学び(反省と課題等)～	事前学習	教科書P.120～P.124 予習	事後学習	実習に向けての目標及び課題確認		
	⑮ 定期試験・講評	事前学習	これまでの学びの復習及び確認	事後学習	講評の内容の整理と把握		
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・授業を通して、実習生(保育者)としての在るべき姿勢や態度に自ら気づき、身に付くように努力すること。 ・教科書を毎回持参し、授業で配付する資料は必ずファイルに綴じて保管すること。 ・日頃から社会福祉に関心を持ち、新聞や関連書籍を読み理解を深めること。 ・提出物は期限を厳守し、発表する時は責任を持って行うこと。 						
成績評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・定期試験 50% ・提出物 50% 			教科書	「保育士をめざす人の福祉施設実習 第2版」 愛知県保育実習連絡協議会他(編)みらい		
	上記に平常点(授業参加状況や受講態度等)を勘案して評価する。			参考資料			

シラバス(授業計画)

部	夜間部	学期	集中	授業形態	実習	単位数	2単位
科目名	保育実習 I (保育所)			担当教員	荒木 美恵	保育士として実務経験有	
全体目標	保育所で、実践的指導力のある指導保育士のもとで体験し、保育所保育を理解する。また、基礎的な能力と態度を養い、自らの課題を明確にする。						
一般目標	<ul style="list-style-type: none"> ・観察・参加実習を通して、子どもの実態と保育所保育を理解をする。 ・学校で学んだ専門的な知識・理論・技術を保育場面で実践する基礎を養う。 						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・観察・参加を通して、子どもの実態と保育所保育の理解できる。 ・学校で学んだ専門的な知識・理論・技術を保育場面で実践する基礎を身に付ける。 ・実習における観察・記録及び評価を記入できる。また、自らの課題を明確にする。 						
授業のながれ	[授 業 内 容]						
	<ul style="list-style-type: none"> ・実習の期間 前期 5月に10日間実施。 ・実習の内容 観察実習・参加実習を行う。 状況に応じて半日実習・部分実習を行うこともある。 ・事前訪問 実習開始の約3週間前までに実施。 実習園の概要および実習方針を知る。 ・実習園訪問指導 実習担当教員を中心に本校教員が実習期間中に実習園を訪問する。 教員と園長・実習担当教諭等との面談後、実習生は現地で本校教員の指導を受ける。 ・事後訪問 実習終了後すみやかに実施。(実習園の指示に従う) 最終日の実習記録や振り返り等を記載し、実習園に原則持参する。 						
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・規則正しい生活を送り、心身ともに健康に留意する。 ・能動的に実習に取り組む。 注:本校が定める「実習履修基準」により履修の可否を判断する。 ・社会人としてのマナーを守り、保育者としての心構えを持つ。 ・実習園で知り得た個人情報の守秘義務を遵守する。 						
成績評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・実習園の評価を基に実習記録、実習園訪問指導時の状況、オリエンテーションを含む実習の取り組み状況を勘案して評価する 			教科書	<ul style="list-style-type: none"> ・「教育・保育実習テキスト」 ・「保育所保育指針」 ・「保育所保育指針解説」 ・「あかちゃんふれあい実習テキスト」 		
				参考資料	<ul style="list-style-type: none"> ・実習関係書類 		

シラバス(授業計画)

部	夜間部	学期	半期	授業形態	演習	単位数	1単位
科目名	保育実習指導 I (保育所)			担当教員	荒木 美恵	保育士として実務経験有	
全体目標	保育実習 I の意義や目的を理解し、実習に対する目的意識を高めるとともに保育所等における保育士の役割や子どもへの援助方法など基礎的な事項を学ぶ。						
一般目標	<ul style="list-style-type: none"> ・保育実習の意義・目的を理解する。 ・実習の内容を理解し、自らの課題を明確にする。 ・実習保育所における子どもの人権と、最善の利益、個人情報保護と守秘義務について理解する。 ・実習における観察・記録及び評価を理解する。 						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・保育実習の意義・目的を理解し、自らの課題を明確にする。また、事後においては自己評価をし、自らの課題を明確にできる。 ・実習保育所における子どもの人権と最善の利益、個人情報保護と守秘義務について理解して、実習にのぞむ。 ・実習における観察・記録及び評価を記入できる。 						
授業のながれ	回数	[授業内容]			課外学習		
	①	あかちゃんふれあい実習 I	事前学習	事後学習	「あかちゃんふれあい実習テキスト」を読む 観察・参加、3歳未満児の発達過程を知る		
	②	あかちゃんふれあい実習 I	事前学習	事後学習	観察・参加、3歳未満児の発達過程を知る 観察・参加、3歳未満児の発達過程を知る		
	③	あかちゃんふれあい実習 I	事前学習	事後学習	観察・参加、3歳未満児の発達過程を知る 観察・参加、3歳未満児の発達過程を知る		
	④	あかちゃんふれあい実習 I	事前学習	事後学習	観察・参加、3歳未満児の発達過程を知る 実習記録を作成し、実習を振り返り考察する		
	⑤	オリエンテーション 実習の概要 実習の意義	事前学習	事後学習	教科書の該当箇所を予習する 授業内容の復習		
	⑥	保育所保育の理解	事前学習	事後学習	教科書の該当箇所を予習する 授業内容の復習		
	⑦	保育所保育 養護と教育の一体化の理解	事前学習	事後学習	教科書の該当箇所を予習する 授業内容の復習		
	⑧	実習記録の意義と書き方の理解(1)保育の流れの記録	事前学習	事後学習	教科書の該当箇所を予習する 授業内容の復習		
	⑨	実習記録の意義と書き方の理解(2)エピソード記録	事前学習	事後学習	教科書の該当箇所を予習する 授業内容の復習		
	⑩	実習記録の記入 (3)指導計画の書き方	事前学習	事後学習	教科書の該当箇所を予習する 授業内容の復習		
	⑪	実習記録の記入 (4)指導計画立案	事前学習	事後学習	教科書の該当箇所を予習する 指導計画の立案		
	⑫	指導実習について 児童文化財を使った指導実習の実際	事前学習	事後学習	児童文化財の選定 指導計画の立案		
	⑬	指導実習について グループ内での模擬保育	事前学習	事後学習	模擬保育の練習 模擬保育の振り返り		
	⑭	実習の注意(人権保育・守秘義務・最善の利益・心構え)	事前学習	事後学習	教科書の該当箇所を予習する 授業内容の復習		
⑮	試験とまとめ	事前学習	事後学習	授業の復習 試験の内容を振り返る			
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・毎回必ず教科書を持参し、配布されたプリントはファイルに綴ること。 ・重要な箇所に自分で線を引いたり、追記したりすること。 ・課題・提出物は、期限厳守。授業持参といわれた物は、忘れずに持って参加すること。 						
成績評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・定期試験50% ・平常点(授業参加状況・参加姿勢・提出物)50% 			教科書	「教育・保育実習テキスト」 「あかちゃんふれあい実習テキスト」 「保育所保育指針」 「保育所保育指針解説」		
				参考資料	「0・1・2歳児の子ども姿の姿ベースの指導計画」 フレーベル館 「フォトランゲージで学ぶ子どもの育ちと実習日誌・指導計画」 萌文書林 「幼稚園・保育園・施設 実習ワーク」 萌文書林		

シラバス(授業計画)

部	夜間部	学期	集中	授業形態	実習	単位数	2単位
科目名	保育実習Ⅱ			担当教員	荒木 美恵	保育士として実務経験有	
全体目標	将来の保育士として、愛情と使命感を深め、保育の基礎的な能力を身につける。実践的指導力のある指導保育士のもとで体験し、保育所保育と保育所の役割を理解する。						
一般目標	<ul style="list-style-type: none"> ・観察・参加・指導実習を通して、保育所保育と保育者の役割を理解をする。 ・学校で学んだ専門的な知識・理論・技術を保育場面で実践する基礎を身に付ける。 						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・観察・参加・指導実習を通して、保育所保育と保育所の役割を理解できる。 ・保育に必要な基礎的な技術を身に付ける。 ・実習における指導案作成と観察・記録及び評価を記入できる。また、自らの課題を明確にする。 						
	[授 業 内 容]						
授 業 の な が れ	<p>8月～9月に10日間実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実習の内容 参加実習に加え、指導実習(一日)を行う 状況に応じて半日実習・部分実習を複数回行うこともある。 ・事前訪問 夏休み前に実施。 実習園の概要および実習方針を知る。 ・実習園訪問指導 実習担当教員を中心に本校教員が実習期間中に実習園を訪問する。 教員と園長・実習担当教諭等との面談後、実習生は現地で本校教員の指導を受ける。 ・事後訪問 実習終了後すみやかに実施。(実習園の指示に従う) 最終日の実習記録や振り返り等を記載し、実習園に原則持参する。 						
学 習 上 の 留 意 点	<ul style="list-style-type: none"> ・規則正しい生活を送り、心身ともに健康に留意する。 ・能動的に実習に取り組む。 ・実習園と学校に必要なに応じて「報告・連絡・相談」をする。 注:本校が定める「実習履修基準」により履修の可否を判断する。 ・社会人としてのマナーを守り、保育者としての心構えを持つ。 ・実習園で知り得た個人情報の守秘義務を遵守する。 						
成 績 評 価 の 方 法	<ul style="list-style-type: none"> ・実習園の評価を基に実習記録、実習園訪問指導時の状況、オリエンテーションを含む実習の取り組み状況を勘案して評価する 			教科書	<ul style="list-style-type: none"> ・「教育・保育実習テキスト」 ・「保育所保育指針」 ・「保育所保育指針解説」 		
				参考資料	<ul style="list-style-type: none"> ・実習関係書類 		

シラバス(授業計画)

部	夜間部	学期	半期	授業形態	演習	単位数	1単位
科目名	保育実習指導Ⅱ			担当教員	荒木 美恵	保育士として実務経験有	
全体目標	保育所保育を理解し、保育実習に必要なことを学ぶ。将来の保育士として、愛情と使命感を深め、保育の基礎的な能力を身につける						
一般目標	<ul style="list-style-type: none"> ・保育実習の意義・目的を理解し、保育を総合的に学ぶ。・実習事後指導を通して自己評価をおこない、自らの課題を明確にする。 ・実習保育所における子どもの人権と、最善の利益、個人情報保護と守秘義務について理解を深める。 ・保育者の専門性と職業倫理について理解する。 						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・保育実習の意義・目的を理解し、自らの課題を明確にする。また、事後においては自己評価をし、自らの課題を明確にできる。 ・実習における観察・記録・計画及び評価を記入できる。 ・保育所における保育士の専門性と職業倫理を理解できる。 						
授業のながれ	回数	[授 業 内 容]			課外学習		
	①	あかちゃんふれあい実習Ⅱ	事前学習	「あかちゃんふれあい実習テキスト」を読む	事後学習	子どもの育ちを理解する	
	②	あかちゃんふれあい実習Ⅱ	事前学習	子どもの育ちを理解する	事後学習	子どもの育ちを理解する	
	③	あかちゃんふれあい実習Ⅱ	事前学習	子どもの育ちを理解する	事後学習	子どもの育ちを理解する	
	④	あかちゃんふれあい実習Ⅱ	事前学習	子どもの育ちを理解する	事後学習	実習記録を作成し、実習を振り返り考察する	
	⑤	事後指導 (1) 課題の明確化と経験交流	事前学習	実習記録記入・見直し	事後学習	授業内容の復習	
	⑥	保育実習Ⅱオリエンテーション	事前学習	テキストを予習する	事後学習	重要事項を復習する	
	⑦	実習内容の理解 心構え作成と事前訪問について	事前学習	テキストを予習する	事後学習	重要事項を復習する	
	⑧	実習の具体的な計画と実践(1) 指導計画とは	事前学習	指導準備・計画作成	事後学習	指導計画検討	
	⑨	実習の具体的な計画と実践(2) 指導計画作成	事前学習	指導計画検討	事後学習	指導準備・計画作成	
	⑩	模擬保育及びグループ発表	事前学習	課題の明確化と考察・改善	事後学習	実習の事前準備をする	
	⑪	事後指導 (2) 事例検討	事前学習	エピソード記録の考察	事後学習	課題の整理	
	⑫	事後指導 (3) 実践から学ぶ	事前学習	乳児保育・保育園の理解を深める	事後学習	課題の整理	
	⑬	子どもの最善の利益を考慮した保育の具体的理解	事前学習	子どもの最善の利益について考える	事後学習	子どもの最善の利益について理解を深める	
	⑭	保育士の専門性と職業倫理・危機管理	事前学習	保育士の倫理・危機管理について考える	事後学習	授業内容の復習	
⑮	試験とまとめ	事前学習	授業の復習	事後学習	試験の内容を振り返る		
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・毎回必ず教科書を持参し、配布されたプリントはファイルに綴ること。 ・重要な箇所自分で線を引いたり、追記したりすること。 ・課題・提出物は、期限厳守。授業持参といわれた物は、忘れずに持って参加すること。 						
成績評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・定期試験 50% ・平常点(授業参加状況・参加姿勢・提出物) 50% 			教科書	「教育・保育実習テキスト」 「あかちゃんふれあい実習テキスト」 「保育所保育指針」 「保育所保育指針解説」		
				参考資料	「0・1・2歳児の子どもの姿ベースの指導計画」 フレーベル館 「フォトランゲージで学ぶ子どもの育ちと実習日誌・指導計画」 萌文書林 「幼稚園・保育園・施設 実習ワーク」 萌文書林		

シラバス(授業計画)

部	夜間部	学期	半期	授業形態	演習	単位数	2単位
科目名	保育実践演習			担当教員	須田 昂宏		
全体目標	養成段階である学びの場から、間もなく保育者となる学生が、自分を見つめ現状と課題を明確にする。						
一般目標	①課題の解決方法を把握し、課題に対して適切な方法を用いて、解決できる力を身につける。 ②保育や子どもに関する現状の分析や考察を行う。 ③保育者として学びを振り返り、習得した知識や技能を確認する。						
到達目標	乳幼児期の子どもたちを支える保育者として、今後の見通しや何をすべきかを明確にする。						
授業のながれ	回数	[授業内容]			課外学習		
	①	保育実践演習の目的とは			事前学習	これまでの学修を振り返る	
					事後学習	この授業の目的を再確認する	
	②	研究テーマの探索			事前学習	これまでの実習での出来事を振り返る	
					事後学習	身近なものからテーマを探してみる	
	③	研究テーマの絞り込み			事前学習	テーマの候補をいくつか挙げておく	
					事後学習	テーマを仮定する	
	④	調査方法の検討			事前学習	調査方法について教科書で確認しておく	
					事後学習	自分自身のテーマにあった調査方法を考える	
	⑤	研究の中間報告			事前学習	研究テーマを決定する	
					事後学習	研究の構想を練る	
	⑥	発表準備について			事前学習	発表準備について教科書で確認する	
					事後学習	発表の準備に必要なものを確認する	
	⑦	発表資料の作成について －先行研究の分析・検討－			事前学習	先行研究を探す	
					事後学習	見つけた先行研究を分析する	
⑧	発表資料の作成について －発表資料の構成－			事前学習	全体の構成を確認する		
				事後学習	発表の方法を考える		
⑨	発表資料の作成について －発表資料の流れ－			事前学習	発表資料を作成する		
				事後学習	小見出しや全体のまとまりを確認する		
⑩	発表資料の作成 －発表の方法・注意点－			事前学習	発表資料を見直す		
				事後学習	わかりやすい発表の仕方を考える		
⑪	発表資料の作成 －発表資料の配布・発表当日の流れ－			事前学習	発表について不明な点がないか確認する		
				事後学習	発表資料の印刷・発表の練習		
⑫	口頭発表(1) 保育士の意義や倫理観等に関するテーマ			事前学習	発表の練習		
				事後学習	自分以外の人の発表を理解し、発表資料を読み返す		
⑬	口頭発表(2) 子どもを取り巻く環境や社会性等に関するテーマ			事前学習	発表の練習		
				事後学習	自分以外の人の発表を理解し、発表資料を読み返す		
⑭	口頭発表(3) 子どもや家庭の理解、子育て支援等に関するテーマ			事前学習	発表の練習		
				事後学習	自分以外の人の発表を理解し、発表資料を読み返す		
⑮	試験とまとめ			事前学習	発表を振り返る・教科書を読み復習する		
				事後学習	この授業での学びを振り返る		
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・研究を進める中で本来の保育実践演習の目標を見失わない。 ・発表資料はパソコンで作成すること。(手書きは禁止) ・提出物の期限は必ず守ること。 						
成績評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・試験 30% ・口頭発表 40% ・受講態度 30% 			教科書			
				参考資料	「保育所保育指針」(平成29年3月告示 厚生労働省) 「保育所保育指針解説」		

_____ コース 年 組 _____ 番

氏名 _____